

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成 2 1 年度）

平成 2 2 年 1 0 月

名古屋市市民経済局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	4
2. 調査の集計結果	6
2-1 観光客の現状	6
(1) 調査の概要	6
(2) 調査結果	8
2-2 宿泊客の現状	34
(1) 調査の概要	34
(2) 調査結果	35
2-3 宿泊施設調査	58
(1) 調査の概要	58
(2) 宿泊施設の現状	59
(3) 宿泊客数	61
3. 資料編	71
(1) 主要観光施設への入込動向	71
(2) 名古屋のまちの印象	75

巻末 調査票

注1：本文中で用いたテレビ塔、パノラマハウス、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、JR セントラルタワーズパノラマハウス、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別のなどの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

1. 観光統計について

(1) 全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。

平成 21 年度については、全国観光統計基準に適合する 84 地点の観光入込客数を把握した。

(2) 入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 21 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 5,460 万人であり、平成 20 年度と比較して 213 万人増加（対前年度比率 104.1%）した。

主な増加の理由は、調査対象観光地点数の増加や、シルバーウィークが大型連休となったこと、名古屋城、熱田神宮などの周年記念事業、美術館などの特別展・企画展が好評だったことなどである。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 19,246,422	(25) 21,075,363	(25) 20,510,622	(25) 21,251,645
	産業観光	(7) 2,003,055	(6) 1,917,028	(5) 1,615,170	(5) 1,499,021
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(17) 12,955,647	(17) 12,300,363	(18) 11,231,946	(16) 11,992,827
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(14) 7,428,814	(14) 7,880,964	(15) 7,772,812	(15) 7,929,956
	イベント	(22) 11,538,634	(22) 12,996,629	(19) 11,345,439	(23) 11,931,312
計		(85) 53,172,572	(84) 56,170,347	(82) 52,475,989	(84) 54,604,761

注：調査した観光地点数は、年度によって変動します。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 21 年度の観光入込客実人数は 3,289 万人であり、平成 20 年度と比較して 89 万人増加（対前年度比率 102.8%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
観光入込客延べ人数（人）	53,172,572	56,170,347	52,475,989	54,604,761
平均訪問観光地点数	1.73	1.70	1.64	1.66
観光入込客実人数（万人）	3,074 万人	3,304 万人	3,200 万人	3,289 万人

③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	38.6%	61.4%
観光入込客実人数	3,289 万人	1,270 万人	2,019 万人

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
延べ宿泊客数（人）	6,288,947	6,384,202	6,238,020	5,786,316
宿泊客実人数（人）	4,752,837	4,845,349	4,719,502	4,604,248
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.32	1.32	1.32	1.26

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	6.4%	93.6%
宿泊客実人数	460 万人	29 万人	431 万人

⑥居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 21 年度の名古屋市内客は 1,270 万人であり、平成 20 年度と比較して 128 万人増加した。一方、名古屋市外客は 2,019 万人であり、平成 20 年度と比較して 39 万人減少した。

また、平成 21 年度の宿泊客実人数は 460 万人であり、平成 20 年度と比較して 12 万人減少した。一方、平成 21 年度の日帰り客実人数は 2,829 万人であり、平成 20 年度と比較して 101 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
観光入込客実人数	計	3,074 万人	3,304 万人	3,200 万人	3,289 万人
	名古屋市内客	1,030 万人	1,242 万人	1,142 万人	1,270 万人
	名古屋市外客	2,044 万人	2,062 万人	2,058 万人	2,019 万人
宿泊客実人数	計	475 万人	485 万人	472 万人	460 万人
	名古屋市内客	27 万人	38 万人	36 万人	29 万人
	名古屋市外客	448 万人	447 万人	436 万人	431 万人
日帰り客実人数	計	2,599 万人	2,819 万人	2,728 万人	2,829 万人
	名古屋市内客	1,003 万人	1,204 万人	1,106 万人	1,241 万人
	名古屋市外客	1,596 万人	1,615 万人	1,622 万人	1,588 万人

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 21 年度の名古屋市内の観光総消費額は 2,495 億円であり、平成 20 年度と比較して 16 億円減少している。

宿泊客の総消費額は 990 億円であり、平成 20 年度と比較して 20 億円増加している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、平成 20 年度と比較すると、名古屋市内は横ばい、名古屋市外は 37 億円減少している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 20 年度	平成 21 年度
宿泊客実人数		472 万人	460 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,106 万人	1,241 万人
	名古屋市外客	1,622 万人	1,588 万人
宿泊客一人あたり消費額		20,559 円	21,518 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	4,012 円	3,585 円
	名古屋市外客	6,761 円	6,676 円
宿泊客総消費額		970 億円	990 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	444 億円	445 億円
	名古屋市外客	1,097 億円	1,060 億円
名古屋市内観光総消費額		2,511 億円	2,495 億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

その他消費額は、総消費額から各項目別の消費額を差し引いた金額である。

食事費、交通費、宿泊費などは平成 20 年度に比べ、それぞれ 20～30 億円程度減少しているものの、土産代は 85 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 20 年度	平成 21 年度
食事費消費額	791 億円	774 億円
交通費消費額	332 億円	300 億円
土産費消費額	486 億円	571 億円
宿泊費消費額	487 億円	455 億円
その他消費額	415 億円	395 億円
総消費額	2,511 億円	2,495 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		名古屋市内客	名古屋市外客
食事費	6,914 円	1,274 円	1,879 円
交通費	1,840 円	424 円	1,023 円
土産費	4,907 円	598 円	1,705 円
宿泊費	9,883 円		

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		名古屋市内客	名古屋市外客	
食事費総消費額	318 億円	158 億円	298 億円	774 億円
交通費総消費額	85 億円	53 億円	162 億円	300 億円
土産費総消費額	226 億円	74 億円	271 億円	571 億円
宿泊費総消費額	455 億円			455 億円

2. 調査の集計結果

2-1 観光客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

●観光施設（名古屋城、熱田神宮、ノリタケの森、名古屋港水族館）調査

・秋期調査：平成 21 年 11 月 4 日（水）9：30～16：00 天候：晴

11 月 7 日（土）9：30～16：00 天候：快晴

11 月 8 日（日）9：30～16：00 天候：薄曇後晴

・春期調査：平成 22 年 3 月 3 日（水）9：30～16：00 天候：晴一時薄曇

3 月 6 日（土）9：30～16：00 天候：雨一時曇

3 月 7 日（日）9：30～16：00 天候：雨

※熱田神宮、ノリタケの森は 3 月 13 日（土）9：30～16：00 天候：曇一時雨

3 月 14 日（日）9：30～16：00 天候：快晴

●名古屋まつり調査：平成 21 年 10 月 4 日（日）11：00～16：00 天候：快晴

●イベント会場（ポートメッセなごや）調査

・名古屋モーターショー：

平成 21 年 11 月 21 日（日）10：00～16：00 天候：晴一時曇

・ウィンタースポーツフェスタ 他：

平成 22 年 2 月 7 日（日）11：00～16：00 天候：快晴

③調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10 歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

④調査場所及び調査サンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合 計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	110	104	103	111	105	113	646
熱田神宮	105	104	105	105	105	104	628
ノリタケの森	100	105	105	105	105	105	625
名古屋港水族館	105	105	105	105	105	104	629
名古屋まつり	524						524
イベント会場	(名古屋モーターショー) 264						530
(ポートメッセなごや)	(ウィンタースポーツフェスタ他) 266						
全 体							3,582

（注）大分類「学ぶ（見る・体験する）」・中分類「文化・歴史」として「名古屋城」と「熱田神宮」、「名古屋港水族館」、同・中分類「産業観光」として「ノリタケの森」、大分類「触れ合う（交流する）」・中分類「行・祭事」として「名古屋まつり」、同・中分類「イベント」として「ポートメッセなごや」に協力していただきました。

(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

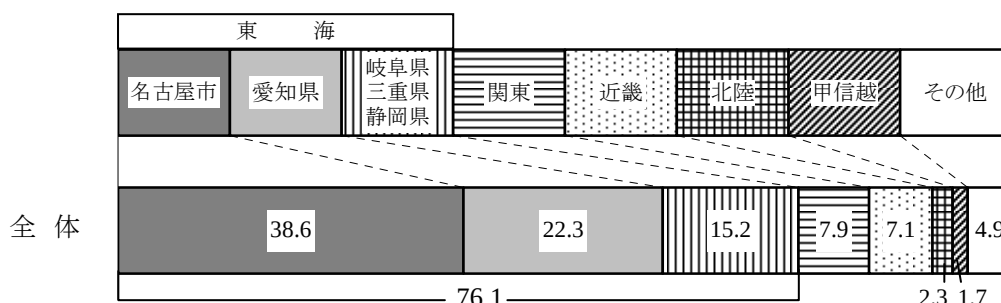
観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」が38.6%と最も多く、次いで「愛知県（名古屋市を除く）」（22.3%）で、「岐阜県」（6.4%）、「三重県」（4.9%）、「静岡県」（3.9%）を合計した「東海」が76.1%を占め、「関東」（7.9%）、「近畿」（7.1%）など「東海以外」の地域からの入込客は全体で23.9%である。

観光地点別にみると、「名古屋まつり」（75.0%）、「熱田神宮」（52.4%）の入込客では「名古屋市」居住者の構成比が高く、また、「名古屋まつり」（97.5%）、「イベント会場」（97.2%）の入込客では大半が「東海」居住となっている。一方、「名古屋城」では「東海以外」の地域が54.3%と広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地構成（観光地点別）

（単位：％）

地 域	東 海	名 古 屋 市	愛知県 (名古屋市を除く)	岐阜県・三重県・静岡県	関 東	近 畿	北 陸	甲 信 越	そ の 他	合 計
観光地点										
名古屋城	45.7	23.7	13.6	8.4	22.0	15.8	5.9	0.9	9.7	100.0
熱田神宮	80.1	52.4	18.3	9.4	7.0	5.4	1.1	2.4	4.0	100.0
ノリタケの森	64.0	27.5	16.6	19.9	10.6	12.2	1.4	0.8	11.0	100.0
名古屋港水族館	80.0	25.0	26.2	28.8	3.5	5.4	3.3	4.6	3.2	100.0
名古屋まつり	97.5	75.0	17.9	4.6	1.3	0.6	0.0	0.6	0.0	100.0
イベント会場	97.2	34.0	44.0	19.2	0.4	0.9	1.1	0.4	0.0	100.0
全 体	76.1	38.6	22.3	15.2	7.9	7.1	2.3	1.7	4.9	100.0



注：愛知県は名古屋市を除く

東 海—愛知県・岐阜県・三重県・静岡県

関 東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県

近 畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

北 陸—福井県・石川県・富山県

甲信越—新潟県・長野県・山梨県

図 2-1-1 入込客の居住地構成

b. 性・年齢構成

全体では「30～39 歳」(19.3%) が約 2 割と多く、「60～69 歳」(18.0%)、「20～29 歳」(17.6%)、「50～59 歳」(16.9%)、「40～49 歳」(15.9%) が 16～18%で続き、以下「70 歳以上」(7.6%)、「10～19 歳」(4.7%) となっている。

性別は、男性が 46.6%、女性が 53.4%と、女性の方が男性より若干多い。

男性女性とも「30～39 歳」が最も多く、「60～69 歳」も比較的多くなっている。

観光地点別にみると、「29 歳以下」の若い世代の割合は「名古屋港水族館」(36.1%)と「名古屋城」(33.0%)で高くなっている。一方、「60 歳以上」の割合は「ノリタケの森」(31.7%)と「名古屋まつり」(30.2%)、「熱田神宮」(30.0%)では 3 割以上となっている。

性別の割合は、「名古屋港水族館」では男性女性ほぼ半々である。「名古屋城」と「熱田神宮」、「名古屋まつり」では若干、「ノリタケの森」ではかなり女性の方が多い。一方、「イベント会場」では男性の方が多くなっている。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	年 齢	10～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	合 計
	観光地点								
全 体	名古屋城	7.3	25.7	12.5	10.2	15.5	19.0	9.8	100.0
	熱田神宮	3.0	11.6	21.8	18.0	15.6	21.4	8.6	100.0
	ノリタケの森	2.6	12.3	15.5	15.8	22.1	22.9	8.8	100.0
	名古屋港水族館	8.1	28.0	25.4	14.3	9.9	11.3	3.0	100.0
	名古屋まつり	2.5	9.5	18.9	19.3	19.6	19.3	10.9	100.0
	イベント会場	4.2	16.6	22.4	18.9	19.6	13.4	4.9	100.0
	合 計	4.7	17.6	19.3	15.9	16.9	18.0	7.6	100.0
男 性	名古屋城	7.7	29.2	13.8	11.4	10.7	17.5	9.7	46.1
	熱田神宮	2.4	10.5	21.3	21.4	15.6	20.0	8.8	47.0
	ノリタケの森	4.6	11.4	16.9	16.9	20.1	21.9	8.2	35.0
	名古屋港水族館	5.4	26.0	24.4	17.6	10.3	13.1	3.2	49.6
	名古屋まつり	2.4	10.9	17.0	19.0	18.6	19.1	13.0	47.1
	イベント会場	5.7	18.4	21.0	16.3	20.0	12.3	6.3	56.6
	合 計	4.8	18.3	19.3	17.0	15.6	17.0	8.0	46.6
女 性	名古屋城	6.9	22.7	11.5	9.2	19.5	20.4	9.8	53.9
	熱田神宮	3.6	12.6	22.2	15.0	15.6	22.6	8.4	53.0
	ノリタケの森	1.5	12.8	14.8	15.3	23.1	23.4	9.1	65.0
	名古屋港水族館	10.7	30.0	26.5	11.0	9.5	9.5	2.8	50.4
	名古屋まつり	2.5	8.3	20.6	19.5	20.6	19.5	9.0	52.9
	イベント会場	2.2	14.3	24.4	22.2	19.1	14.8	3.0	43.4
	合 計	4.6	17.0	19.4	14.9	18.0	18.8	7.3	53.4

注：男性・女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」(48.1%)が半数近くを占め、次いで「イベント」(33.8%)が多く、これらをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて87.2%を占めている。

時系列にみると、調査概要は平成18年度から変更しているものの、「観光・娯楽」の割合は8割台で推移している。

観光地点別にみると、「名古屋港水族館」(89.0%)、「名古屋城」(62.3%)、「熱田神宮」(60.6%)「ノリタケの森」(58.7%)の入込客では「観光施設の見学」目的が多く、「イベント会場」(96.3%)と「名古屋まつり」(91.9%)の入込客では大半が「イベント」目的である。また、「ノリタケの森」では「ショッピング」(7.4%)や「飲食」(6.2%)目的の割合が相対的にやや高く、「熱田神宮」では「七五三」を主とした「その他」(29.6%)目的の割合も高い。

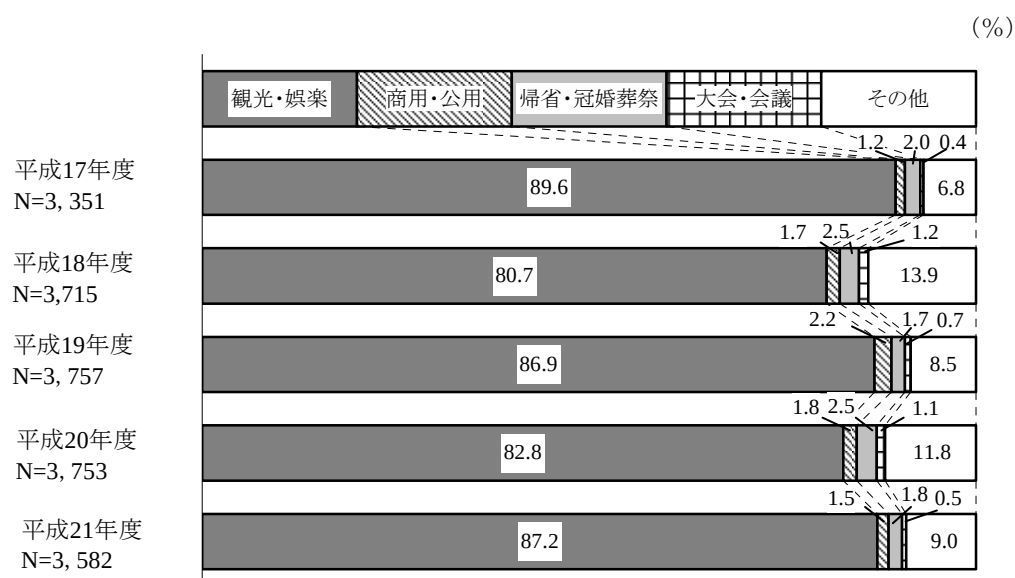


図 2-1-2 入込客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位：%)

旅行目的 観光地点	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
名古屋城	62.3	0.8	0.8	23.8	2.5	0.8	1.4	3.7	1.1	2.8	100.0
熱田神宮	60.6	2.2	0.3	1.3	0.6	1.4	2.2	1.8	0.0	29.6	100.0
ノリタケの森	58.7	7.4	1.1	6.4	6.2	2.1	2.7	1.6	1.3	12.5	100.0
名古屋港水族館	89.0	1.0	0.3	2.5	1.0	0.8	1.1	1.9	0.5	1.9	100.0
名古屋まつり	1.5	0.8	0.0	91.9	0.0	0.4	0.0	1.0	0.0	4.4	100.0
イベント会場	1.1	0.0	0.2	96.3	0.0	0.0	0.9	0.2	0.0	1.3	100.0
全 体	48.1	2.1	0.5	33.8	1.8	0.9	1.5	1.8	0.5	9.0	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した方（全体の87.2%）の目的地として名古屋を選んだきっかけは、「前に来たことがあり良かったから」が37.2%と最も多い。以下、「友人・知人に薦められた」（16.7%）、「雑誌・新聞をみて」（12.6%）、「特になし」（10.9%）、「テレビやラジオ番組の情報」（8.4%）、「インターネットホームページの情報」（6.7%）となっている。

観光地点別にみると、「前に来たことがあり良かったから」は「名古屋港水族館」や「名古屋まつり」、「熱田神宮」では半数前後と多く、「ノリタケの森」と「名古屋城」では「友人・知人に薦められた」が最も多くなっている。また、「名古屋まつり」では「雑誌・新聞をみて」や「テレビやラジオ番組の情報から」などが比較的高く、「イベント会場」では「DM」を主とした「その他」（26.1%）の割合も高い。

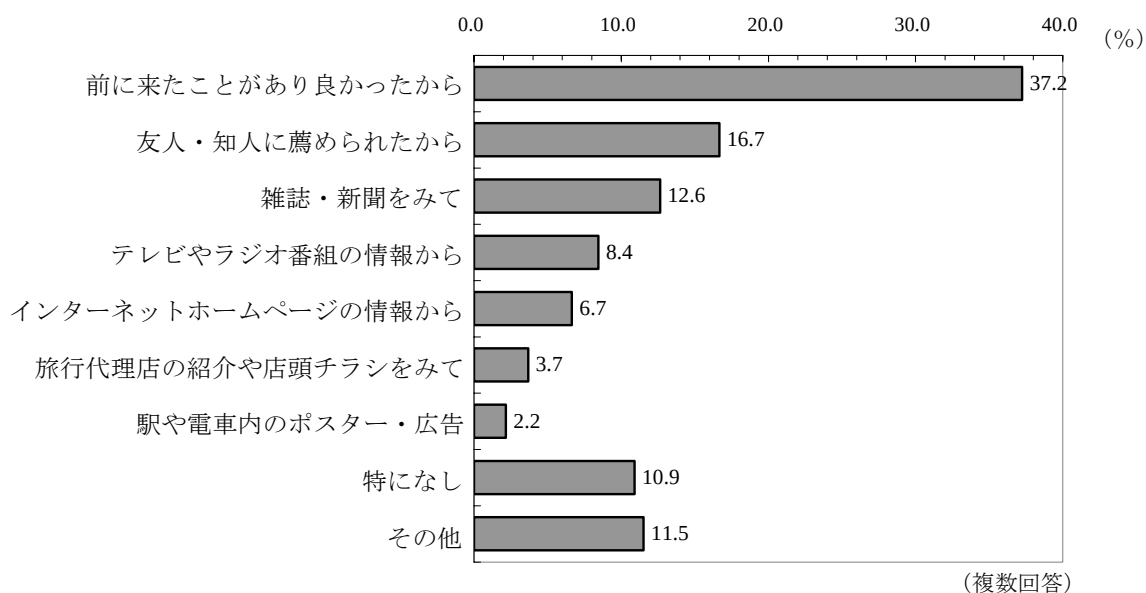


図 2-1-3 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位: %)

観光地点 \ きっかけ	前に来たことがあり良かったから	友人・知人に薦められたから	雑誌・新聞をみて	テレビやラジオ番組の情報から	インターネットホームページの情報から	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	駅や電車内のポスター・広告	特になし	その他	合計
名古屋城	23.1	26.0	15.3	8.0	5.6	4.3	1.9	20.9	8.2	113.3
熱田神宮	45.1	7.0	7.4	2.9	1.7	4.8	0.0	22.3	11.8	103.0
ノリタケの森	27.1	27.5	10.7	3.1	8.2	10.4	0.6	9.6	8.0	105.2
名古屋港水族館	52.1	11.1	7.9	3.7	7.9	2.5	0.2	10.1	10.4	105.9
名古屋まつり	46.4	12.9	23.4	16.9	4.0	0.4	8.7	2.8	5.0	120.5
イベント会場	31.1	13.2	10.8	16.1	11.4	0.0	1.9	0.4	26.1	111.0
全 体	37.2	16.7	12.6	8.4	6.7	3.7	2.2	10.9	11.5	109.9

(複数回答)

c. 観光施設への遊覧状況

観光地点相互の立ち寄り状況を見ると、「名古屋まつり」や「ノリタケの森」、「熱田神宮」の入込客は「名古屋城」にも、「名古屋城」の入込客は「熱田神宮」にも訪れる人が多い。

観光地点ごとに他の観光施設への訪問状況を見ると、上記のほか「名古屋城」の入込客は「テレビ塔」や「徳川園」にも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は 1.74 施設である。「熱田神宮」の入込客では「名古屋城」以外に 4%に達する施設はなく一人あたりの訪問施設数は 1.60 と少ない。「ノリタケの森」の入込客は「産業技術記念館」や「徳川美術館」、「徳川園」、「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」などにも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は 1.97 施設と他の施設への立ち寄りは最も多い。「名古屋港水族館」の入込客では「名古屋港」にも訪れるものの、そのほかは低く一人あたりの訪問施設数は 1.60 施設と少ない。

「名古屋まつり」の入込客では、「ランの館」をはじめ当日無料開放される施設にも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は 1.75 施設であるが、「イベント会場」の入込客では一人あたりの訪問施設数は 1.22 施設となっており、他の観光施設へも立ち寄る入込客は少ない。

全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースが多い。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（観光地点別）

（単位：％）

訪問施設 観光地点	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館
名古屋城		3.4	5.6	4.8	8.9	12.3	1.0	2.0	2.2	11.7	0.8	0.4
熱田神宮	18.6	1.0	0.4	1.9	1.2		2.9	2.7	0.2	3.7	0.2	0.0
ノリタケの森	18.7	15.2		8.7	6.4	6.2	0.4	1.5	0.6	5.0	0.6	0.4
名古屋港水族館	11.2	1.7	0.2	0.6	0.0	2.7	0.0	2.5	0.2	2.3	0.0	0.2
名古屋まつり	24.8	0.0	0.5	1.7	3.7	0.5	0.5	3.7	1.0	4.2	0.2	0.0
イベント会場	0.7	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.2	0.0

訪問施設 観光地点	名古屋ポストン美術館	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	その他	平均訪問施設数
名古屋城	0.2	0.0	0.6	1.0	0.2	1.8	1.2	0.0	0.2	1.6	14.3	1.74
熱田神宮	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	3.5	2.1	0.0	0.4	3.5	17.4	1.60
ノリタケの森	1.0	1.0	0.2	1.5	1.0	2.3	0.8	0.0	0.6	5.8	18.5	1.97
名古屋港水族館	0.2	0.4	0.4	1.0	0.2		19.0	2.5	0.0	1.7	13.0	1.60
名古屋まつり	0.0	0.7	0.5	0.5	8.9	0.5	0.2	0.2	0.2	0.0	21.8	1.75
イベント会場	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	2.0	1.0	0.2	0.2	0.7	15.0	1.22

（複数回答）

※一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定数（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.66 = \{3,582 (a) + 2,347 (b)\} \div 3,582 (a)$$

d. 旅行形態

全体では、「友人・知人」が 29.2%で、「幼児・小学生連れ」（18.7%）や「夫婦」（17.3%）など「家族連れ」が合計で 51.2%、「ひとり」が 14.2%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」、「ノリタケの森」の入込客は「友人・知人」の割合が最も多く、次いで「夫婦」となっている。「熱田神宮」、「名古屋港水族館」の入込客は「幼児・小学生連れの家族」の最も多く、次いで「熱田神宮」では「ひとり」、「名古屋港水族館」では「友人・知人」となっている。また、「名古屋まつり」の入込客は「ひとり」の、「イベント会場」の入込客は「友人・知人」の割合がそれぞれ最も多いものの割合は比較的分散している。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	旅行形態 ひとり	友人・ 知人	家 族 連 れ			団 体		その他	合 計
			幼児・ 小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生		
名古屋城	6.5	46.7	4.2	21.8	17.0	3.1	0.2	0.5	100.0
熱田神宮	23.1	17.3	29.3	13.2	9.6	6.1	0.0	1.4	100.0
ノリタケの森	10.9	37.1	9.3	17.3	13.9	10.4	0.0	1.1	100.0
名古屋港水族館	6.4	31.6	33.1	9.2	11.8	7.6	0.0	0.3	100.0
名古屋まつり	24.8	15.3	18.9	21.9	18.9	0.0	0.0	0.2	100.0
イベント会場	15.7	23.6	17.3	21.7	21.5	0.2	0.0	0.0	100.0
全 体	14.2	29.2	18.7	17.3	15.2	4.8	0.0	0.6	100.0

パッケージ旅行の割合は、全体では 6.3%である。

観光地点別にみると、「パッケージ旅行」の割合は「ノリタケの森」の入込客では 16.5%と調査地点の中で最も多く、「熱田神宮」、「名古屋港水族館」、「名古屋城」でも数%以上となっている。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客ではほぼ全員が「パッケージ旅行ではない」としている。

地域別にみると、パッケージ旅行を利用する割合は、「甲信越」(41.7%)と「その他」(39.5%)からの入込客では 4 割と多く、「岐阜県・三重県・静岡県」や「近畿」、「北陸」、「関東」からの入込客でも 1 割前後が利用している。

宿泊客だけでなく、日帰り客でも「パッケージ旅行」を 5.2%が利用している。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域・宿泊別）

（単位：％）

旅行形態 観光地点・地域・宿泊		パッケージ 旅行	パッケージ 旅行ではない	合 計
観 光 地 点	名古屋城	5.4	94.6	100.0
	熱田神宮	7.6	92.4	100.0
	ノリタケの森	16.5	83.5	100.0
	名古屋港水族館	6.0	94.0	100.0
	名古屋まつり	0.2	99.8	100.0
	イベント会場	0.0	100.0	100.0
地 域	東 海	2.9	97.1	100.0
	名古屋市	0.4	99.6	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	0.1	99.9	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	13.6	86.4	100.0
	関 東	7.1	92.9	100.0
	近 畿	9.4	90.6	100.0
	北 陸	7.4	92.6	100.0
	甲信越	41.7	58.3	100.0
	その他	39.5	60.5	100.0
宿 泊	宿泊客	12.2	87.8	100.0
	日帰り客	5.2	94.8	100.0
全 体		6.3	93.7	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

旅行予算をみると、全体では「5,000 円未満」が 53.0%と最も多く、次いで「10,000～30,000 円未満」(18.6%)、「5,000～10,000 円未満」(18.4%) がそれぞれ 18% 台みられる。旅行予算の平均額は 11,852 円である。昨年度 (12,423 円) と比較すると 571 円の減額となっている。

観光地点別にみると、「10,000 円以上」の割合は合わせて「名古屋城」(52.3%) や「ノリタケの森」(48.6%) の入込客では半数前後と多く、平均額は 19,000 円程度となっている。一方、「名古屋まつり」の入込客では「5,000 円未満」が 9 割弱を占める。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「10,000～30,000 円未満」が最も多く、かつ「30,000 円以上」が半数弱みられ、平均額は 34,852 円と高額である。「名古屋市外からの日帰り客」では「5,000 円未満」が最も多いものの半数未満であり、平均額は 10,730 円である。一方、「名古屋市内」では「5,000 円未満」が 8 割以上を占め、平均額は 4,000 円弱となっている。

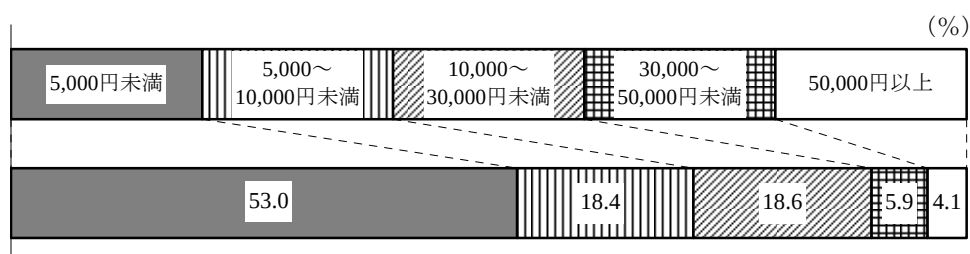


図 2-1-4 入込客の旅行予算

表 2-1-8 入込客の旅行予算(地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

旅行予算		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合 計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	31.5	16.2	33.9	10.3	8.1	100.0	18,980
	熱田神宮	57.9	17.3	14.9	6.1	3.8	100.0	11,032
	ノリタケの森	35.7	15.7	29.9	10.2	8.5	100.0	18,508
	名古屋港水族館	52.1	24.0	16.6	4.9	2.4	100.0	10,183
	名古屋まつり	88.6	7.5	2.7	1.0	0.2	100.0	3,838
	イベント会場	59.3	29.9	9.5	1.1	0.2	100.0	6,210
地域×宿泊	名古屋市	83.7	12.8	3.3	0.1	0.1	100.0	3,858
	宿泊客	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0	8,333
	日帰り客	83.6	12.9	3.3	0.1	0.1	100.0	3,848
	名古屋市外	33.7	21.9	28.3	9.5	6.6	100.0	16,879
	宿泊客	1.4	5.2	48.1	26.1	19.2	100.0	34,852
	日帰り客	44.7	27.6	21.5	3.9	2.3	100.0	10,730
全 体		53.0	18.4	18.6	5.9	4.1	100.0	11,852

注: 平均額の計算式: $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000～50,000 円未満」の回答者数}) + (75,000 \text{ 円}) \times (\text{「50,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

b. 名古屋市内消費額

観光入込客が名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、全体では「5,000 円未満」が 44.4%と最も多く、次いで「5,000～10,000 円未満」が 27.9%、「10,000～20,000 円未満」が 15.5%、「20,000～30,000 円未満」が 6.6%、「30,000 円以上」が 5.6%となっている。名古屋市内消費額の平均額は 7,827 円である。昨年度（8,170 円）と比較すると 343 円の減額となっている。

観光地点別にみると、平均額は、「名古屋城」の入込客では 13,578 円、「ノリタケの森」の入込客では 10,025 円と比較的高額である。一方、「名古屋まつり」（3,351 円）の入込客では相対的に低額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では過半数が「20,000 円以上」で、平均額は 21,596 円と高額となっている。「名古屋市外からの日帰り客」では「5,000～10,000 円未満」が最も多く、平均額は 6,676 円である。一方、「名古屋市内」では 7 割が「5,000 円未満」である。

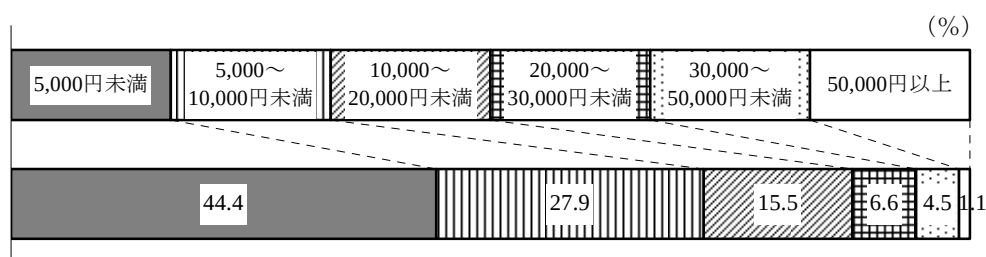


図 2-1-5 入込客の名古屋市内消費額

表 2-1-9 入込客の名古屋市内消費額（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内消費額		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合 計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊									
観 光 地 点	名古屋城	28.7	16.5	25.8	15.4	10.1	3.5	100.0	13,578
	熱田神宮	49.4	27.7	13.9	5.8	2.7	0.5	100.0	6,447
	ノリタケの森	31.6	27.6	21.3	9.8	8.2	1.5	100.0	10,025
	名古屋港水族館	33.3	43.4	14.7	4.7	3.1	0.8	100.0	7,222
	名古屋まつり	75.2	20.9	2.7	0.8	0.4	0.0	100.0	3,351
	イベント会場	55.5	30.3	11.6	1.4	1.0	0.2	100.0	4,987
地 域 × 宿 泊	名古屋市	69.9	23.4	5.7	0.6	0.3	0.1	100.0	3,592
	宿泊客	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	7,000
	日帰り客	69.9	23.5	5.6	0.6	0.3	0.1	100.0	3,585
	名古屋市外	28.3	30.6	21.7	10.5	7.1	1.8	100.0	10,494
	宿泊客	2.4	5.1	35.4	29.6	21.7	5.8	100.0	21,596
	日帰り客	37.2	39.4	17.0	3.9	2.1	0.4	100.0	6,676
全 体		44.4	27.9	15.5	6.6	4.5	1.1	100.0	7,827

c. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000 円未満」が 54.8%と最も多く、次いで、「1,000～3,000 円未満」が 18.9%、「交通費はかからない」が 18.0%となっている。市内交通費の平均額は 906 円であり、昨年度 (1,039 円) と比較すると 133 円の減額となっている。

観光地点別にみると、全地点とも「1,000 円未満」が最も多くなっている。「名古屋城」の入込客では「3,000 円以上」の割合も 1 割みられ、平均額は 1,386 円と最も高額である。また、「イベント会場」や「名古屋港水族館」などでは「1,000～3,000 円未満」の割合が相対的に多く、平均額は 900 円以上である。一方、「名古屋まつり」では「交通費はかからない」(35.9%) の割合が比較的多く、平均額は 434 円と低額になっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「1,000～3,000 円未満」の割合が最も多く、平均額も 1,846 円となっている。一方、「名古屋市内」では「交通費はかからない」(34.7%) の割合が比較的多く、平均額は 425 円である。

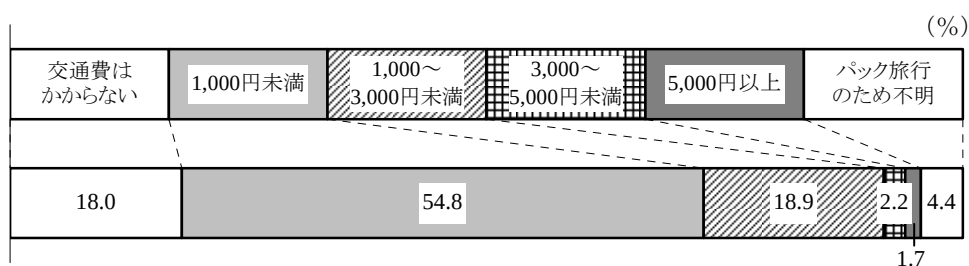


図 2-1-6 入込客の市内交通費

表 2-1-10 入込客の市内交通費（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	バック旅行のため不明	合 計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊									
観光地点	名古屋城	16.8	45.7	24.7	4.1	6.2	2.5	100.0	1,386
	熱田神宮	22.8	53.0	15.2	1.3	0.8	6.9	100.0	732
	ノリタケの森	22.9	44.7	17.0	2.9	1.8	10.7	100.0	908
	名古屋港水族館	6.9	60.9	24.1	2.6	0.5	5.0	100.0	975
	名古屋まつり	35.9	57.0	6.7	0.4	0.0	0.0	100.0	434
	イベント会場	3.4	70.2	24.5	1.9	0.0	0.0	100.0	917
地域×宿泊	名古屋市内	34.7	60.0	4.7	0.5	0.1	0.0	100.0	425
	宿泊客	33.3	33.4	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	833
	日帰り客	34.7	60.0	4.7	0.5	0.1	0.0	100.0	424
	名古屋市外	7.5	51.5	27.9	3.3	2.6	7.2	100.0	1,233
	宿泊客	6.6	33.9	38.3	7.2	6.5	7.5	100.0	1,846
	日帰り客	7.8	57.5	24.3	2.0	1.3	7.1	100.0	1,023
全 体		18.0	54.8	18.9	2.2	1.7	4.4	100.0	906

注：平均額の計算式： $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「交通費はかからない」の回答者数}) + (500 \text{ 円}) \times (\text{「1,000 円未満」の回答者数}) + (2,000 \text{ 円}) \times (\text{「1,000～3,000 円未満」の回答者数}) + (4,000 \text{ 円}) \times (\text{「3,000～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「バック旅行のため不明」の回答者数})\}$

d. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する」という回答が全体では 48.1% とほぼ半数あり、支出額としては、「2,000 円未満」(21.9%) や「2,000～5,000 円未満」(17.2%) の割合が多い。土産代の平均額は 1,785 円であり、昨年度 (1,580 円) と比較すると 205 円の増額となっている。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋城」(66.7%) と「ノリタケの森」(64.7%) の入込客では特に多く、「熱田神宮」(53.5%) や「名古屋港水族館」(49.6%) でも半数前後を占める。一方、「名古屋まつり」や「イベント会場」の入込客では購入する割合は 2～3 割と低く、平均額は 1000 円に満たない。

地域・宿泊別にみると、「土産を購入する」割合、金額とも、「名古屋市」居住者より「名古屋市外」からの入込客の方が、「名古屋市外」からの入込客では「日帰り客」より「宿泊客」の方がかなり多く、特に「名古屋市外からの宿泊客」では「購入する」割合は 9 割を占め、平均額は 4,933 円と高額である。

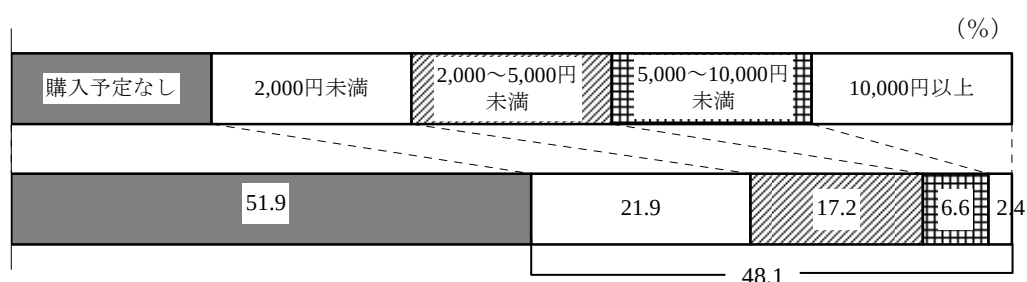


図 2-1-7 入込客の市内での土産代

表 2-1-11 入込客の市内での土産代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

地点・地域×宿泊		土産代					合 計	平均額 (円)
		買わない	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上		
観 光 地 点	名古屋城	33.3	28.2	23.2	11.1	4.2	100.0	2,766
	熱田神宮	46.5	24.7	20.0	6.9	1.9	100.0	1,845
	ノリタケの森	35.3	19.2	27.5	12.2	5.8	100.0	3,233
	名古屋港水族館	50.4	29.1	16.2	3.3	1.0	100.0	1,300
	名古屋まつり	81.5	13.0	3.8	1.5	0.2	100.0	417
	イベント会場	73.5	14.3	9.1	2.7	0.4	100.0	738
地 域 × 宿 泊	名古屋市	70.9	19.8	7.7	1.5	0.1	100.0	597
	宿泊客	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0
	日帰り客	70.8	19.9	7.7	1.5	0.1	100.0	598
	名古屋市外	40.1	23.2	23.2	9.7	3.8	100.0	2,530
	宿泊客	11.6	21.6	36.3	21.2	9.3	100.0	4,933
	日帰り客	49.8	23.8	18.7	5.8	1.9	100.0	1,705
全 体		51.9	21.9	17.2	6.6	2.4	100.0	1,785

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 ～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出をみると、全体では「2,000 円未満」(44.1%) が最も多く、次いで「2,000～5,000 円未満」が 24.1%、「ジュース程度」が 21.9%となっている。なお、食事代の平均額は 2,429 円であり、昨年度 (2,584 円) と比較すると 155 円の減額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「ノリタケの森」の入込客では「2,000～5,000 円未満」の割合が最も多くなっている。一方、「名古屋港水族館」と「名古屋まつり」、「イベント会場」の入込客では「2,000 円未満」の割合が過半数を占める。また、「熱田神宮」の入込客では「5,000 円未満」の割合が比較的分散している。

地域・宿泊別にみると、「宿泊客」では「2,000～5,000 円未満」の割合が最も多く、特に「名古屋市外からの宿泊客」では「5,000 円以上」も 4 割以上と多く、平均額は 6,926 円と高額である。一方、「日帰り客」では「2,000 円未満」の割合が半数となっている。

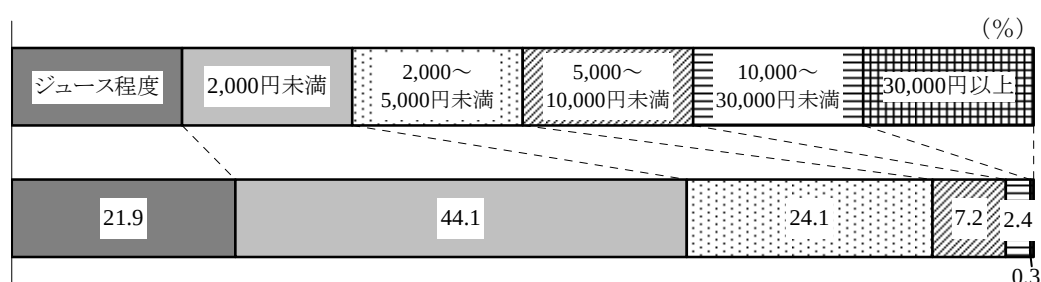


図 2-1-8 入込客の市内での食事代

表 2-1-12 入込客の市内での食事代（地点・地域×宿泊別）

(単位: %)

市内食事代		ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合計	平均額(円)
地点・地域×宿泊									
観光地点	名古屋城	9.3	28.6	37.9	17.7	5.6	0.9	100.0	4,423
	熱田神宮	27.5	39.9	24.4	6.5	1.7	0.0	100.0	2,070
	ノリタケの森	21.7	29.9	34.8	9.1	4.0	0.5	100.0	3,199
	名古屋港水族館	18.7	53.9	19.4	5.6	2.1	0.3	100.0	2,176
	名古屋まつり	29.3	54.9	14.3	1.1	0.4	0.0	100.0	1,213
	イベント会場	27.5	62.5	9.2	0.8	0.0	0.0	100.0	1,005
地域×宿泊	名古屋市	32.6	50.5	14.6	1.8	0.4	0.1	100.0	1,282
	宿泊客	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	4,833
	日帰り客	32.7	50.6	14.5	1.7	0.4	0.1	100.0	1,274
	名古屋市外	15.1	40.1	30.1	10.6	3.7	0.4	100.0	3,160
	宿泊客	2.4	14.2	40.4	28.5	12.9	1.6	100.0	6,926
	日帰り客	19.4	49.0	26.5	4.5	0.6	0.0	100.0	1,879
全 体		21.9	44.1	24.1	7.2	2.4	0.3	100.0	2,429

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「ジュース程度」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

f. 宿泊代

「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は 15.6%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000 円未満」（7.0%）の割合が多い。

なお、名古屋市内の宿泊施設に宿泊する方の 1泊あたりの宿泊代の平均額は 9,883 円であり、昨年度（10,316 円）と比較すると 433 円の減額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は「名古屋城」の入込客で 38.1%と最も多く、次いで「ノリタケの森」で 21.5%、「名古屋港水族館」（13.0%）と「熱田神宮」（12.5%）は 13%となっている。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客ではほとんどが「宿泊しない」としている。

「名古屋市外からの宿泊客」では、「5,000～15,000 円未満」の割合は 44.9%と多い。また、「友人・知人の家に宿泊」が 16.1%みられる。

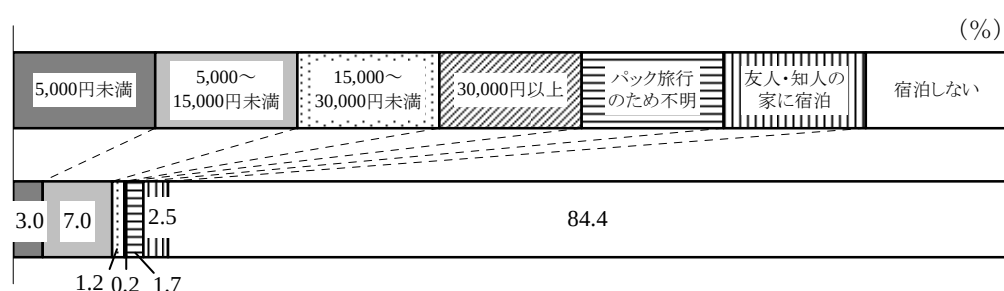


図 2-1-9 入込客の宿泊代

表 2-1-13 入込客の宿泊代（地点・地域×宿泊別）

（単位：%）

市内宿泊代		5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	バック旅行のため不明	友人・知人の家に宿泊	宿泊しない	合計	平均額（円）
地点・地域×宿泊										
観光地点	名古屋城	8.0	17.0	4.4	0.9	3.0	4.8	61.9	100.0	10,760
	熱田神宮	1.8	4.9	0.3	0.2	2.9	2.4	87.5	100.0	9,389
	ノリタケの森	3.7	9.8	1.3	0.0	2.9	3.8	78.5	100.0	9,212
	名古屋港水族館	3.3	6.8	0.6	0.0	1.0	1.3	87.0	100.0	8,419
	名古屋まつり	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	1.7	98.1	100.0	10,000
	イベント会場	0.0	0.9	0.2	0.0	0.0	0.4	98.5	100.0	12,083
地域×宿泊	名古屋市	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	99.8	100.0	6,250
	宿泊客	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	6,250
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	—
	名古屋市外	4.8	11.4	2.0	0.3	2.8	4.1	74.6	100.0	9,901
	宿泊客	18.9	44.9	7.8	1.3	11.0	16.1	0.0	100.0	9,901
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	—
全体		3.0	7.0	1.2	0.2	1.7	2.5	84.4	100.0	9,883

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (10,000 円) × (「5,000～15,000 円未満」の回答者数) + (22,500 円) × (「15,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / {(全回答者数) - (「バック旅行のため不明」の回答者数) - (「友人・知人の家に宿泊」の回答者数) - (「宿泊しない」の回答者数)}

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外に居住する方（全体の 61.4%）の来名回数としては、「10 回以上」が 60.5%と最も多く、「今回はじめて」訪れた割合は 14.9%である。

「10 回以上」の割合は、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客や「愛知県（名古屋市を除く）」居住者では 9 割以上を占める。一方、「今回はじめて」訪れた割合は、「名古屋城」（33.3%）の入込客や「東海以外」（36.3%）からの入込客では比較的多い。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数（地点・地域別）

（単位：％）

回 数		はじめて	2 回目	3 回目	4 ～ 9 回目	10 回以上	合 計
観光地点・地域							
観 光 地 点	名古屋城	33.3	18.7	8.7	9.1	30.2	100.0
	熱田神宮	18.1	7.7	9.7	8.0	56.5	100.0
	ノリタケの森	14.6	11.5	5.7	15.7	52.5	100.0
	名古屋港水族館	9.3	7.2	6.4	9.5	67.6	100.0
	名古屋まつり	0.0	1.5	2.3	4.6	91.6	100.0
	イベント会場	0.0	0.0	0.9	4.0	95.1	100.0
地 域	東 海	1.3	1.8	2.2	6.0	88.7	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	0.6	0.5	0.4	2.3	96.2	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	2.4	3.7	4.8	11.4	77.7	100.0
	東海以外	36.3	20.9	12.3	14.6	15.9	100.0
全 体		14.9	9.2	6.1	9.3	60.5	100.0

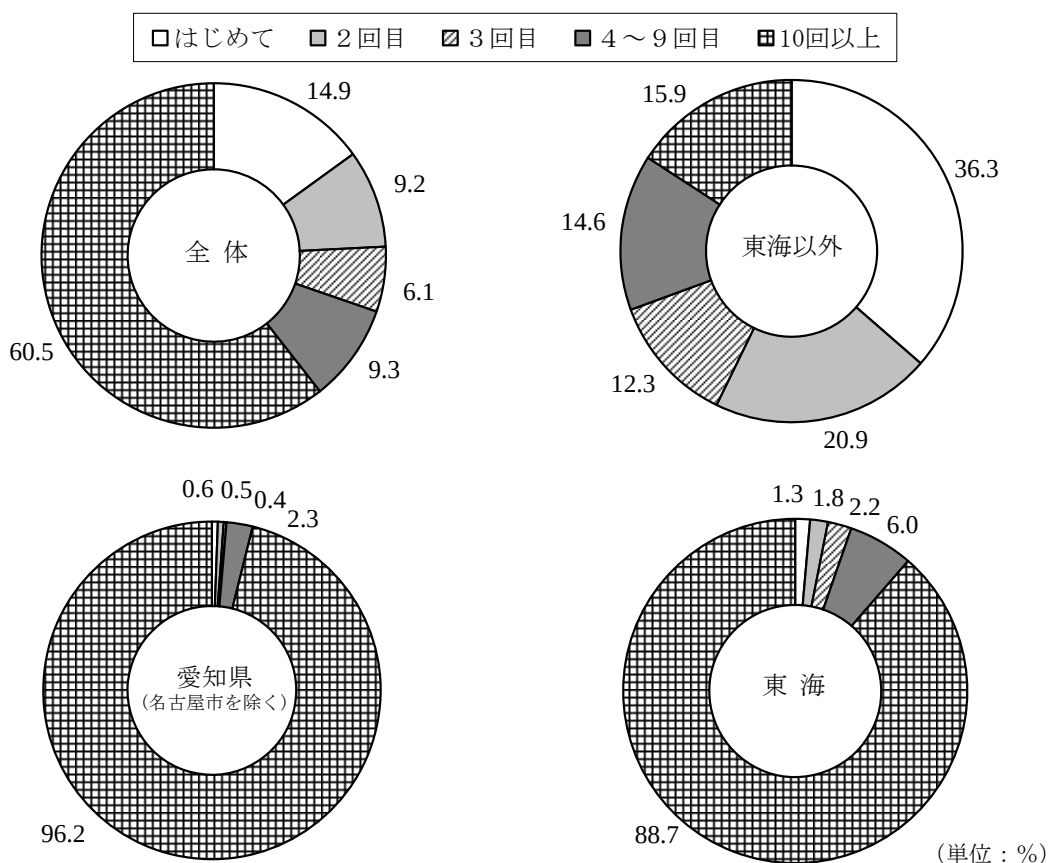


図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

⑤交通機関

名古屋市外居住者の名古屋市内への主な交通手段は、全体では「自家用車」が50.9%と半数みられ、次いで「ＪＲ」(21.3%)、「名鉄電車」(9.5%)、「観光バス」(9.2%)となっている。

観光地点別にみると、「ノリタケの森」の入込客では「ＪＲ」の割合が最も高いが、そのほかでは「自家用車」の割合が最も高く、特に「イベント会場」の入込客では8割を超えている。また、「ノリタケの森」の入込客では「観光バス」の割合が、「名古屋まつり」の入込客では「名鉄電車」の割合が相対的に多くなっている。

居住地別にみると、各地域とも「自家用車」が最も多く、特に「東海」内の「愛知県」、「三重県」、「岐阜県」では6割前後となっている。また、「愛知県（名古屋市を除く）」では「名鉄電車」、「岐阜県」と「静岡県」では「ＪＲ」、「三重県」では「近鉄電車」、「静岡県」では「観光バス」も比較的多い。一方、「東海以外」からの入込客では「ＪＲ」も31.8%と多い。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れ」など「家族連れ」や「友人・知人」では「自家用車」の割合が、「団体旅行」では「観光バス」の割合が、「ひとり」などでは「ＪＲ」の割合が最も多くなっている。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関（地点・地域・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関 地点・地域・旅行形態		J R	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	地 下 鉄・ 市バ ス	そ の 他	合 計
観 光 地 点	名古屋城	23.5	7.1	2.0	49.9	4.3	1.0	5.5	4.1	7.9	105.3
	熱田神宮	22.1	15.1	2.3	43.8	2.3	1.3	12.7	1.0	2.3	102.9
	ノリタケの森	37.1	8.8	4.4	24.3	4.2	1.8	21.6	0.7	2.0	104.9
	名古屋港水族館	11.0	8.1	1.5	63.8	1.3	3.0	8.5	2.3	2.1	101.6
	名古屋まつり	26.7	26.0	6.1	32.8	0.0	0.8	0.0	16.8	1.5	110.7
	イベント会場	8.9	4.9	1.7	82.3	0.0	0.3	0.0	0.3	8.3	106.7
地 域	東 海	14.6	14.6	2.8	58.7	0.0	0.8	5.9	4.5	3.0	104.9
	愛知県（名古屋市を除く）	13.0	20.3	0.5	61.5	0.0	0.6	0.3	7.5	2.5	106.2
	岐阜県	19.7	13.5	0.0	54.1	0.0	0.9	10.5	0.0	4.4	103.1
	三重県	5.2	0.0	19.0	57.5	0.0	2.3	14.9	0.0	4.0	102.9
	静岡県	27.0	2.1	0.0	51.8	0.0	0.0	19.1	0.0	2.1	102.1
	東海以外	31.8	1.5	2.5	38.7	6.2	2.6	14.5	0.0	6.5	104.3
旅 行 形 態	ひとり	33.2	21.5	4.2	27.1	3.3	2.8	1.4	5.1	10.7	109.3
	友人・知人	24.4	11.7	2.7	46.8	1.4	2.0	5.6	3.1	6.1	103.8
	家 族	7.8	6.6	0.6	82.1	0.0	0.3	0.6	3.0	1.2	102.2
	幼児・小学生連れ	21.3	6.8	2.9	62.1	3.2	1.3	3.9	1.6	2.1	105.2
	夫婦	25.1	7.5	4.5	55.4	2.8	1.4	3.1	2.5	1.9	104.2
	その他	9.1	0.6	0.0	3.7	7.3	0.6	79.9	0.0	4.3	105.5
	団体旅行	46.2	7.7	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	7.7	15.4	107.8
全 体		21.3	9.5	2.6	50.9	2.4	1.5	9.2	2.7	4.4	104.5

（複数回答）

⑥名古屋市以外の訪問地

名古屋市外に居住する入込客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」方の割合は全体では19.5%である。その訪問先としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」(5.1%)が最も多く、以下、「伊勢・志摩」(3.2%)、「明治村・犬山」(2.7%)、「知多・常滑・セントレア」(2.2%)、「下呂・高山」(2.1%)、「豊田・岡崎・足助」(2.1%)となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市以外にも訪問する」という割合は、「ノリタケの森」の入込客では32.0%と高く、「熱田神宮」(25.4%)、「名古屋城」(20.9%)、「名古屋港水族館」(18.2%)の入込客でも2割前後みられる。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では大半が「名古屋市内のみ」としている。

宿泊客では、「名古屋市以外にも訪問する」という割合が33.7%と高く、訪問先としては「明治村・犬山」(7.5%)が最も多い。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地（地点・宿泊別）

(単位：%)

訪問地		名古屋市 市内のみ	長島温泉・湯の山・鈴鹿	伊勢・志摩	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	下呂・高山	豊田・岡崎・足助	蒲郡・西浦・三谷	岐阜・関ヶ原	長久手・モリコロパーク	豊橋・伊良湖	多治見・恵那・中津川	豊川・鳳来寺	瀬戸・小原	その他	訪問地 合計
観光 地点	観光地点・宿泊																
	名古屋城	79.1	3.9	3.2	3.2	1.0	2.6	3.4	0.0	0.8	1.8	0.4	0.4	0.2	0.4	2.6	23.9
	熱田神宮	74.6	5.7	3.7	4.7	4.7	3.0	5.0	2.7	2.0	0.7	1.0	0.3	1.3	0.0	5.0	39.8
	ノリタケの森	68.0	8.6	7.3	3.1	3.1	5.3	1.8	3.5	3.5	0.7	1.3	0.9	0.2	0.0	0.7	40.0
	名古屋港水族館	81.8	6.4	2.1	2.8	3.0	0.2	0.8	1.7	0.8	2.3	0.4	0.0	0.0	0.4	0.2	21.1
	名古屋まつり	96.2	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	3.9
	イベント会場	96.0	1.7	0.0	0.3	0.6	0.0	0.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	4.1
宿 泊	宿泊客	66.3	4.8	6.1	7.5	3.0	4.5	4.6	1.2	2.1	3.6	1.8	0.5	0.5	0.5	2.9	43.6
	日帰り客	85.3	5.1	2.2	1.1	2.0	1.3	1.2	1.5	1.2	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	1.1	17.9
全 体		80.5	5.1	3.2	2.7	2.2	2.1	2.1	1.5	1.4	1.2	0.6	0.4	0.3	0.2	1.5	24.5

(複数回答)

⑦旅行日程

名古屋市以外からの入込客の旅行日程としては、「日帰り」が 65.4%であり、「2 日」(23.4%)、「3 日」(8.6%) など「2 日以上」の割合は合わせて 34.6%となっている。

観光地点別にみると、「2 日以上」の割合は、「名古屋城」の入込客では 61.4%と高く、「ノリタケの森」(45.5%)、「熱田神宮」(39.2%) の入込客でも比較的高い。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では「日帰り」の割合が 9 割を超えている。

居住地別にみると、「東海」居住者では大半が「日帰り」である。一方、「その他」(98.9%) からの入込客ではほとんど、「関東」(85.9%)、「甲信越」(85.0%) からの入込客では 9 割弱が「2 日以上」であり、「北陸」(66.7%)、「近畿」(64.6%) からの入込客でも「2 日以上」の割合は 6 割以上を占めている。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

(単位：%)

日 程		日 帰 り	2 日	3 日	4 日	5 日 以 上	合 計
観光地点・地域							
観 光 地 点	名古屋城	38.6	43.4	13.4	2.2	2.4	100.0
	熱田神宮	60.8	24.1	10.4	2.7	2.0	100.0
	ノリタケの森	54.5	28.5	13.9	0.7	2.4	100.0
	名古屋港水族館	75.7	18.4	5.1	0.4	0.4	100.0
	名古屋まつり	91.7	5.3	1.5	0.0	1.5	100.0
	イベント会場	97.2	1.4	1.1	0.0	0.3	100.0
地 域	東 海	94.4	4.2	1.3	0.0	0.1	100.0
	関 東	14.1	52.7	26.5	3.2	3.5	100.0
	近 畿	35.4	52.3	9.1	1.6	1.6	100.0
	北 陸	33.3	54.4	9.9	1.2	1.2	100.0
	甲信越	15.0	66.7	13.3	1.7	3.3	100.0
	その他	1.1	52.0	33.3	5.1	8.5	100.0
全 体		65.4	23.4	8.6	1.1	1.5	100.0

⑧市内での宿泊数

名古屋市以外からの入込客の中で「日帰り」を除いた方（全体の 21.3％）のうち、名古屋市内に宿泊する割合は 73.6％である。その泊数としては、「1 泊」する割合が 54.0％と最も高く、「2 泊」する割合が 16.3％となっている。

全ての階層で「1 泊」の割合が最も高い。

観光地点別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「ノリタケの森」や「熱田神宮」では 3 割に達している。

居住地別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「甲信越」や「東海」、「その他」からの入込客で 4 割弱と比較的多い。また、「2 泊以上」する割合は「近畿」と「北陸」、「甲信越」からの入込客では 1 割前後と低い。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

（単位：％）

市内宿泊数 観光地点・地域		宿泊しない	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	合 計
観 光 地 点	名古屋城	18.5	61.7	17.8	0.7	1.3	100.0
	熱田神宮	33.3	51.3	12.8	0.9	1.7	100.0
	ノリタケの森	34.5	41.2	19.9	1.0	3.4	100.0
	名古屋港水族館	27.9	60.0	8.7	1.7	1.7	100.0
	名古屋まつり	9.1	54.5	18.2	0.0	18.2	100.0
	イベント会場	20.0	50.0	20.0	0.0	10.0	100.0
地 域	東 海	36.0	45.3	16.0	0.0	2.7	100.0
	関 東	17.3	56.8	21.4	1.2	3.3	100.0
	近 畿	25.0	64.1	9.1	0.6	1.2	100.0
	北 陸	16.7	68.4	13.0	0.0	1.9	100.0
	甲信越	39.2	52.9	5.9	2.0	0.0	100.0
	その他	35.4	40.6	20.0	1.1	2.9	100.0
全 体		26.4	54.0	16.3	0.9	2.4	100.0

⑨高速道路の利用

a. ETC・高速道路利用の有無

秋期調査等で主な交通手段として自家用車を利用した方（1,056名）のうち、「高速道路を利用した」割合は45.0%であり、うち「ETCで利用した」割合が42.2%となっている。

観光地点別にみると、「高速道路を利用した」とする割合は「名古屋城」（65.4%）や「ノリタケの森」（55.7%）、「イベント会場」（50.9%）では過半数を占めている。一方、「熱田神宮」と「名古屋まつり」では2割台と少ない。

居住地別にみると、「静岡県」や「東海以外」からの入込客では大半が「高速道路を利用」しており、「ETCで利用」も9割を超え、「三重県」や「岐阜県」でも半数以上が「ETCを利用」している。一方、「名古屋市内」居住者では「利用」割合は1割程度である。

観光施設において平日と土日別にみると、「ETCで利用した」割合は料金割引が適用される土・日で平日より4ポイント高くなっている。

表 2-1-19 自動車での入込客のETC・高速道路利用の有無（地点・地域・調査日別）

（単位：％）

ETC・高速道路利用		ETCで 利用した	ETCでは ないが利用	利用して いない	合 計
観光地点・地域・調査日					
観 光 地 点	名古屋城	63.0	2.4	34.6	100.0
	熱田神宮	23.5	3.1	73.4	100.0
	ノリタケの森	53.2	2.5	44.3	100.0
	名古屋港水族館	34.0	4.5	61.5	100.0
	名古屋まつり	22.2	0.0	77.8	100.0
	イベント会場	48.3	2.6	49.1	100.0
地 域	東 海	33.9	3.0	63.1	100.0
	名古屋市	10.7	0.8	88.5	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	38.9	3.7	57.4	100.0
	岐阜県	51.0	4.2	44.8	100.0
	三重県	72.5	6.3	21.2	100.0
	静岡県	90.3	6.5	3.2	100.0
	東海以外	95.1	2.1	2.8	100.0
観光施設					
調査日	平日	37.1	3.3	59.6	100.0
	土・日	41.2	3.4	55.4	100.0
全 体		42.2	2.8	55.0	100.0

b. 利用した高速道路

高速道路を利用した方（自家用車利用者の45.0%）が利用した高速道路は、全体では「伊勢湾岸自動車道」が46.1%と最も多く、次いで「名古屋高速道路」（25.3%）と「東名高速道路」（24.6%）が2割台、「名神高速道路」（15.9%）と「東名阪自動車道」（13.0%）が1割台となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「名古屋港水族館」では「東名高速道路」、「熱田神宮」と「ノリタケの森」では「名古屋高速道路」、「イベント会場」では「伊勢湾岸自動車道」の割合が最も高くなっている。

居住地別にみると、「名古屋市内」と「岐阜県」では「名古屋高速道路」、「愛知県（名古屋市を除く）」では「伊勢湾岸自動車道」、「三重県」では「伊勢湾岸自動車道」と「東名阪自動車道」、「静岡県」と「関東」では「東名高速道路」、「近畿」や「その他」では「名神高速道路」、「北陸」では「東海北陸自動車道」と「名神高速道路」、「甲信越」では「中央自動車道」を利用する割合がそれぞれ高くなっている。

表 2-1-20 高速道路利用入込客の利用した道路（地点・地域別）

（単位：％）

利用高速道路 地点・地域		名神高速道路	東名高速道路	中央自動車道	東海北陸自動車道	伊勢湾岸自動車道	東名阪自動車道	名古屋高速道路	知多半島道路	合計
観光地点	名古屋城	36.6	47.6	12.2	6.1	6.1	9.8	30.5	2.4	151.3
	熱田神宮	16.3	9.3	0.0	2.3	4.7	20.9	58.1	11.6	123.2
	ノリタケの森	29.5	34.1	2.3	2.3	2.3	31.8	43.2	2.3	147.8
	名古屋港水族館	20.0	40.0	9.3	8.0	25.3	9.3	25.3	1.3	138.5
	名古屋まつり	25.0	31.3	12.5	12.5	6.3	12.5	25.0	6.3	131.4
	イベント会場	2.8	10.9	2.8	2.4	89.6	10.0	12.8	2.8	134.1
地域	東 海	5.1	18.6	1.8	1.2	59.5	13.5	27.3	4.2	131.2
	名古屋市	2.4	2.4	0.0	2.4	39.0	7.3	68.3	2.4	124.2
	愛知県（名古屋市を除く）	2.7	14.2	0.7	0.0	77.7	2.0	16.9	8.1	122.3
	岐阜県	15.7	17.6	9.8	5.9	25.5	15.7	52.9	0.0	143.1
	三重県	6.3	1.6	0.0	0.0	66.7	47.6	15.9	1.6	139.7
	静岡県	0.0	100.0	0.0	0.0	40.0	3.3	3.3	0.0	146.6
	関 東	0.0	89.8	12.2	0.0	6.1	10.2	22.4	0.0	140.7
	近 畿	78.7	10.6	2.1	0.0	23.4	17.0	23.4	4.3	159.5
	北 陸	58.3	8.3	8.3	66.7	8.3	4.2	16.7	0.0	170.8
	甲信越	12.5	0.0	100.0	0.0	37.5	0.0	25.0	0.0	175.0
	その他	60.0	30.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	140.0
全 体		15.9	24.6	5.5	4.2	46.1	13.0	25.3	3.4	138.0

（複数回答）

c. 名古屋エリアにおけるETC料金割引社会実験の認知

秋期調査等で主な交通手段として自家用車を利用した方で、名古屋高速道路や知多半島道路のETC料金割引社会実験（休日3割引）を「知っていた」割合は63.0%となっている。

居住地別にみると、「知っていた」とする割合は「名古屋市」や「愛知県」では7割以上、「岐阜県・三重県・静岡県」では半数であるが、「東海以外」からの入込客では2割と低い。

性別にみると、認知度は男性で女性より6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、認知度は総じて高く、特に30歳代と50～69歳では7割と高い。

表 2-1-21 自動車での入込客の名古屋エリアでのETC料金割引社会実験の認知（地域・性別・年齢別）

（単位：％）

地域・性別・年齢		ETC料金割引認知		
		知っていた	知らなかった	合 計
地 域	東 海	69.8	30.2	100.0
	名古屋市	77.7	22.3	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	74.7	25.3	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	47.8	52.2	100.0
	東海以外	19.0	81.0	100.0
性 別	男 性	65.6	34.4	100.0
	女 性	60.0	40.0	100.0
年 齢	10～19歳	55.6	44.4	100.0
	20～29歳	49.7	50.3	100.0
	30～39歳	67.2	32.8	100.0
	40～49歳	63.7	36.3	100.0
	50～59歳	67.4	32.6	100.0
	60～69歳	68.3	31.7	100.0
	70歳以上	58.5	41.5	100.0
全 体		63.0	37.0	100.0

d. 割引による行動の変化

秋期調査等で主な交通手段として自家用車を利用した方で、ETC料金割引により行動に変化があると答えた方の割合は35.9%であり、その行動の変化としては「お出かけの回数が増える」が23.7%、「高速道路を積極的に利用する」が14.1%となっている。

居住地別にみると、「東海以外」からの入込客では「遠方まで出かけられるようになる」(14.2%)の割合が相対的に多い。

性別にみると、女性では「お出かけの回数が増える」、男性では「高速道路を積極的に利用する」が相対的に多い。

年齢別にみると、「特に変化がない」の割合は30～40歳代でやや高い。20歳代では「お出かけの回数が増える」の割合が相対的に低く、「高速道路を積極的に利用する」や「遠方まで出かけられるようになる」が相対的に多い。

表 2-1-22 自動車での入込客のETC料金割引による行動の変化（地域・性別・年齢別）

（単位：％）

地域・性別・年齢		行動の変化						合 計
		お出 かけ の 回 数 が 増 える	高 速 道 路 を 積 極 的 に 利 用 す る	外 出 先 で 食 事 や 土 産 の 支 出 が 増 える	遠 方 ま で 出 か け ら れ る よ う に な る	特 に 変 化 は な い	そ の 他	
地 域	東 海	24.0	14.3	1.7	4.4	65.4	0.7	110.5
	名古屋市	23.1	13.4	1.7	3.7	65.4	0.6	107.9
	愛知県（名古屋市を除く）	24.7	14.4	2.0	4.6	66.4	0.9	113.0
	岐阜県・三重県・静岡県	24.1	15.8	1.0	5.4	63.5	0.5	110.3
	東海以外	22.0	12.8	5.0	14.2	56.0	0.0	110.0
性 別	男 性	21.9	15.4	1.8	5.0	64.8	0.2	109.1
	女 性	25.8	12.6	2.5	6.6	63.3	1.0	111.8
年 齢	10～19歳	29.6	11.1	0.0	11.1	59.3	0.0	111.1
	20～29歳	18.7	18.1	2.2	9.9	59.9	1.1	109.9
	30～39歳	22.7	12.9	1.9	7.6	66.3	0.4	111.8
	40～49歳	23.6	11.8	2.3	1.8	67.7	0.0	107.2
	50～59歳	28.1	15.8	1.2	3.5	62.0	1.2	111.8
	60～69歳	24.8	13.1	3.6	6.6	64.2	0.0	112.3
	70歳以上	26.8	14.6	2.4	0.0	61.0	2.4	107.2
全 体		23.7	14.1	2.1	5.8	64.1	0.6	110.4

（複数回答）

⑩名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

春期調査で名古屋市外居住者（春期調査の 72.3%）の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が 48.6%と半数を占め、「大変満足」が 23.5%で合わせた 72.1%が満足と評価している。「普通」が 25.8%であり、「やや不満」（2.1%）が僅か、「不満」は皆無となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では「大変満足」が 34.5%と施設の中で最も高く、「ほぼ満足」を合わせると 84.9%となっている。「ノリタケの森」と「名古屋港水族館」でも合わせて 72～73%が満足と評価は高いが、「熱田神宮」の入込客では「普通」が 44.0%と比較的多くなっている。

居住地別にみると、「東海」の各地域より「東海以外」からの入込客の方が満足度は高く、特に「関東」と「甲信越」では満足の割合は 8 割前後となっている。

性別による大きな差異はみられない。

年齢別にみると、「大変満足」の割合は 29 歳以下の若い年代と 70 歳以上の高年齢層で 3 割以上と多い。

表 2-1-23 名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
地点・地域・性別・年齢							
観光地点	名古屋城	34.5	50.4	14.0	1.1	0.0	100.0
	熱田神宮	10.2	41.8	44.0	4.0	0.0	100.0
	ノリタケの森	22.0	50.0	27.6	0.4	0.0	100.0
	名古屋港水族館	22.6	50.7	23.4	3.3	0.0	100.0
地域	東 海	22.1	45.8	30.0	2.1	0.0	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	25.4	41.4	30.6	2.6	0.0	100.0
	岐阜県	12.9	53.2	30.7	3.2	0.0	100.0
	三重県	17.9	55.3	26.8	0.0	0.0	100.0
	静岡県	22.5	46.2	30.0	1.3	0.0	100.0
	関 東	29.4	47.7	20.9	2.0	0.0	100.0
	近 畿	22.3	52.2	24.2	1.3	0.0	100.0
	北 陸	25.6	48.7	18.0	7.7	0.0	100.0
	甲信越	21.4	60.7	17.9	0.0	0.0	100.0
	その他	21.9	53.3	22.9	1.9	0.0	100.0
性別	男 性	25.4	46.2	25.9	2.5	0.0	100.0
	女 性	21.9	50.6	25.7	1.8	0.0	100.0
年齢	10～19歳	33.3	43.1	22.2	1.4	0.0	100.0
	20～29歳	31.8	46.4	20.6	1.2	0.0	100.0
	30～39歳	20.0	46.6	28.7	4.7	0.0	100.0
	40～49歳	14.7	50.5	33.9	0.9	0.0	100.0
	50～59歳	11.2	62.9	23.8	2.1	0.0	100.0
	60～69歳	24.3	43.7	29.9	2.1	0.0	100.0
	70歳以上	30.9	42.9	23.8	2.4	0.0	100.0
全 体		23.5	48.6	25.8	2.1	0.0	100.0

b. 満足した名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外居住者が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」が 45.9%と最も高く、「レジャー施設（動植物園、水族館等）」が 22.5%、「産業観光・ものづくりの施設（産業記念館、ノリタケの森等）」が 21.1%で続き、「グルメ・なごやめし」が 8.9%、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」が 5.1%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「熱田神宮」の入込客では「歴史的な施設」、「ノリタケの森」の入込客では「産業観光・ものづくり施設」、「名古屋港水族館」の入込客では「レジャー施設」の割合がかなり高く、訪れた施設についての評価は良好である。そのほか「熱田神宮」と「ノリタケの森」の入込客では「グルメ・なごやめし」の割合が1割以上みられる。

観光施設以外の観光資源について居住地別にみると、「関東」と「近畿」からの入込客では「グルメ・なごやめし」、「北陸」からの入込客では「ショッピングや街歩き」、「甲信越」からの入込客では「スポーツ観戦」がそれぞれ1割以上となっている。

観光施設以外の観光資源について年齢別にみると、20～30 歳代では「グルメ・なごやめし」や「ショッピングや街歩き」の割合が相対的に高くなっている。

表 2-1-24 名古屋市外からの入込客の満足した名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

(单位: %)

満足した観光資源 地点・地域・性別・年齢		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・などやめし	お祭り・イベント	コンサートや観劇鑑賞	スポーツ観戦	その他	特になし	合計
観光地点	名古屋城	90.2	1.1	0.4	3.0	7.2	0.8	1.5	1.5	0.0	6.0	111.7
	熱田神宮	70.0	0.6	3.3	6.1	10.0	0.0	0.6	1.7	0.0	19.4	111.7
	ノリタケの森	19.3	78.5	2.6	3.4	11.6	0.0	0.9	0.0	0.4	7.7	124.4
	名古屋港水族館	4.6	2.9	80.8	8.3	7.5	1.3	0.4	0.4	0.8	9.2	116.2
地域	東海	32.3	20.0	32.9	4.8	3.9	0.7	0.2	0.0	0.5	12.9	108.2
	愛知県	35.5	14.1	31.6	6.8	4.7	1.3	0.4	0.0	0.4	13.7	108.5
	岐阜県	29.0	14.5	43.5	3.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	107.9
	三重県	23.2	44.6	23.2	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7	103.5
	静岡県	31.7	24.4	35.4	2.4	3.7	0.0	0.0	0.0	1.2	12.2	111.0
	関東	66.7	19.0	9.2	7.2	17.6	1.3	1.3	2.6	0.0	6.5	131.4
	近畿	62.4	21.7	12.1	3.2	15.3	0.0	0.6	0.6	0.6	5.1	121.6
	北陸	66.7	2.6	20.5	15.4	7.7	0.0	2.6	0.0	0.0	10.3	125.8
	甲信越	34.5	13.8	34.5	6.9	6.9	0.0	3.4	10.3	0.0	10.3	120.6
	その他	42.5	36.8	12.3	1.9	8.5	0.0	1.9	0.0	0.0	9.4	113.3
性別	男性	46.2	16.7	23.3	5.7	8.8	0.5	1.2	1.5	0.2	11.8	115.9
	女性	45.6	24.7	21.9	4.7	9.0	0.6	0.6	0.4	0.4	8.4	116.3
年齢	10～19歳	51.4	5.6	26.4	6.9	6.9	0.0	2.8	1.4	1.4	8.3	111.1
	20～29歳	49.4	6.7	29.6	9.5	13.4	0.8	1.2	2.0	0.0	8.3	120.9
	30～39歳	41.1	11.3	29.1	7.9	13.2	0.7	0.0	1.3	0.0	13.9	118.5
	40～49歳	36.9	29.7	27.9	2.7	4.5	0.9	1.8	0.0	0.9	9.9	115.2
	50～59歳	47.6	35.0	16.8	2.1	6.3	0.0	0.0	0.0	0.7	6.3	114.8
	60～69歳	48.3	37.2	7.6	0.0	5.5	0.7	0.7	0.0	0.0	12.4	112.4
	70歳以上	41.9	44.2	7.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	107.0
全体		45.9	21.1	22.5	5.1	8.9	0.5	0.9	0.9	0.3	9.9	116.0

(複數回答)

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外居住者が不満を感じた名古屋の観光資源については、「特になし」が95.5%と大半を占め、個別の観光資源としては不満を感じた割合が1%に達するものはみられない。

各属性別にみても、全ての階層で「特になし」は9割以上と大半を占め、個別の観光資源として不満を感じた割合が目立つものは皆無である。

表 2-1-25 名古屋市外からの入込客の不満を感じた名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

不満を感じた 観光資源		施 設	歴 史的 な 施 設	産 業 観 光 ・ の づ く り 施 設	レ ジ ヤ ー 施 設	グ ラ フ や 街 歩 き	シ ョ ッ ピ ン	グ ル メ ・ な ご や め し	お 祭 り ・ イ ベ ン ト	観 戦 ス ポ ー ツ	そ の 他	特 に な し	合 計
観 光 地 点	名古屋城	0.4	0.0	0.0	0.8	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	1.2	96.4	100.0
	熱田神宮	1.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	97.7	100.0
	ノリタケの森	0.0	1.7	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	3.4	94.0	100.3
	名古屋港水族館	0.4	0.8	2.1	0.4	0.4	0.0	0.0	0.4	0.4	1.3	94.2	100.0
地 域	東 海	0.0	0.0	1.2	0.2	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	0.7	97.2	100.0
	愛知県	0.0	0.0	1.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	97.4	100.0
	岐阜県	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.2	100.0
	三重県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	98.2	100.0
	静岡県	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	97.6	100.0
	関 東	1.3	0.0	0.0	1.3	0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	2.7	92.7	100.0
	近 畿	0.6	2.6	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	92.2	100.6
	北 陸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	94.8	100.0
	甲信越	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	93.2	100.0
	その他	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.0	100.0
性 別	男 性	0.7	0.7	0.7	0.5	1.0	0.5	0.0	0.2	0.2	1.2	94.5	100.0
	女 性	0.2	0.6	0.4	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	2.0	96.4	100.2
年 齢	10～19歳	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	4.2	91.6	100.0
	20～29歳	0.8	0.0	0.8	0.8	0.8	0.4	0.0	0.4	0.4	2.4	93.6	100.0
	30～39歳	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7	96.5	100.0
	40～49歳	0.0	0.9	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.2	100.0
	50～59歳	0.0	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	97.2	100.0
	60～69歳	0.7	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	95.1	100.7
	70歳以上	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.7	100.0
全 体		0.4	0.7	0.6	0.3	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	1.7	95.5	100.2

（複数回答）

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外居住者が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」とした割合は78.3%であり、「歴史的な施設」の割合が34.4%と最も多く、「グルメ・なごやめし」(20.1%)と「ショッピングや街歩き」(18.4%)が2割程度、「レジャー施設」(12.5%)と「お祭り・イベント」(11.2%)が1割台で、そのほかの観光資源は1割弱となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「ノリタケの森」の入込客では「歴史的な施設」が最も高くなっている。「名古屋港水族館」の入込客では「ショッピングや街歩き」、「レジャー施設」など割合は比較的分散している。一方、「熱田神宮」の入込客は「特になし」が30.6%と多い。

居住地別にみると、全ての地域で「歴史的な施設」が最も多い。また「静岡県」と「甲信越」からの入込客では「ショッピングや街歩き」、「関東」と「近畿」からの入込客では「グルメ・なごやめし」がそれぞれ3割程度みられる。

年齢別にみると、19歳以下では「ショッピングや街歩き」が、20歳以上では「歴史的な施設」が最も高くなっている。20～30歳代では「グルメ・なごやめし」、30歳代では「レジャー施設」の割合も相対的に高くなっている。一方、60歳以上では「特になし」の割合が高く、特に70歳以上では半数近い。

表 2-1-26 名古屋市外からの入込客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

(単位：%)

訪れてみたい 観光資源		歴史的な 施設	産業観光・も のづくり施設	レジャー 施設	ショッピン グや街歩 き	グル メ・ なご やめ し	お祭 り・ イベ ント	観 戦 コ ン サ ー ト や 観 劇 鑑 賞	ス ポ ー ツ	そ の 他	特 に な し	合 計
観 光 地 点	名古屋城	55.1	7.5	12.5	19.6	24.5	18.5	10.2	8.7	0.8	10.2	167.6
	熱田神宮	27.2	5.0	8.9	15.6	23.3	6.7	8.3	3.3	1.7	30.6	130.6
	ノリタケの森	32.5	9.8	10.3	16.7	16.2	8.5	5.6	4.7	0.9	24.4	129.6
	名古屋港水族館	18.8	9.2	17.5	20.8	16.7	9.2	8.8	15.0	1.7	25.0	142.7
地 域	東 海	28.3	6.7	13.8	20.5	17.7	11.1	11.1	9.7	0.9	25.1	144.9
	愛知県	28.6	6.0	15.8	17.1	17.1	11.5	12.4	10.3	1.3	26.1	146.2
	岐阜県	27.4	11.3	17.7	25.8	22.6	8.1	8.1	6.5	1.6	25.8	154.9
	三重県	26.8	12.5	16.1	16.1	12.5	14.3	14.3	3.6	0.0	26.8	143.0
	静岡県	29.3	1.2	3.7	29.3	19.5	9.8	7.3	14.6	0.0	20.7	135.4
	関 東	32.7	7.8	13.7	20.3	26.1	15.0	6.5	7.2	1.3	15.7	146.3
	近 畿	46.2	13.3	12.0	10.8	29.7	10.8	6.3	5.7	1.9	15.2	151.9
	北 陸	38.5	7.7	7.7	23.1	10.3	12.8	7.7	2.6	2.6	17.9	130.9
	甲信越	34.5	13.8	10.3	27.6	17.2	0.0	3.4	10.3	3.4	24.1	144.6
	その他	42.5	4.7	8.5	14.2	11.3	9.4	3.8	9.4	0.0	26.4	130.2
性 別	男 性	34.3	7.6	11.8	17.4	18.1	11.5	8.1	11.5	1.0	24.0	145.3
	女 性	34.4	8.4	13.1	19.2	21.7	11.0	8.4	5.7	1.4	19.8	143.1
年 齢	10～19歳	25.0	8.3	6.9	31.9	15.3	15.3	9.7	12.5	1.4	20.8	147.1
	20～29歳	30.8	6.7	11.9	25.3	28.5	13.8	9.5	15.4	0.8	15.8	158.5
	30～39歳	35.1	12.6	21.9	17.9	26.5	11.9	9.3	8.6	0.0	19.9	163.7
	40～49歳	30.6	6.3	14.4	20.7	19.8	8.1	8.1	8.1	5.4	14.4	135.9
	50～59歳	38.5	6.3	12.6	13.3	16.8	9.8	4.9	2.1	1.4	22.4	128.1
	60～69歳	41.8	9.6	7.5	7.5	9.6	10.3	8.2	2.1	0.0	30.8	127.4
	70歳以上	39.5	4.7	4.7	4.7	4.7	2.3	7.0	0.0	0.0	48.8	116.4
全 体		34.4	8.1	12.5	18.4	20.1	11.2	8.3	8.3	1.2	21.7	144.2

(複数回答)

2-2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

- 秋期調査：平成 21 年 11 月 1 日 ～11 月 30 日
- 春期調査：平成 22 年 3 月 1 日 ～ 3 月 31 日

③調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

④調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の 20 施設に協力していただきました。

・登録ホテル 14 施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、ホテルアソシア名古屋ターミナル、ホテルキャッスルプラザ、ロイヤルパークイン名古屋、名鉄ニューグランドホテル、名古屋観光ホテル、名古屋国際ホテル、名古屋東急ホテル、サイプレスガーデンホテル、名古屋マリOTTアソシアホテル、東京第一ホテル錦、全日空ホテルズホテルグランコート名古屋、ホテルサンルートプラザ名古屋

・ホテル 2 施設

名古屋ガーデンパレス、KKRホテル名古屋

・登録旅館 1 施設

つちやホテル

・旅館 3 施設

旅館浅野屋、ホテル大名古屋温泉、松竹旅館

⑤調査件数

- 秋 期：454 サンプル
- 春 期：434 サンプル
- 合 計：888 サンプル

(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が 6.4%、「愛知県（名古屋市を除く）」が 6.8%、「岐阜県、三重県、静岡県」が 20.8%であり、合わせて「東海」地域が 34.0%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が 27.6%と多く、「近畿」地域は 11.3%、「北陸」地域は 4.2%、「甲信越」地域は 3.9%、その他の地域が 19.0%である。また、その他のうち「九州」が 6.2%である。

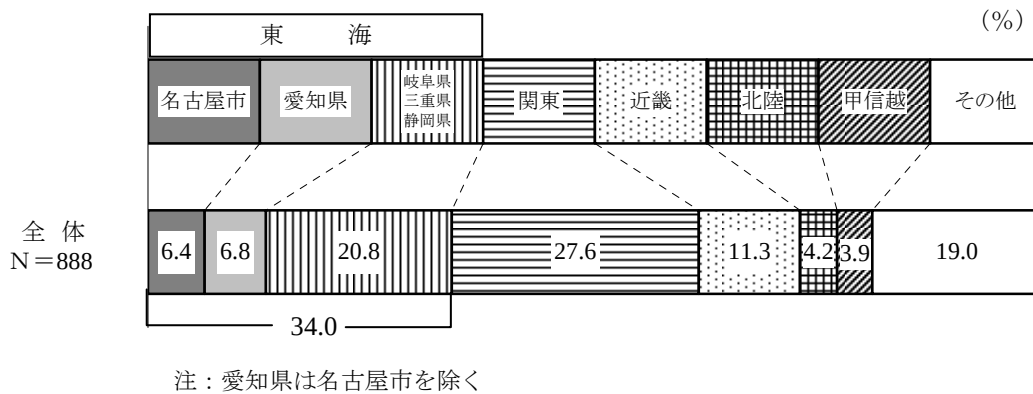


図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b. 性・年齢構成

年齢は、全体では 20 歳代から 50 歳代まで分散しており、「20～29 歳」は 22.9%、「30～39 歳」は 21.6%、「50～59 歳」は 19.6%、「40～49 歳」は 19.0%となっている。「60～69 歳」は 10.3%、「70 歳以上」は 4.0%、「10～19 歳」は 2.6%である。

性別は、男性が 50.2%、女性が 49.8%と、男女半々である。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性では 40・50 歳代を中心としている。一方、女性では「20～29 歳」(31.7%)が多く、次いで「30～39 歳」(23.1%)である。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位：%)

	10～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合計
全 体	2.6	22.9	21.6	19.0	19.6	10.3	4.0	100.0
男 性	2.2	14.0	20.6	24.3	24.0	11.0	3.9	50.2
女 性	2.5	31.7	23.1	14.9	15.9	8.2	3.7	49.8

注：男性、女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」(18.7%)をはじめ「観劇・コンサート」(8.5%)、「ショッピング」(6.4%)、「飲食」(5.9%)、「イベント」(5.3%)などの「観光・娯楽」の割合が合わせて48.3%と半数近くを占め、「商用・公用」が18.2%、「帰省・冠婚葬祭」が9.8%、「大会・会議に参加」が8.8%となっている。

時系列にみると、「観光・娯楽」の割合は5割前後、「商用・公用」は2割前後、「帰省・冠婚葬祭」は1割前後、「大会・会議に参加」は1割弱で推移している。

性別にみると、男性では「商用・公用」の割合が28.9%と多い。女性では「観光施設の見学」(21.7%)、「観劇・コンサート」(11.8%)など観光・娯楽の割合が男性に比べ高い。

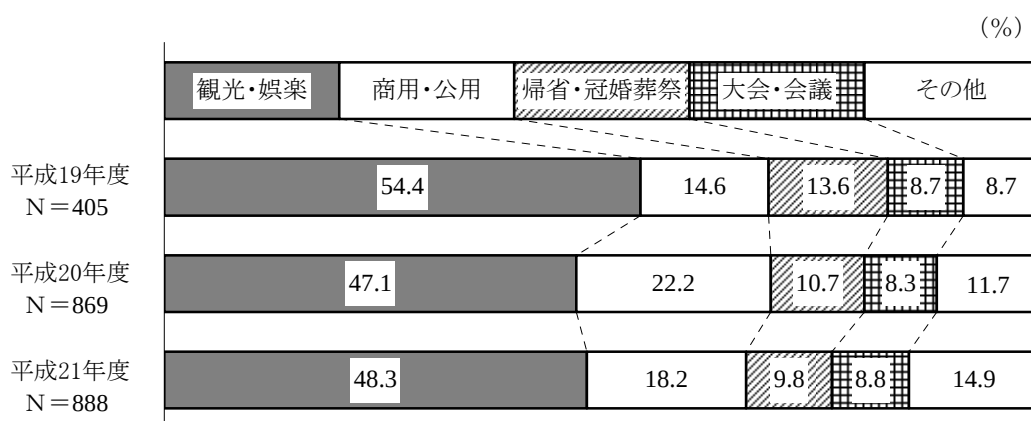


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-2-2 宿泊客の旅行目的（性別）

(単位：%)

旅行目的 性別	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
男性	15.6	4.6	5.4	4.9	6.4	3.4	28.9	9.8	7.6	13.4	100.0
女性	21.7	7.9	11.8	4.9	5.4	3.4	7.6	9.6	10.4	17.3	100.0
全体	18.7	6.4	8.5	5.3	5.9	3.5	18.2	9.8	8.8	14.9	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（427人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「以前に来て良かったから」（21.0%）と「ホームページの情報」（20.0%）が多く、以下「友人・知人の推薦」（17.6%）、「雑誌・新聞をみて」（15.2%）、「テレビ・ラジオ番組の情報」（8.2%）となっている。

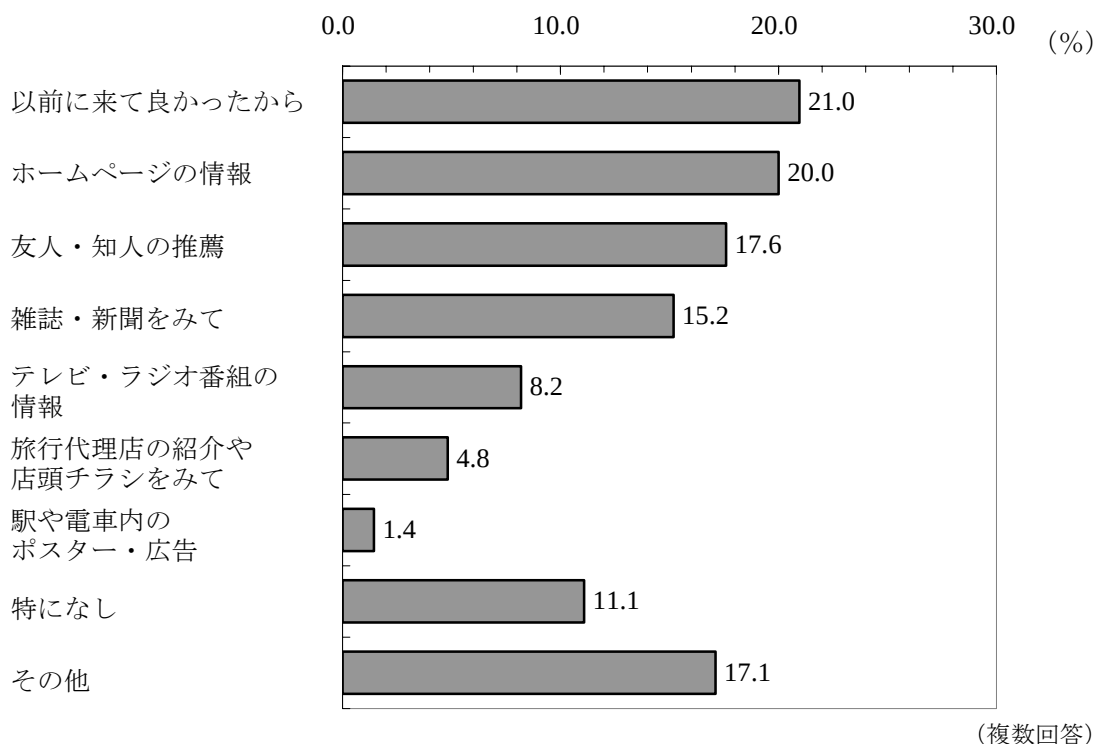


図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問するとした回答者は、888 人中 669 人（75.3%）であり、全体では「名古屋城」が 30.4%と最も多く、次いで「熱田神宮」（13.3%）、「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」（12.8%）、「名古屋港水族館」（10.8%）が 1 割台、「東山動植物園」（7.7%）、「徳川美術館」（7.2%）、「テレビ塔」（7.1%）、「徳川園」（6.1%）、「ノリタケの森」（5.5%）と続いている。

居住地別にみると、観光施設等を訪問する割合は「東海」より「東海以外」で 6 ポイント高くなっているが、平均訪問施設数はほぼ同じである。訪問施設としては、「東海」からの宿泊客では「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」（19.7%）や「名古屋港水族館」（14.3%）を訪れる割合が相対的に高い。一方、「東海以外」からの宿泊客では「名古屋城」（35.0%）を訪れる割合が特に高く、「熱田神宮」（14.7%）、「徳川美術館」（8.3%）、「徳川園」（7.3%）、「ノリタケの森」（6.4%）などを訪れる割合が相対的に高い。

なお、宿泊客 1 人あたりの平均訪問施設数は 1.44 施設である。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

（単位：％）

訪問施設 地 域	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ポストン美術館
東 海	21.4	1.0	3.7	5.1	3.7	10.5	2.4	7.1	2.4	7.5	1.4	3.4	2.7
東海以外	35.0	3.2	6.4	8.3	7.3	14.7	0.5	8.0	3.9	6.9	1.4	0.8	1.9
全 体	30.4	2.5	5.5	7.2	6.1	13.3	1.2	7.7	3.4	7.1	1.4	1.7	2.1

訪問施設 地 域	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	その他	なし	平均訪問施設数
東 海	2.4	1.4	0.3	4.1	14.3	5.8	4.1	1.0	19.7	18.7	20.4	1.44
東海以外	0.3	0.2	0.3	2.2	9.1	3.7	0.3	0.5	9.5	20.5	26.6	1.45
全 体	1.0	0.6	0.3	2.8	10.8	4.4	1.6	0.7	12.8	19.8	24.7	1.44

（複数回答）

注：平均訪問施設数の計算式：{訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数（「なし」の回答は除く）の合計数} / （全回答者数）

d. 旅行形態

全体では「友人・知人」(30.7%)と「ひとり」(29.8%)とが多く、「家族連れ」の割合は「家族(夫婦)」(15.4%)など合わせて32.5%となっている。

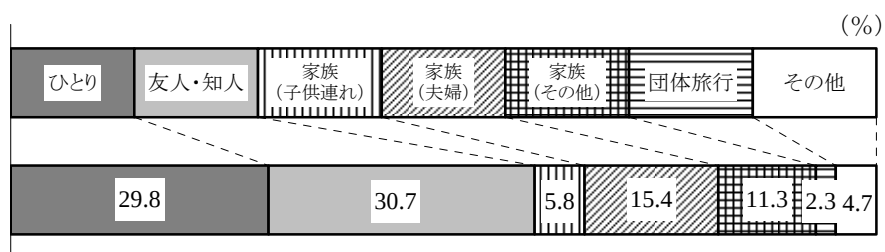


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は、全体では14.1%となっている。

居住地別にみると「その他」の地域からの宿泊客では28.1%が、「関東」(15.2%)、「北陸」(11.4%)からの宿泊客でも1割以上が、パッケージ旅行を利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無（居住地別）

(単位：%)

地 域	旅行形態		合 計
	パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	
東 海	8.3	91.7	100.0
名古屋市	9.8	90.2	100.0
愛知県(名古屋市を除く)	5.6	94.4	100.0
岐阜県・三重県・静岡県	8.7	91.3	100.0
関 東	15.2	84.8	100.0
近 畿	8.5	91.5	100.0
北 陸	11.4	88.6	100.0
甲信越	0.0	100.0	100.0
その他	28.1	71.9	100.0
全 体	14.1	85.9	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

宿泊客の旅行予算は、「10,000～30,000 円未満」が 46.7%と最も多く、次いで「30,000～50,000 円未満」(25.8%)、「5,000～10,000 円未満」(14.7%)、「50,000 円以上」(10.6%)となっている。

居住地別にみると、「その他」の地域からの宿泊客では「30,000～50,000 円未満」の割合が最も多い。そのほかの地域では「10,000～30,000 円未満」が最も多いものの、「関東」地域では 30,000 円以上も 4 割以上みられ、遠方からの宿泊客では高額な予算となっている割合が多い。

なお、旅行予算の平均額は 28,775 円であり、昨年度 (30,551 円) と比較して 1,776 円の減額となっている。

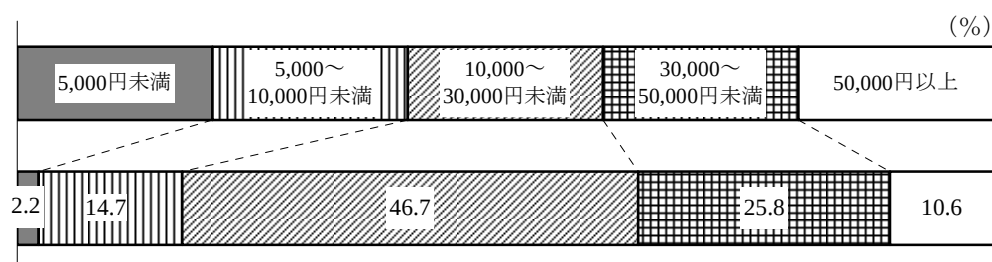


図 2-2-5 宿泊客の旅行予算

表 2-2-5 宿泊客の旅行予算 (居住地別)

(単位: %)

旅行予算	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合計	平均額 (円)
地域							
東 海	4.0	28.1	54.1	10.2	3.6	100.0	19,836
名古屋市	4.0	36.0	54.0	4.0	2.0	100.0	16,700
愛知県 (名古屋市を除く)	3.8	35.8	49.1	11.3	0.0	100.0	17,123
岐阜県・三重県・静岡県	4.1	23.4	55.5	11.7	5.3	100.0	21,594
関 東	0.9	7.0	48.4	34.8	8.9	100.0	30,810
近 畿	0.0	9.8	55.5	29.3	5.4	100.0	27,636
北 陸	0.0	3.0	60.6	30.3	6.1	100.0	29,015
甲信越	0.0	9.7	64.5	22.6	3.2	100.0	25,081
その他	3.3	6.0	21.3	38.7	30.7	100.0	43,267
全 体	2.2	14.7	46.7	25.8	10.6	100.0	28,775

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000～50,000 円未満」の回答者数) + (75,000 円) × (「50,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

b. 名古屋市内予算

宿泊客に名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、「10,000～20,000 円未満」が 34.5%と最も多く、次いで「20,000～30,000 円未満」(25.6%)、「30,000～50,000 円未満」(17.7%)、「5,000～10,000 円未満」(9.2%)、「50,000 円以上」(8.6%)となっており、平均額は 20,940 円である。

居住地別にみると、平均額は、「東海」、「関東」、「近畿」からの宿泊客では 20,000 円程度であり、「甲信越」からの宿泊客では約 21,000 円、「北陸」、「その他」からの宿泊客では 26,000 円前後と消費額は高額となっている。

なお、平均額は、昨年度 (22,624 円) と比較して 1,684 円の減額となっている。

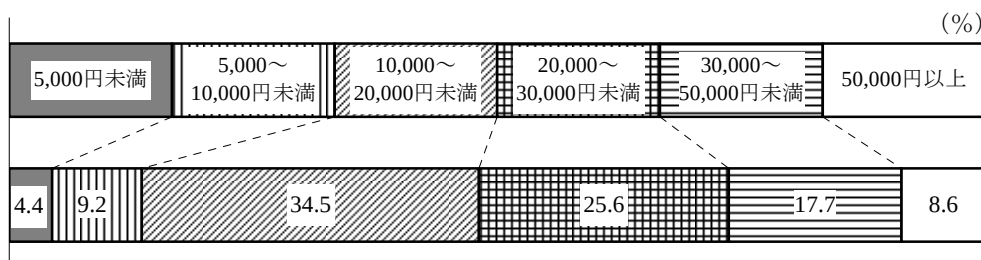


図 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算

表 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算 (居住地別)

(単位: %)

地 域	旅行予算						合 計	平均額 (円)
	5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 20,000円 未満	20,000～ 30,000円 未満	30,000～ 50,000円 未満	50,000円 以上		
東 海	3.4	13.1	36.7	22.3	17.3	7.2	100.0	19,835
名古屋市	4.3	28.3	30.5	23.9	8.7	4.3	100.0	14,826
愛知県 (名古屋市を除く)	2.0	10.0	48.0	16.0	18.0	6.0	100.0	17,800
岐阜県・三重県・静岡県	3.5	9.2	34.8	24.1	19.9	8.5	100.0	22,191
関 東	4.0	8.4	36.1	30.2	18.3	3.0	100.0	18,064
近 畿	1.1	5.5	39.5	34.1	14.3	5.5	100.0	18,934
北 陸	6.3	3.1	28.1	25.0	15.6	21.9	100.0	25,844
甲信越	3.6	7.1	21.4	35.7	28.6	3.6	100.0	21,357
その他	9.2	9.2	28.1	16.9	19.0	17.6	100.0	26,757
全 体	4.4	9.2	34.5	25.6	17.7	8.6	100.0	20,940

c. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「1,000～3,000 円未満」が 41.3%と最も多く、次いで「1,000 円未満」(23.7%)、「3,000～5,000 円未満」(13.8%)、「5,000 円以上」(10.0%)、「交通費はかからない」(9.7%) となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」居住の宿泊客では「1,000 円未満」の割合が最も多く、その他の地域では「1,000～3,000 円未満」が最も多くなっており、県外からの宿泊者では平均金額は 2,300～2,800 円となっている。

なお、市内交通費の平均額は 2,279 円であり、昨年度 (2,337 円) と比較して 58 円の減額となっている。

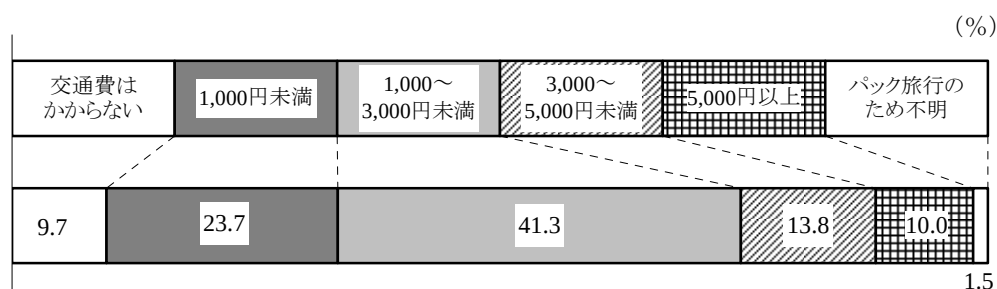


図 2-2-7 宿泊客の市内交通費

表 2-2-7 宿泊客の市内交通費 (居住地別)

(単位: %)

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	バック旅行のため不明	合計	平均額 (円)
地域									
東 海		9.7	32.0	39.6	9.4	8.6	0.7	100.0	1,987
	名古屋市	13.7	51.0	33.3	2.0	0.0	0.0	100.0	1,000
	愛知県 (名古屋市を除く)	7.4	35.2	40.7	11.1	3.7	1.9	100.0	1,745
	岐阜県・三重県・静岡県	9.3	25.4	41.0	11.0	12.7	0.6	100.0	2,355
関 東		8.2	24.6	40.2	15.1	10.5	1.4	100.0	2,350
近 畿		10.9	19.5	45.6	10.9	9.8	3.3	100.0	2,253
北 陸		12.1	12.1	36.4	27.3	12.1	0.0	100.0	2,788
甲信越		6.1	12.1	51.5	18.2	12.1	0.0	100.0	2,727
その他		12.0	15.3	40.0	19.4	12.0	1.3	100.0	2,584
全 体		9.7	23.7	41.3	13.8	10.0	1.5	100.0	2,279

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「交通費はかからない」の回答者数}) + (500 \text{ 円}) \times (\text{「1,000 円未満」の回答者数}) + (2,000 \text{ 円}) \times (\text{「1,000～3,000 円未満」の回答者数}) + (4,000 \text{ 円}) \times (\text{「3,000～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「バック旅行のため不明」の回答者数})\}$

d. 市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は 74.9%であり、購入額は「2,000～5,000 円未満」が 32.9%と最も多く、以下「2,000 円未満」(21.4%)、「5,000～10,000 円未満」(13.8%)、「10,000 円以上」(6.8%) となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、「名古屋市」(58.8%) 居住の宿泊客で多く、「愛知県 (名古屋市を除く)」(35.2%)、「岐阜県・三重県・静岡県」(36.7%) からの宿泊客でも比較的多く、遠方からの宿泊客の方が土産を購入している割合は多い。

購入額としては、「北陸」、「その他」からの宿泊客では「5,000 円以上」が 4 割程度みられ、平均額は 6,000 円以上と高い。

なお、土産代の平均額は 3,770 円である。昨年度と比較して購入する割合 (昨年度 71.0%) は 3.9 ポイント増加、平均額 (同 3,624 円) は 146 円の増額となっている。

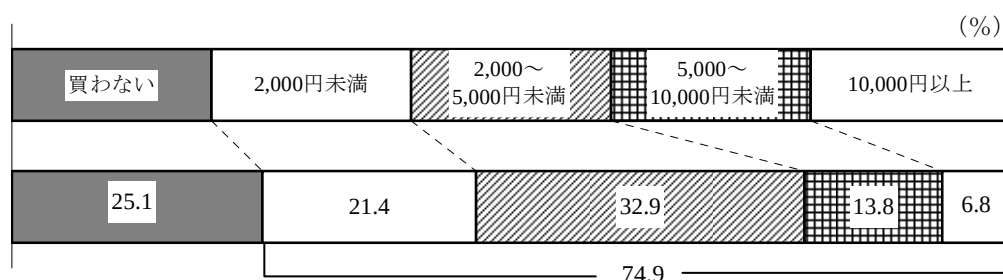


図 2-2-8 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-8 宿泊客の市内での土産代 (居住地別)

(単位: %)

土産代		買わない	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上	合 計	平均額 (円)
地 域								
東 海		40.5	19.7	28.5	7.3	4.0	100.0	2,544
	名古屋市	58.8	11.8	21.6	7.8	0.0	100.0	1,461
	愛知県（名古屋市を除く）	35.2	25.9	31.5	3.7	3.7	100.0	2,380
	岐阜県・三重県・静岡県	36.7	20.1	29.6	8.3	5.3	100.0	2,923
関 東		20.7	26.7	36.4	13.4	2.8	100.0	3,097
近 畿		19.2	23.4	40.4	13.8	3.2	100.0	3,324
北 陸		15.1	27.3	15.2	24.2	18.2	100.0	6,258
甲信越		12.1	12.1	42.5	30.3	3.0	100.0	4,485
その他		14.2	15.5	30.4	20.3	19.6	100.0	6,659
全 体		25.1	21.4	32.9	13.8	6.8	100.0	3,770

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 ～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「2,000～5,000 円未満」(33.8%)と「5,000～10,000 円未満」(29.2%)が多く、以下「2,000 円未満」(16.1%)、「10,000～30,000 円未満」(16.0%)となっている。

居住地別にみると、「北陸」からの宿泊客では「10,000～30,000 円未満」が、「甲信越」、「その他」からの宿泊客では「5,000～10,000 円未満」が最も多くなっている。

なお、食事代の平均額は 7,323 円であり、昨年度 (7,384 円) と比較して 61 円の減額となっている。

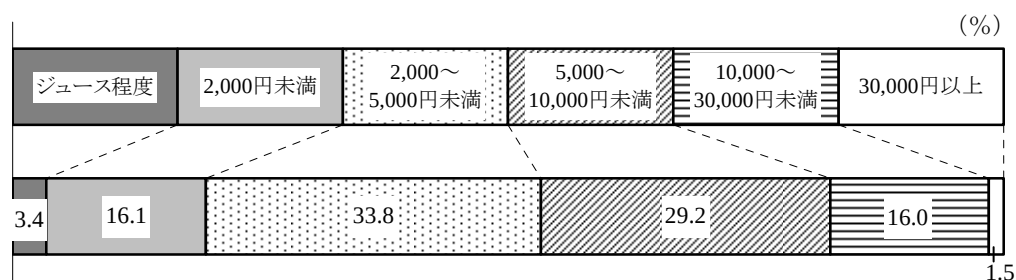


図 2-2-9 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-9 宿泊客の市内での食事代（居住地別）

(単位：%)

市内食事代		ジュース 程度	2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 30,000円 未満	30,000円 以上	合 計	平均額 (円)
地 域									
東 海		6.5	22.6	35.3	23.6	10.9	1.1	100.0	5,851
	名古屋市	9.8	27.5	37.3	17.6	7.8	0.0	100.0	4,471
	愛知県（名古屋市を除く）	3.7	18.5	46.3	18.5	11.1	1.9	100.0	6,157
	岐阜県・三重県・静岡県	6.5	22.3	31.2	27.0	11.8	1.2	100.0	6,168
関 東		1.4	13.4	34.7	33.4	16.2	0.9	100.0	7,461
近 畿		1.1	12.6	34.7	28.4	20.0	3.2	100.0	8,737
北 陸		0.0	21.2	21.2	27.3	30.3	0.0	100.0	9,061
甲信越		0.0	12.1	24.2	36.4	27.3	0.0	100.0	9,152
その他		4.1	10.2	32.0	32.6	18.4	2.7	100.0	8,432
全 体		3.4	16.1	33.8	29.2	16.0	1.5	100.0	7,323

注：平均額の計算式：{(0 円) × (「ジュース程度」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

f. 宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000 円未満」が 73.1%を占めていて、次いで「15,000～30,000 円未満」（14.6%）となっている。

どの地域からの宿泊客においても「5,000～15,000 円未満」が圧倒的に多い。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は 12,108 円であり、昨年度（12,805 円）と比較して 697 円の減額となっている。

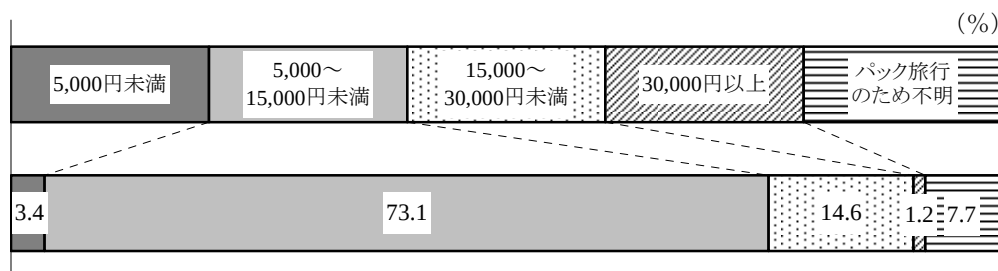


図 2-2-10 宿泊客の宿泊代

表 2-2-10 宿泊客の宿泊代（居住地別）

（単位：％）

地 域	市内宿泊代	5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	パック旅行のため不明	合 計	平均額（円）
東 海		3.5	74.9	17.7	0.8	3.1	100.0	12,261
	名古屋市	4.3	78.3	15.2	0.0	2.2	100.0	11,611
	愛知県（名古屋市を除く）	0.0	71.2	23.1	1.9	3.8	100.0	13,600
	岐阜県・三重県・静岡県	4.3	75.2	16.8	0.6	3.1	100.0	12,019
関 東		2.3	78.0	12.8	0.0	6.9	100.0	11,539
近 畿		8.8	74.7	9.9	1.1	5.5	100.0	10,959
北 陸		3.0	72.8	21.2	0.0	3.0	100.0	12,500
甲信越		0.0	75.8	24.2	0.0	0.0	100.0	13,030
その他		1.3	64.5	10.7	4.0	19.5	100.0	13,042
全 体		3.4	73.1	14.6	1.2	7.7	100.0	12,108

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (10,000 円) × (「5,000～15,000 円未満」の回答者数) + (22,500 円) × (「15,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / {(全回答者数) - (「パック旅行のため不明」の回答者数)}

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

居住地が名古屋市外の宿泊客 833 人の来名回数としては、「10 回以上」の割合が 36.6%と最も多い。今回「はじめて」の割合は 13.6%であり、以下「4～9 回目」（20.0%）、「2 回目」（16.6%）、「3 回目」（13.2%）となっている。

居住地別にみると、「東海」では「10 回以上」（58.9%）が 6 割近くを占め、「はじめて」の割合は 1 割に満たないが、「東海以外」からの宿泊客では 17.9%が今回「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

(単位：%)

地 域	回 数	はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10回以上	合 計
東 海		3.2	10.4	12.2	15.3	58.9	100.0
愛知県（名古屋市を除く）		6.1	4.1	4.1	12.2	73.5	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		2.3	12.1	14.5	16.2	54.9	100.0
東海以外		17.9	19.2	13.6	21.9	27.4	100.0
全 体		13.6	16.6	13.2	20.0	36.6	100.0

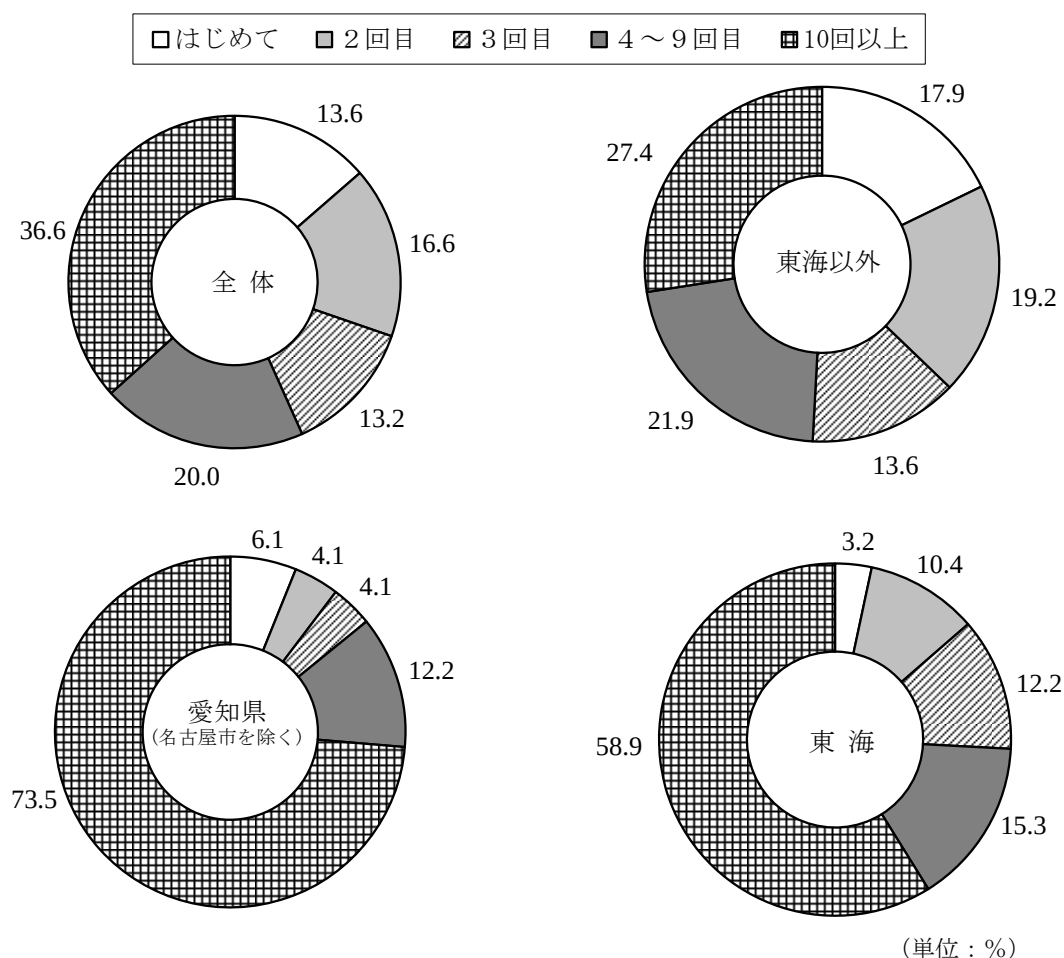


図 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

⑤交通機関

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「ＪＲ」が 48.4%と最も多く、次いで「自家用車」(29.6%)であり、「航空機」(8.2%)、「名鉄電車」(7.5%)、「近鉄電車」(5.7%)となっている。

居住地別にみると、「愛知県」からの宿泊客では「名鉄電車」(37.0%)、「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」(55.8%)が最も多い。「甲信越」(63.6%)、「北陸」(51.5%)からの宿泊客では「自家用車」が半数以上と最も多い。また、「その他」の地域からの宿泊客では「ＪＲ」と「航空機」がともに 39.2%と最も多い。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れ」(78.7%)をはじめ家族では「自家用車」が最も多い。

昨年度と比較すると、高速道路休日 1,000 円の影響により「自家用車」の割合は昨年度(19.0%)と比較して 10 ポイント以上増加している。

表 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

(単位：%)

交通機関		Ｊ Ｒ	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	市 地 下 鉄 ・ バ ス	そ の 他	合 計
地域・旅行形態											
地 域	東 海	38.7	14.7	13.3	30.2	0.0	0.9	1.3	1.8	0.9	101.8
	愛知県（名古屋市を除く）	29.6	37.0	0.0	25.9	0.0	1.9	1.9	5.6	1.9	103.8
	岐阜県	49.1	17.5	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	101.7
	三重県	15.4	3.8	55.8	21.2	0.0	1.9	3.8	0.0	0.0	101.9
	静岡県	56.5	1.6	1.6	38.7	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	100.0
	関 東	71.3	0.0	0.5	25.5	0.0	0.5	0.5	1.4	1.4	101.1
	近 畿	41.5	1.1	12.8	39.4	0.0	1.1	0.0	0.0	4.3	100.2
	北 陸	48.5	0.0	0.0	51.5	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	106.0
	甲信越	27.3	0.0	0.0	63.6	0.0	3.0	0.0	0.0	6.1	100.0
	その他	39.2	14.4	0.0	17.0	39.2	5.2	0.7	0.0	3.9	119.6
旅 行 形 態	ひとり	66.1	7.1	7.1	10.7	9.4	0.0	0.4	1.3	1.3	103.4
	友人・知人	45.3	7.6	8.1	27.8	6.3	4.5	0.4	1.3	1.3	102.6
	家 族										
	幼児・小学生連れ	19.1	2.1	0.0	78.7	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	106.3
	夫婦	36.7	10.0	2.5	42.5	10.8	0.0	1.7	0.8	1.7	106.7
	その他	41.6	5.6	3.4	43.8	9.0	1.1	0.0	0.0	4.5	109.0
	団体旅行	38.9	5.6	11.1	16.7	5.6	0.0	5.6	0.0	16.7	100.2
	その他	63.6	12.1	3.0	15.2	9.1	9.1	0.0	0.0	6.1	118.2
全 体		48.4	7.5	5.7	29.6	8.2	1.8	0.6	0.9	2.3	105.0

(複数回答)

⑥名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答の割合は 40.1%であった。その方（293 人）の訪問地としては、「明治村・犬山」（30.0%）、「知多・常滑・セントレア」（28.3%）が多く、以下「伊勢・志摩」（24.9%）、「岐阜・関ヶ原」（22.2%）、「下呂・高山」（21.2%）、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」（19.8%）、「豊田・岡崎・足助」（18.1%）、「長久手・モリコロパーク」（15.7%）と続いている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

（単位：％）

訪問地	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	伊勢・志摩	岐阜・関ヶ原	下呂・高山	長島温泉・湯の山・鈴鹿	豊田・岡崎・足助	長久手・モリコロパーク	豊橋・伊良湖	蒲郡・西浦・三谷	多治見・恵那・中津川	豊川・鳳来寺	瀬戸・小原	その他
	30.0	28.3	24.9	22.2	21.2	19.8	18.1	15.7	11.9	11.3	9.6	7.8	7.2	7.5

（複数回答）

⑦旅行日程

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、旅行日程は、「2 日」である割合が 73.0%と最も多く、次いで「3 日」が 18.3%となっている。

居住地別にみると、「東海」、「近畿」、「北陸」からの宿泊客では「2 日」の割合は 8 割以上を占めている。一方、「3 日以上」の割合は、「その他」（49.3%）からの宿泊客では半数と多く、「甲信越」（29.0%）、「関東」（28.3%）からの宿泊客でも 3 割近くみられる。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

（単位：％）

日程 地域	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
東 海	86.0	9.8	2.8	1.4	100.0
関 東	71.7	23.0	3.5	1.8	100.0
近 畿	82.2	9.4	4.2	4.2	100.0
北 陸	80.5	13.9	2.8	2.8	100.0
甲信越	71.0	25.8	3.2	0.0	100.0
その他	50.7	26.3	9.2	13.8	100.0
全 体	73.0	18.3	4.4	4.3	100.0

⑧市内での宿泊日数

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市内での宿泊日数は、「1泊」が76.5%と多く、「2泊」が18.2%となっている。

居住地別にみると、「近畿」からの宿泊客では名古屋市内で「1泊」の割合が83.3%と高い。一方、名古屋市内で「2泊以上」する割合は、「その他」からの宿泊客では36.0%、「甲信越」では29.0%となっている。

表 2-2-15 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

(単位：%)

地 域	市内宿泊数	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	合 計
東 海		81.8	12.6	4.7	0.9	100.0
関 東		77.4	19.5	2.7	0.4	100.0
近 畿		83.3	11.5	3.1	2.1	100.0
北 陸		80.5	11.1	5.6	2.8	100.0
甲信越		71.0	29.0	0.0	0.0	100.0
その他		64.0	26.5	4.1	5.4	100.0
全 体		76.5	18.2	3.5	1.8	100.0

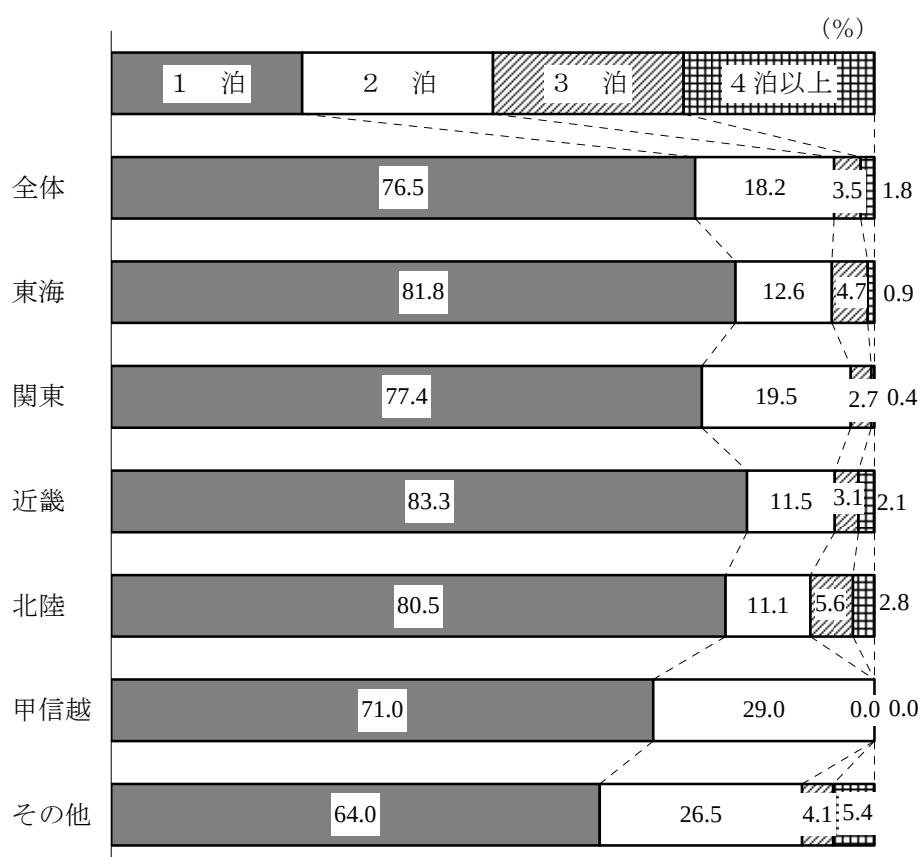


図 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の市内での宿泊日数

⑨高速道路の利用

a. ETC・高速道路利用の有無

秋期調査で主な交通手段として自家用車を利用した方（123名）のうち、「高速道路を利用した」割合は90.6%と9割を超え、うち「ETCで利用した」割合が85.5%を占めている。

居住地別にみると、愛知県外からの宿泊客では大半が「高速道路を利用」しており、特に「東海以外」からの宿泊客では9割以上が「ETCで利用」している。

性別にみると、女性より男性で「高速道路を利用」や「ETCで利用した」割合が高くなっている。

表 2-2-16 自動車利用の宿泊客のETC・高速道路利用の有無（地域・性別）

（単位：％）

ETC・高速道路利用 地域・性別		ETCで 利用した	ETCでは ないが利用	利用して いない	合 計
地 域	東 海	72.5	5.0	22.5	100.0
	愛知県内	50.0	0.0	50.0	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	82.2	7.1	10.7	100.0
	東海以外	92.2	5.2	2.6	100.0
性 別	男性	90.3	2.8	6.9	100.0
	女性	73.7	10.5	15.8	100.0
全 体		85.5	5.1	9.4	100.0

b. 利用した高速道路

高速道路を利用した方（自家用車利用者の90.6%）が利用した高速道路は、全体では「東名高速道路」（49.5%）が最も多く、次いで「名古屋高速道路」（41.8%）、「名神高速道路」（36.3%）、「東名阪自動車道」（25.3%）となっている。

居住地別にみると、「北陸」、「近畿」、「その他」、「岐阜県」からの宿泊客では「名神高速道路」を、「静岡県」、「関東」、「北陸」、「甲信越」からの宿泊客では「東名高速道路」を、「甲信越」からの宿泊客では「中央自動車道」を、「岐阜県」、「北陸」からの宿泊客では「東海北陸自動車道」を、「三重県」からの宿泊客では「東名阪自動車道」を、また、「甲信越」、「愛知県内」、「岐阜県」、「その他」からの宿泊客では「名古屋高速道路」を利用する割合もそれぞれ半数以上と多い。

表 2-2-17 高速道路利用宿泊客の利用した道路（地域別）

（単位：％）

利用高速道路		名神高速道路	東名高速道路	中央自動車道	東海北陸自動車道	伊勢湾岸自動車道	東名阪自動車道	名古屋高速道路	知多半島道路	合計
地域										
地域	東海	11.1	44.4	0.0	14.8	7.4	25.9	40.7	3.7	148.0
	愛知県内	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	125.0
	岐阜県	50.0	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	66.7	0.0	200.1
	三重県	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	71.4	14.3	0.0	128.6
	静岡県	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	10.0	30.0	0.0	140.0
	関東	22.7	86.4	9.1	9.1	18.2	27.3	45.5	9.1	227.4
	近畿	69.2	30.8	0.0	7.7	7.7	38.5	7.7	0.0	161.6
	北陸	100.0	50.0	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	233.4
	甲信越	20.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	250.0
	その他	61.5	15.4	7.7	0.0	0.0	38.5	53.8	0.0	176.9
全体		36.3	49.5	14.3	11.0	8.8	25.3	41.8	3.3	190.3

（複数回答）

c. 名古屋エリアにおけるETC料金割引社会実験の認知

秋期調査で主な交通手段として自家用車を利用した方では、名古屋高速道路や知多半島道路のETC料金割引社会実験（休日3割引）を「知っていた」割合は40.0%となっている。

居住地別にみると、「知っていた」とする割合は、「岐阜県・三重県・静岡県」など「東海」（64.3%）からの宿泊客では6割以上を占めるが、「東海以外」（26.9%）からの入込客では3割に達していない。

性別にみると、認知度は男性より女性で高くなっている。

年齢別にみると、認知度は40歳代（52.4%）を中心に高くなっている。一方、「知らなかった」と回答した割合は、60歳以上では78.9%と8割近くを占めている。

表 2-2-18 自動車利用宿泊客の名古屋エリアでのETC料金割引社会実験の認知（地域・性別・年齢別）

（単位：％）

地域・性別・年齢		ETC料金割引認知		
		知っていた	知らなかった	合 計
地 域	東 海	64.3	35.7	100.0
	愛知県内	46.7	53.3	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	74.1	25.9	100.0
	東海以外	26.9	73.1	100.0
性 別	男 性	36.6	63.4	100.0
	女 性	45.2	54.8	100.0
年 齢	10～29歳	39.3	60.7	100.0
	30～39歳	44.1	55.9	100.0
	40～49歳	52.4	47.6	100.0
	50～59歳	41.2	58.8	100.0
	60歳以上	21.1	78.9	100.0
全 体		40.0	60.0	100.0

d. 割引による行動の変化

秋期調査で主な交通手段として自家用車を利用した方で、ETC料金割引により行動に変化があると答えた方の割合は60.2%であり、その行動の変化としては「高速道路を積極的に利用する」が35.6%と多く、「お出かけの回数が増える」が19.5%、「遠方まで出かけられるようになる」が18.6%となっている。

居住地別にみると、「岐阜県・三重県・静岡県」からの宿泊客では「お出かけの回数が増える」、「遠方まで出かけられるようになる」などの割合が相対的に多く、行動に変化があるとする割合が高い。

行動の変化としては総じて「高速道路を積極的に利用する」が最も高い。

性別にみると、女性では「お出かけの回数が増える」、男性では「遠方まで出かけられるようになる」が相対的に多い。また、「特に変化がない」の割合は男性より女性で高い。

年齢別にみると、40歳代では「特に変化がない」の割合が過半数を占める。また、20歳代以下では「お出かけの回数が増える」の割合も比較的高い。

表 2-2-19 自動車利用宿泊客のETC料金割引による行動の変化（地域・性別・年齢別）

（単位：％）

地域・性別・年齢		行動の変化						合 計
		お出 かけ の 回 数 が 増 える	高 速 道 路 を 積 極 的 に 利 用 す る	外 出 先 で 食 事 や 土 産 の 支 出 が 増 える	遠 方 ま で 出 か け ら れ る よ う に な る	特 に 変 化 は な い	そ の 他	
地 域	東 海	23.8	33.3	2.4	26.2	38.1	2.4	126.2
	愛知県内	6.7	40.0	0.0	13.3	46.7	0.0	106.7
	岐阜県・三重県・静岡県	33.3	29.6	3.7	33.3	33.3	3.7	136.9
	東海以外	17.1	36.8	5.3	14.5	40.8	2.6	117.1
性 別	男 性	17.1	37.1	4.3	21.4	34.3	2.9	117.1
	女 性	26.2	33.3	4.8	14.3	50.0	0.0	128.6
年 齢	10～29歳	42.9	50.0	7.1	28.6	21.4	0.0	150.0
	30～39歳	21.2	33.3	3.0	24.2	39.4	3.0	124.1
	40～49歳	4.8	33.3	4.8	14.3	52.4	0.0	109.6
	50～59歳	17.6	23.5	0.0	11.8	47.1	0.0	100.0
	60歳以上	0.0	27.8	5.6	5.6	50.0	11.1	100.1
全 体		19.5	35.6	4.2	18.6	39.8	2.5	120.2

（複数回答）

⑩名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

春期調査で名古屋市外からの宿泊客（402 名）の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が 46.9%と半数近くを占め、「大変満足」（14.2%）を合わせた 61.1%が満足と評価している。「普通」が 36.2%であり、「やや不満」（2.7%）が僅かで、「不満」は皆無である。

居住地別にみると、満足と評価する割合は「近畿」（74.0%）、「その他」（71.6%）からの宿泊客で高い。一方、「静岡県」（42.3%）、「関東」（51.5%）からの宿泊客では満足の割合が相対的に低く、「普通」の割合が多い。

性別にみると、男性より女性で満足度は高い。

年齢別による大きな差異はみられない。

旅行形態別にみると、満足の割合は「友人・知人」、「幼児・小学生連れの家族」では7割以上と高い。一方、「ひとり」では「普通」が過半数を占めている。

表 2-2-20 名古屋市外からの宿泊客の名古屋の印象・旅行の満足度（地域・性別・年齢・旅行形態別）

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
地域・性別・年齢・旅行形態							
地域	東 海	9.3	47.5	40.7	2.5	0.0	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	10.7	46.4	39.3	3.6	0.0	100.0
	岐阜県	9.4	56.2	31.3	3.1	0.0	100.0
	三重県	6.3	53.1	37.5	3.1	0.0	100.0
	静岡県	11.5	30.8	57.7	0.0	0.0	100.0
	関 東	10.9	40.6	44.5	4.0	0.0	100.0
	近 畿	12.0	62.0	24.0	2.0	0.0	100.0
	北 陸	25.0	33.3	41.7	0.0	0.0	100.0
	甲信越	30.0	30.0	40.0	0.0	0.0	100.0
	その他	25.4	46.2	25.4	3.0	0.0	100.0
性別	男 性	14.2	40.7	41.4	3.7	0.0	100.0
	女 性	14.6	51.4	32.2	1.8	0.0	100.0
年齢	10～19歳	21.4	42.9	35.7	0.0	0.0	100.0
	20～29歳	14.9	50.0	30.8	4.3	0.0	100.0
	30～39歳	12.3	46.6	37.0	4.1	0.0	100.0
	40～49歳	19.7	39.3	41.0	0.0	0.0	100.0
	50～59歳	9.4	51.5	39.1	0.0	0.0	100.0
	60～69歳	12.1	42.4	36.4	9.1	0.0	100.0
	70歳以上	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	100.0
旅行形態	ひとり	9.1	35.2	54.6	1.1	0.0	100.0
	友人・知人	13.6	56.8	27.2	2.4	0.0	100.0
	幼児・小学生連れ	33.3	41.7	16.7	8.3	0.0	100.0
	家族	13.0	47.9	32.6	6.5	0.0	100.0
	その他	14.9	48.9	36.2	0.0	0.0	100.0
	団体旅行	27.3	18.2	45.4	9.1	0.0	100.0
	その他	11.1	55.6	33.3	0.0	0.0	100.0
全 体		14.2	46.9	36.2	2.7	0.0	100.0

b. 満足した名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外からの宿泊客が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「グルメ・なごやめし」が31.6%で最も高く、「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」が25.4%、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」が21.4%となっており、「特になし」は32.3%である。観光施設を訪れていない割合は24.7%（P30 参照）であり、訪れた方の大半は何らかの観光資源に満足しているといえる。

「愛知県」、「関東」からの宿泊客や10歳代、50歳代以上、夫婦では「歴史的な施設」が、「岐阜県」、「三重県」からの宿泊客では「ショッピングや街歩き」が最も高く、そのほかの殆どの階層では「グルメ・なごやめし」が最も高く、特に「近畿」からの宿泊客やその他の家族連れなどでは5割前後となっている。

満足度別にみると、満足度が高いほど多くの観光資源をあげている。

表 2-2-21 宿泊客の満足した名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		満足した観光資源	歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	観劇鑑賞やコンサート	観戦スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東 海		17.5	3.2	10.3	23.8	23.0	4.8	11.9	1.6	4.8	32.5	133.4
	愛知県		30.3	3.0	9.1	27.3	27.3	3.0	15.2	3.0	9.1	33.3	160.6
	岐阜県		12.1	3.0	6.1	27.3	24.2	3.0	12.1	0.0	0.0	30.3	118.1
	三重県		15.2	0.0	12.1	21.2	12.1	9.1	6.1	3.0	9.1	36.4	124.3
	静岡県		11.1	7.4	14.8	18.5	29.6	3.7	14.8	0.0	0.0	29.6	129.5
	関 東		29.6	1.7	6.1	13.9	27.0	0.9	3.5	0.0	2.6	41.7	127.0
	近 畿		23.1	11.5	9.6	17.3	48.1	1.9	3.8	5.8	1.9	26.9	149.9
	北 陸		18.8	0.0	18.8	25.0	25.0	0.0	0.0	6.3	0.0	37.5	131.4
	甲信越		14.3	21.4	21.4	35.7	42.9	7.1	14.3	7.1	0.0	21.4	185.6
	その他		36.1	8.3	8.3	30.6	40.3	2.8	4.2	2.8	2.8	22.2	158.4
性別	男 性		23.5	7.3	7.3	15.1	25.1	2.8	3.9	2.2	1.7	39.7	128.6
	女 性		25.9	4.2	11.6	27.0	40.7	1.6	8.5	1.6	3.2	23.8	148.1
年 齢	10～19歳		33.3	0.0	6.7	13.3	13.3	0.0	13.3	6.7	0.0	40.0	126.6
	20～29歳		20.0	4.2	8.4	25.3	42.1	5.3	5.3	2.1	2.1	23.2	138.0
	30～39歳		26.3	3.9	18.4	26.3	35.5	0.0	10.5	1.3	3.9	23.7	149.8
	40～49歳		22.1	7.8	10.4	14.3	37.7	0.0	5.2	3.9	3.9	32.5	137.8
	50～59歳		32.4	11.3	7.0	22.5	29.6	4.2	2.8	1.4	1.4	36.6	149.2
	60～69歳		26.3	2.6	0.0	15.8	7.9	2.6	7.9	0.0	0.0	52.6	115.7
	70歳以上		30.0	0.0	0.0	20.0	30.0	0.0	10.0	0.0	10.0	30.0	130.0
旅行形態	ひとり		15.8	5.9	4.0	11.9	17.8	2.0	6.9	1.0	1.0	51.5	117.8
	友人・知人		26.3	3.8	11.3	21.1	38.3	4.5	9.8	0.0	3.0	24.1	142.2
	家族		24.0	8.0	36.0	28.0	44.0	0.0	4.0	4.0	4.0	12.0	164.0
	夫婦		34.0	7.5	1.9	22.6	22.6	1.9	3.8	3.8	1.9	32.1	132.1
	その他		36.0	10.0	14.0	40.0	54.0	0.0	4.0	6.0	6.0	16.0	186.0
	団体旅行		9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	54.5	100.0
満足度	その他		25.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	108.3
	大変満足		36.5	5.8	19.2	36.5	53.8	5.8	9.6	11.5	1.9	7.7	188.3
	ほぼ満足		33.3	8.8	11.7	25.1	36.3	2.9	9.4	1.8	3.5	17.5	150.3
	普通		18.2	3.0	4.5	17.4	24.2	1.5	3.8	0.0	2.3	46.2	121.1
満足度	やや不満		20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	30.0	110.0
	全 体		25.4	5.7	9.2	21.4	31.6	2.7	6.5	2.2	3.0	32.3	140.0

（複数回答）

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外からの宿泊客が不満を感じた名古屋の観光資源については、「特になし」が81.8%と8割以上を占める。個別の観光資源としては「グルメ・なごやめし」の割合が一番高いものの4.0%にすぎない。

各属性別にみても、北陸からの宿泊客で「グルメ・なごやめし」(18.8%)が2割みられるほかは1割以下である。

満足度別にみると、普通以上の評価では1割に達するものはみられず、やや不満とした方でも意見が集中した観光資源はみられない。

表 2-2-22 宿泊客の不満を感じた名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

(単位：%)

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		不満を感じた観光資源		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	や観劇鑑賞コンサート	観戦スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東海	1.6	4.0	0.8	4.0	3.2	5.6	1.6	1.6	2.4	81.0	105.8		
	愛知県	0.0	6.1	3.0	0.0	3.0	6.1	3.0	3.0	3.0	78.8	106.0		
	岐阜県	3.0	3.0	0.0	6.1	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	84.8	102.9		
	三重県	3.0	3.0	0.0	6.1	6.1	6.1	3.0	0.0	6.1	75.8	109.2		
	静岡県	0.0	3.7	0.0	3.7	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	85.2	103.7		
	関東	4.3	1.7	0.0	1.7	2.6	0.9	0.9	0.0	4.3	85.2	101.6		
	近畿	1.9	1.9	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	88.6	100.0		
	北陸	0.0	0.0	0.0	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	12.5	68.8	106.4		
	甲信越	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	114.1		
	その他	1.4	2.8	2.8	5.6	4.2	0.0	0.0	0.0	11.1	75.0	102.9		
性別	男性	1.1	3.9	2.2	4.5	5.6	1.7	0.6	0.6	1.7	81.6	103.5		
	女性	3.7	0.5	0.0	1.6	2.6	1.1	0.5	0.0	7.9	84.1	102.0		
年齢	10～19歳	0.0	13.3	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	73.3	113.4		
	20～29歳	3.2	3.2	0.0	4.2	5.3	4.2	1.1	0.0	10.5	71.6	103.3		
	30～39歳	3.9	1.3	1.3	1.3	3.9	1.3	1.3	0.0	2.6	84.2	101.1		
	40～49歳	2.6	0.0	1.3	6.5	2.6	1.3	1.3	0.0	2.6	85.7	103.9		
	50～59歳	1.4	5.6	1.4	2.8	4.2	1.4	0.0	1.4	4.2	83.1	105.5		
	60～69歳	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	2.6	92.1	100.0		
	70歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0	100.0		
旅行形態	ひとり	1.0	3.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	89.1	103.1		
	友人・知人	2.3	3.8	0.0	2.3	4.5	3.8	1.5	0.0	5.3	79.7	103.2		
	家族	子ども連れ	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	88.0	100.0	
		夫婦	1.9	3.8	0.0	3.8	7.5	0.0	0.0	0.0	3.8	83.0	103.8	
		その他	8.0	0.0	2.0	6.0	8.0	0.0	0.0	0.0	10.0	74.0	108.0	
	団体旅行	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	54.5	100.0		
	その他	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	83.4	100.0		
満足度	大変満足	0.0	3.8	1.9	3.8	1.9	1.9	1.9	3.8	15.4	71.2	105.6		
	ほぼ満足	2.9	2.9	0.0	3.5	2.9	2.9	1.2	0.0	4.7	81.9	102.9		
	普通	2.3	1.5	1.5	1.5	5.3	2.3	0.0	0.0	2.3	86.4	103.1		
	やや不満	20.0	10.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	110.0		
全体		2.5	2.5	1.0	3.2	4.0	2.2	0.7	0.5	5.0	81.8	103.4		

(複数回答)

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外居住者が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」とした割合は58.2%であり、「歴史的な施設」の割合が20.6%と最も多い。次いで「ショッピングや街歩き」(15.2%)、「産業観光・ものづくり施設」(13.9%)、「レジャー施設」(13.7%)と観光施設が上位を占め、「グルメ・なごやめし」は11.4%となっている。

北陸からの宿泊者と幼児や小学生連れの家族では、次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」の割合が9割前後と特に高い。

全般に満足度が高いほど割合は高く、今回の訪問での満足感が次回の訪問意向につながるといえる。

表 2-2-23 宿泊客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

(単位：％) (単位：％)

訪れてみたい 観光資源		施 設	歴 史的 な 施 設	産 業 観 光 ・ も の づ く り 施 設	施 設	レ ジ ャ ー	グ や 街 歩 き	シ ョ ッ ピ ン グ	な ご や め し	グ ル メ ・ イ ベ ン ト	お 祭 り ・ や 観 劇 鑑 賞	コ ン サ ー ト	観 戦 ス ポ ー ツ	そ の 他	特 に な し	合 計
地 域	東 海	22.2	9.5	11.9	14.3	8.7	6.3	12.7	7.9	2.4	42.9	138.8				
	愛知県	12.1	18.2	12.1	12.1	9.1	6.1	12.1	6.1	6.1	45.5	139.5				
	岐阜県	18.2	3.0	12.1	12.1	6.1	6.1	9.1	9.1	3.0	39.4	118.2				
	三重県	27.3	15.2	18.2	15.2	6.1	6.1	21.2	9.1	0.0	45.5	163.9				
	静岡県	33.3	0.0	3.7	18.5	14.8	7.4	7.4	7.4	0.0	40.7	133.2				
	関 東	15.7	14.8	13.0	13.9	9.6	7.8	6.1	6.1	1.7	50.4	139.1				
	近 畿	28.8	11.5	13.5	15.4	21.2	5.8	5.8	3.8	0.0	42.3	148.1				
	北 陸	25.0	25.0	25.0	31.3	18.8	6.3	6.3	25.0	0.0	12.5	175.2				
	甲信越	14.3	7.1	28.6	7.1	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	42.9	128.5				
	その他	22.2	19.4	13.9	18.1	11.1	15.3	4.2	15.3	0.0	31.9	151.4				
性 別	男 性	19.0	10.6	10.6	11.7	9.5	8.9	7.3	13.4	0.6	45.3	136.9				
	女 性	21.2	16.9	16.9	19.0	13.8	9.0	7.4	4.8	1.1	38.1	148.2				
年 齢	10～19歳	20.0	0.0	0.0	26.7	6.7	6.7	13.3	13.3	6.7	40.0	133.4				
	20～29歳	24.2	10.5	13.7	15.8	14.7	8.4	8.4	4.2	0.0	34.7	134.6				
	30～39歳	18.4	22.4	15.8	15.8	7.9	14.5	7.9	9.2	0.0	34.2	146.1				
	40～49歳	19.5	10.4	16.9	13.0	13.0	9.1	2.6	10.4	1.3	48.1	144.3				
	50～59歳	23.9	12.7	12.7	16.9	15.5	5.6	12.7	9.9	4.2	40.8	154.9				
	60～69歳	18.4	15.8	7.9	13.2	5.3	5.3	5.3	13.2	0.0	52.6	137.0				
	70歳以上	20.0	30.0	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	50.0	180.0				
旅 行 形 態	ひとり	19.8	9.9	8.9	10.9	7.9	2.0	8.9	7.9	3.0	55.4	134.6				
	友人・知人	15.0	9.8	13.5	16.5	9.0	9.0	6.0	6.0	0.8	41.4	127.0				
	家 族															
	子ども連れ	36.0	36.0	28.0	16.0	12.0	32.0	12.0	12.0	0.0	8.0	192.0				
	夫婦	18.9	13.2	18.9	20.8	13.2	5.7	3.8	11.3	0.0	39.6	145.4				
	その他	34.0	26.0	14.0	18.0	24.0	16.0	14.0	14.0	2.0	24.0	186.0				
	団体旅行	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	54.5	100.0				
満 足 度	その他	33.3	8.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	58.3	158.3				
	大変満足	32.7	25.0	21.2	19.2	13.5	19.2	9.6	7.7	3.8	19.2	171.1				
	ほぼ満足	21.6	19.9	14.6	19.9	17.5	7.6	11.1	10.5	1.8	28.7	153.2				
	普通	18.9	6.1	12.9	11.4	6.8	5.3	4.5	8.3	0.0	55.3	129.5				
全 体	やや不満	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	50.0	120.0				
		20.6	13.9	13.7	15.2	11.4	8.5	7.7	8.7	1.2	41.8	142.7				

(複数回答)

2－3 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 21 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

②調査対象・方法

平成 20 年度調査により把握した市内宿泊施設から廃止した施設を除き、平成 21 年度新規開業した施設を加え、183 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

③調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成 21 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

④調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成 22 年 5 月～6 月
- 回答状況：調査対象数 183 施設
有効回答数 178 施設
(全問回答 48 施設、準全問回答 48 施設、部分回答 82 施設)
廃休業数 5 施設
新規開業数 2 施設

(2) 宿泊施設の現状

①回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした183（平成21年度新規開業した2施設を含む）施設のうち、調査で廃休業などが判明した5施設を除く178施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは48施設（対有効回答数比27.0%）、準全問回答（宿泊者数の回答有り）が得られたのは48施設（対有効回答数比27.0%）、部分回答が得られたのは82施設（対有効回答数比46.0%）であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数（規模）をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：100室以上、50室以上100室未満、50室未満の3区分

表 2-3-1 回答状況（タイプ、規模別）

回答状況 施設規模		有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		20	9	8	3	0	(0)	20
ホテル (登録 ホテル を除く)	100室以上	63	20	18	25	1	(1)	64
	50室以上100室未満	29	8	11	10	0	(1)	29
	50室未満	20	4	1	15	0	(0)	20
	計	112	32	30	50	1	(2)	113
旅館		46	7	10	29	4	(0)	50
全 体		178	48	48	82	5	(2)	183
回収率：(%)		97.3	-	-	-	2.7	-	100.0
回答状況：(%)		100.0	27.0	27.0	46.0	0.0	(1.1)	-

注：新規開業は内数値のため、() となっている。

②施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが 20 施設、登録ホテルを除くホテルは 112 施設、旅館は 46 施設となっている。また、室数の合計は 21,717 室、収容人数の合計は 29,862 人で、昨年度調査時点より合計施設数では 3 施設の減少、部屋数では 222 室、収容人数では 185 人の増加となった。

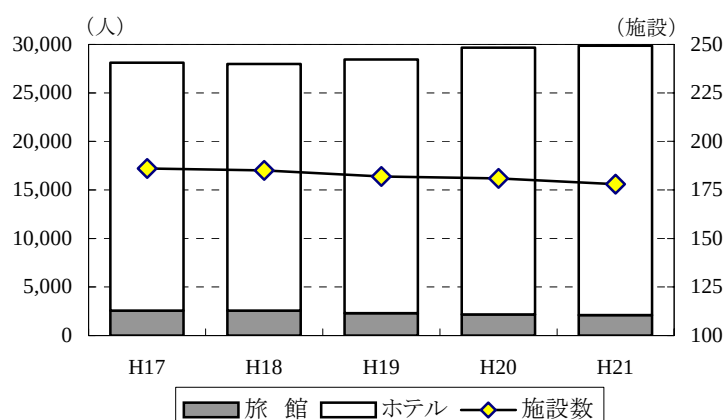
表 2-3-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模		室・人員 回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		20	26	84	5,926	8,980	5,952	9,064
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	63	20	76	12,198	14,793	12,218	14,869
	50 室以上 100 室未満	29	28	92	2,182	2,804	2,210	2,896
	50 室未満	20	61	184	517	729	578	913
計		112	109	352	14,897	18,326	15,006	18,678
旅 館		46	665	1,972	94	148	759	2,120
全 体		178	800	2,408	20,917	27,454	21,717	29,862

表 2-3-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
登録ホテル	6,028	9,044	5,974	8,963	5,952	8,995	5,952	9,054	5,952	9,064
ホ テ ル	13,410	16,515	13,305	16,446	13,894	17,154	14,753	18,449	15,006	18,678
旅 館	951	2,560	945	2,568	844	2,317	790	2,174	759	2,120
全 体	20,389	28,119	20,224	27,977	20,690	28,466	21,495	29,677	21,717	29,862
施 設 数	186		185		182		181		178	

図 2-3-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移



(3) 宿泊客数

①年間宿泊者数

ア：宿泊者数

平成 21 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 579 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 184 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 380 万人泊、旅館が約 15 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 460 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 50 万人泊、実人数は約 35 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 7.5%が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 1.4 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、登録ホテルが宿泊者一人あたりの宿泊数 1.6 泊と最も多く、次いで、旅館が 1.5 泊、ホテル（登録ホテルを除く）が 1.2 泊となっている。

表 2-3-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数	全施設の 年間総実人数	うち全施設の 年間外国人 総実人数
		(人泊)	(人泊)	(人)	(人)
登録ホテル		1,839,787	301,725	1,422,393	186,466
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	3,093,740	173,249	2,462,617	145,529
	50 室以上 100 室未満	569,110	11,382	477,483	8,013
	50 室未満	134,997	3,780	106,378	2,268
	計	3,797,847	188,411	3,046,478	155,810
旅館		148,682	3,866	115,377	2,571
全 体		5,786,316	494,002	4,604,248	344,847

イ：宿泊者数の推移

宿泊者数の過去 5 年間の推移をみると、年間総実人数は平成 19 年度をピークとし減少傾向にあり、年間総延べ宿泊者数も昨年度より減少している。

年間定員稼働率については、平成 18 年度以降低下傾向にあり、昨年度より 9 ポイント減と大幅に減少している。

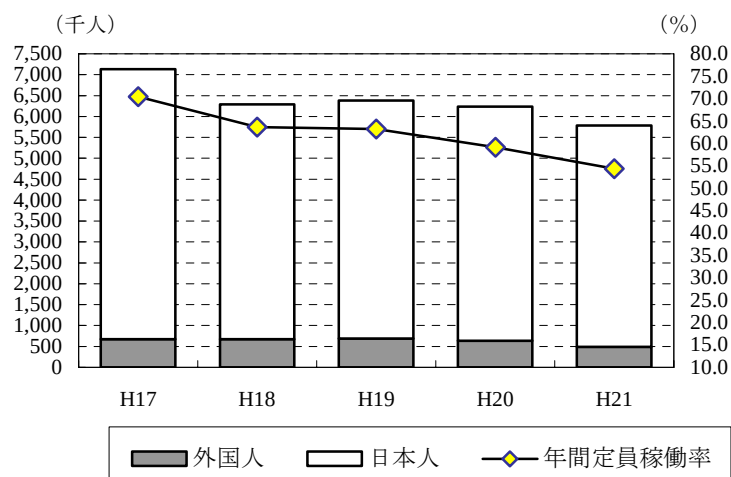
外国人宿泊者数については、総実人数は昨年度に比べ 3 万人程度の減少であるものの、総延べ宿泊者数 14 万人減っており、外国人一人あたりの宿泊数は 0.3 日少なくなっている。

表 2-3-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

年 度		平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
区 分						
年間総実人数（人）		4,472,967	4,752,837	4,845,349	4,719,502	4,604,248
	うち外国人	272,539	286,704	378,730	377,532	344,847
年間総延べ宿泊者数（人泊）		7,135,833	6,288,947	6,384,202	6,238,020	5,786,316
	うち外国人	671,905	675,238	688,805	634,900	494,002
年間定員稼働率（％）		70.4	63.6	63.2	59.1	54.3

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。
 年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数（表 2-3-6 参照）

図 2-3-2 市内延べ宿泊者数の推移



推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 21 年度の営業日数（通年営業施設は 365 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 54.3% の値を得た。区分別にみると、登録ホテル及び 50 室以上のホテルでは 55% 前後であるが、旅館では 19.2% とホテルより低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-3-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		17	1,621,018	7,986	2,914,890	55.6
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	38	1,902,513	9,083	3,315,295	57.4
	50 室以上 100 室未満	19	387,502	1,978	715,600	54.2
	50 室未満	5	32,259	218	79,570	40.5
計		62	2,322,274	11,279	4,110,465	56.5
旅館		17	69,562	991	361,715	19.2
全 体		96	4,012,854	20,256	7,387,070	54.3

注：③＝②×365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

$$④＝①÷③$$

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（1,773,462 人泊）を算出した。

表 2-3-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設 の1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設 の年間収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設 の年間延べ 宿泊者数の 推計値 (人泊)
登録ホテル		3	1,078	393,470	55.6	218,769
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	25	5,786	2,075,308	57.4	1,191,227
	50 室以上 100 室未満	10	918	335,070	54.2	181,608
	50 室未満	15	695	253,675	40.5	102,738
	計	50	7,399	2,664,053		1,475,573
旅 館		29	1,129	412,085	19.2	79,120
全 体		82	9,606	3,469,608		1,773,462

注：②＝①×365 日 （年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝②×③

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（5,786,316 人泊）。

表 2-3-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		17	1,621,018	3	218,769	20	1,839,787
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	38	1,902,513	25	1,191,227	63	3,093,740
	50 室以上 100 室未満	19	387,502	10	181,608	29	569,110
	50 室未満	5	32,259	15	102,738	20	134,997
	計	62	2,322,274	50	1,475,573	112	3,797,847
旅 館		17	69,562	29	79,120	46	148,682
全 体		96	4,012,854	82	1,773,462	178	5,786,316

注：③＝①＋②

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（4,604,248 人）。

表 2-3-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 実人数比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の年間 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		9	757,310	966,294	78.4	1,839,787	1,442,393
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	20	883,948	1,111,041	79.6	3,093,740	2,462,617
	50 室以上 100 室未満	8	147,329	175,656	83.9	569,110	477,483
	50 室未満	4	23,461	29,756	78.8	134,997	106,378
	計	32	1,054,738	1,316,453		3,797,847	3,046,478
旅 館		7	26,768	34,509	77.6	148,682	115,377
全 体		48	1,838,816	2,317,256		5,786,316	4,604,248

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり 施設の年間延べ 宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)
登録ホテル		16	257,648	1,567,625	16.4	1,839,787	301,725
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	30	83,060	1,484,503	5.6	3,093,740	173,249
	50 室以上 100 室未満	12	5,129	250,452	2.0	569,110	11,382
	50 室未満	5	919	32,259	2.8	134,997	3,780
	計	47	89,108	1,767,214		3,797,847	188,411
旅 館		16	1,755	66,993	2.6	148,682	3,866
全 体		79	348,511	3,401,832		5,786,316	494,002

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、外国人延べ宿泊者数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表 2-3-10）に乗じて算出した。

表 2-3-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人 実人数比 (%)	④ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		8	99,282	160,735	61.8	301,725	186,466
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	17	58,896	70,087	84.0	173,249	145,529
	50 室以上 100 室未満	7	2,053	2,918	70.4	11,382	8,013
	50 室未満	5	553	922	60.0	3,780	2,268
	計	29	61,502	73,927		188,411	155,810
旅 館		9	425	639	66.5	3,866	2,571
全 体		46	161,209	235,301		494,002	344,847

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

②国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 76 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 70 施設であり、その割合は 92.1%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館が 5 施設、ホテル（登録ホテルを除く）が 1 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、台湾が全体の 25.6%（54,888 人）と最も多く、米国 17.1%（36,748 人）、中国 16.7%（35,741 人）、タイ 15.3%（32,901 人）が 15～17%で続き、韓国 9.6%（20,473 人）、香港 5.1%（10,918 人）、シンガポール 2.7%（5,742 人）ドイツ 2.3%（4,916 人）となっている。

施設分類別にみると、登録ホテルでは米国が最も多く、ホテル（登録ホテルを除く）ではタイが第 2 位となっている。

表 2-3-12 国別、外国人宿泊者数

	登録 ホテル	ホテル（登録ホテルを除く）				旅 館	全 体	
		100室 以上	50室以上 100室 未満	50室未満	計		人数 (人)	割合 (%)
回答数（施設）	14	27	14	6	47	15	76	
中国	21,049	12,922	1,601	114	14,637	55	35,741	16.7
香港	7,583	3,125	174	21	3,320	15	10,918	5.1
台湾	27,915	26,567	308	42	26,917	56	54,888	25.6
米国	34,248	1,673	628	128	2,429	71	36,748	17.1
タイ	16,666	16,087	110	17	16,214	21	32,901	15.3
韓国	17,147	2,725	419	108	3,252	74	20,473	9.6
シンガポール	5,555	80	60	33	173	14	5,742	2.7
ドイツ	4,459	315	43	25	383	74	4,916	2.3
フランス	2,304	393	48	27	468	173	2,945	1.4
オーストラリア	2,236	289	56	55	400	120	2,756	1.3
英国	2,130	265	26	39	330	58	2,518	1.2
カナダ	1,272	744	53	36	833	47	2,152	1.0
ロシア	0	809	0	0	809	0	809	0.4
フィリピン	84	275	0	2	277	0	361	0.2
インド	193	76	1	0	77	0	270	0.1
ブルガリア	94	0	0	0	0	0	94	0.0
インドネシア	21	57	7	3	67	0	88	0.0
イタリア	21	46	6	0	52	7	80	0.0
ブラジル	45	25	4	0	29	0	74	0.0
クロアチア	70	0	0	0	0	0	70	0.0
マレーシア	30	24	5	0	29	0	59	0.0
スペイン	0	11	1	0	12	41	53	0.0
ギリシャ	51	0	0	0	0	0	51	0.0
スウェーデン	0	30	0	0	30	12	42	0.0
ニュージーランド	0	25	0	0	25	3	28	0.0
スイス	0	0	0	0	0	26	26	0.0
ウクライナ	25	0	0	0	0	0	25	0.0
ポルトガル	0	0	0	0	0	14	14	0.0
オランダ	0	4	4	0	8	2	10	0.0
チェコ	0	0	0	0	0	10	10	0.0
オーストリア	0	8	0	0	8	0	8	0.0
モンゴル	0	0	5	0	5	0	5	0.0
アルゼンチン	0	0	5	0	5	0	5	0.0
イスラエル	0	0	0	0	0	4	4	0.0
フィンランド	0	0	0	0	0	3	3	0.0
スロバキア	0	0	3	0	3	0	3	0.0
ベルギー	0	0	0	0	0	2	2	0.0
ポーランド	0	0	0	0	0	2	2	0.0
イラン	0	1	0	0	1	0	1	0.0
メキシコ	0	1	0	0	1	0	1	0.0
アルゼンチン	0	0	1	0	1	0	1	0.0
南アフリカ	0	0	0	1	1	0	1	0.0
合 計	143,198	66,577	3,568	651	70,796	904	214,898	100.0

③修学旅行団体の受入状況

ア：修学旅行学校数及び宿泊者数

平成 21 年度に修学旅行を受け入れた宿泊施設は 4 施設（対有効回答 178 施設比 2.2%）である。学校数は 40 校、宿泊者数は 2,697 人であり、昨年度（60 校、4,432 人）に比べると、新型コロナウイルスの影響のためか、学校数は 20 校、宿泊者数は 1,735 人と大幅に減少している。

宿泊施設分類別にみると、登録ホテル（13 校減、1,373 人減）の減少が目立つ。

学校分類別では、小学校は増加しているものの、その他（12 校減、1,497 人減）と中学校（7 校減、790 人減）の減少が著しい。

表 2-3-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	① 学校数 (校)	② 宿泊者数 (人)	③ 1 校あたり修学 旅行宿泊者数 (人)
登録ホテル		1	8	1,043	130
ホテル (登録ホテルを除く)	100 室以上	1	7	567	81
	50 室以上 100 室未満	0	0	0	0
	50 室未満	0	0	0	0
	計	1	7	567	81
旅館		2	25	1,087	43
全 体		4	40	2,697	67

注：③＝②÷①

表 2-3-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	17 年度		18 年度		19 年度		20 年度		21 年度	
	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数
小学校	41	2,072	26	1,464	25	1,411	21	1,081	22	1,814
中学校	36	3,733	6	371	9	696	12	939	5	149
高 校	31	2,886	16	1,028	14	2,053	8	730	6	549
その他	27	3,165	25	3,106	11	1,005	19	1,682	7	185
全 体	135	11,856	73	5,969	59	5,165	60	4,432	40	2,697

イ：地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

合計では 40 校中 12 校 (30.0%) が近畿地域から、11 校 (27.5%) が東海・北陸地域からの修学旅行団体であった。以下関東・甲信越地域 8 校 (20.0%)、中国・四国地域 6 校 (15.0%)、北海道・東北地域 3 校 (7.5%) であった。昨年度と比較すると、中国・四国地域が 4 校、北海道・東北地域が 1 校と遠方の地域が増加しているものの、関東・甲信越地域が 8 校、近畿地域が 6 校、東海・北陸地域が 4 校減少している。

学校分類別では、小学校 (22 校、55.0%) が最も多く過半数を占める。次いで、その他 (7 校、17.5%)、高校 (6 校、15.0%)、中学校 (5 校、12.5%)、となっている。

表 2-3-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	2	2			
		関東・甲信越	3	3			
		東海・北陸	1	1			
		近畿	2	2			
		中国・四国	0				
		九州・沖縄	0				
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	1			1	
		関東・甲信越	2				2
		東海・北陸	2		1	1	
		近畿	0				
		中国・四国	2			1	1
		九州・沖縄	0				
旅館		北海道・東北	0				
		関東・甲信越	3		1		2
		東海・北陸	8	4	1	1	2
		近畿	10	10			
		中国・四国	4		2	2	
		九州・沖縄	0				
全 体		北海道・東北	3	2	0	1	0
		関東・甲信越	8	3	1	0	4
		東海・北陸	11	5	2	2	2
		近畿	12	12	0	0	0
		中国・四国	6	0	2	3	1
		九州・沖縄	0	0	0	0	0
		計	40	22	5	6	7

表 2-3-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道	2	125							2	125
青森県										
秋田県										
岩手県										
山形県					1	123			1	123
宮城県										
福島県										
東京都	1	520					1	39	2	559
神奈川県							1	18	1	18
千葉県	1	114	1	76			1	22	3	212
埼玉県										
群馬県										
栃木県										
茨城県										
新潟県										
長野県							1	41	1	41
山梨県	1	120							1	120
愛知県										
岐阜県	1	64							1	64
三重県										
静岡県	3	110	1	9					4	119
福井県	1	17			1	45			2	62
石川県							2	26	2	26
富山県			1	28	1	44			2	72
滋賀県										
京都府	11	741							11	741
大阪府	1	3							1	3
奈良県										
和歌山県										
兵庫県										
鳥取県										
島根県			1	27	1	253			2	280
岡山県			1	9					1	9
広島県										
山口県							1	39	1	39
香川県										
徳島県										
愛媛県										
高知県					2	84			2	84
福岡県										
大分県										
宮崎県										
熊本県										
佐賀県										
長崎県										
鹿児島県										
沖縄県										
合 計	22	1,814	5	149	6	549	7	185	40	2,697

3. 資料編

(1) 主要観光施設への入込動向

①名古屋市内在主要観光施設への観光入込客数の推移

平成 21 年度における名古屋市内在主要観光施設（29 施設）への入込客数は合計で約 2,112 万人であり、平成 20 年度と比較すると施設数は 1 施設減少しているものの、入込客数は約 23 万人（1.1%）増加している。これには大型連休となったシルバーウィーク期間（9 月 19 日～23 日）の入込客数が全般に増加したことも寄与している。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が約 665 万人と最も多く、次いで東山動植物園（約 228 万人）、名古屋港水族館（約 173 万人）、名古屋城（約 135 万人）、農業文化園・戸田川緑地（約 106 万人）となっている。

施設別に昨年度の入込客数と比較すると、企画展が好評だった愛知県美術館と名古屋ボストン美術館、「御創祀 1900 年記念事業」に係る改修工事が竣工した熱田神宮、新設備が引き続き好評だった農業文化園・戸田川緑地、開府 400 年を迎える名古屋城などの施設で入込客数の増加を示している。

一方、新型インフルエンザによる団体客などの減少や高速 1,000 円による市外、県外への流出のほか、人気者のシャチがいなくなった名古屋港水族館やその影響を受けた名古屋港とシートレインランド、昨年度に周年事業を行った名古屋市美術館や有松・鳴海絞会館、開業から経年による自然減のスカイプロムナードなどにおいて入込客は減少している。

②名古屋市内在主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数を表 3-1-2 に示す。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1 月」の入込客が圧倒的に多く、熱田まつりが開催される 6 月も入込客は多い。

花見の名所である名古屋城、東谷山フルーツパーク、名古屋市農業センターなどは 3 月～4 月の入込客が多く、紅葉の名所である徳川園、白鳥庭園は 11 月に入込客が多い。また名古屋城は宵まつりが開催される 8 月も入込客は多い。

名古屋港水族館、シートレインランド、名古屋市科学館、でんきの科学館などは子どもが夏休みの 8 月に入込客が多い。

有松・鳴海絞会館は、絞りまつりが開催される 6 月に入込客が多い。

東山動植物園、農業文化園・戸田川緑地、ブルーボネットなど屋外の施設は全般に 5 月、10 月の行楽シーズンを中心に入込客が多く、東山動植物園は特に 4～5 月の入込客が多い。

美術館や博物館の入込客数のピークはまちまちで、時期ではなく特別展など展示内容によって入込客数は変動するが、徳川美術館は「尾張徳川家の雛まつり」を開催する 3 月は入込客が多い。

表 3-1-1 入込客数の推移

(単位：人)

施設 \ 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
名古屋城	1,984,187	1,096,137	1,196,500	1,246,279	1,352,344
東山動植物園	1,650,336	2,020,314	2,319,341	2,201,822	2,284,853
東山スカイタワー	224,951	259,886	289,767	298,801	305,625
テレビ塔	194,463	323,818	293,251	285,681	277,343
熱田神宮	6,547,860	6,235,956	6,512,112	6,417,500	6,652,665
名古屋港	202,177	195,639	643,632	586,788	526,306
名鉄海上観光船	34,133	25,117	-	-	-
名古屋市科学館	486,104	614,577	618,956	607,864	606,157
徳川美術館	420,582	251,863	219,494	239,506	218,048
名古屋市博物館	568,581	363,271	538,476	448,153	483,413
東谷山フルーツパーク	459,031	547,717	568,804	570,675	560,584
農業文化園・戸田川緑地	642,757	712,288	691,262	938,998	1,057,523
でんきの科学館	333,893	348,158	353,727	360,082	349,124
名古屋市美術館	196,062	347,052	374,303	474,264	380,365
名古屋港水族館	1,663,186	1,927,274	2,116,681	1,907,127	1,725,373
産業技術記念館	303,312	230,618	263,854	270,121	226,226
白鳥庭園	76,196	82,966	91,713	93,289	104,610
市政資料館	67,749	59,240	60,143	73,362	73,312
名古屋能楽堂	135,297	163,455	186,408	194,109	187,096
愛知県美術館	1,222,438	761,088	803,967	682,896	868,544
名古屋市農業センター	669,831	622,769	612,259	630,033	620,193
シートレインランド	600,388	707,572	731,388	690,717	638,597
有松・鳴海校会館	189,908	185,820	179,689	213,812	177,211
ランの館	117,999	128,193	131,262	144,427	136,039
名古屋ボストン美術館	209,599	237,245	175,661	238,153	400,667
パノラマハウス	309,246	-	-	-	-
ノリタケの森	533,830	410,558	413,566	398,606	367,569
ブルーボネット	95,941	93,831	77,968	74,364	74,261
徳川園	399,865	254,727	249,227	256,921	258,143
文化のみち二葉館	56,550	35,436	35,792	33,716	40,325
イタリア村	4,352,600	1,690,100	1,272,200	66,500	-
ロボットミュージアム	-	422,173	333,508	-	-
スカイプロムナード	-	160,000	630,000	240,000	165,000
小 計	24,949,052	21,514,858	22,984,911	20,884,566	21,117,516
万博ささしまサテライト事業	3,519,700	-	-	-	-
全 体	28,468,752	21,514,858	22,984,911	20,884,566	21,117,516

注 1：イタリア村は平成 17 年 4 月、ロボットミュージアムは平成 18 年 10 月、スカイプロムナードは平成 19 年 3 月にそれぞれ開館した。

注 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。パノラマハウスは平成 17 年 10 月、名鉄海上観光船は平成 18 年 11 月、ロボットミュージアムは平成 19 年 9 月、イタリア村は平成 20 年 5 月にそれぞれ閉館した。

注 3：万博ささしまサテライト事業は愛・地球博（愛知万博）の関連イベントとして平成 17 年 3 月 18 日～9 月 25 日の間開催された。（全て平成 17 年度入込客数とした）

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

(単位：人)

施設 \ 年月	平成 21 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
名古屋城	151,120	127,550	63,822	73,530	171,404	157,207	106,561	114,427
東山動植物園	308,364	315,441	134,817	87,657	231,966	214,913	263,202	217,734
東山スカイタワー	36,049	35,128	16,039	14,391	36,027	30,623	30,904	30,268
テレビ塔	18,615	28,153	19,165	20,003	34,394	28,850	22,342	21,190
熱田神宮	169,796	198,688	420,770	151,392	147,135	174,762	245,420	278,760
名古屋港	39,730	67,593	31,678	43,898	82,786	49,865	47,138	46,884
名古屋市科学館	25,546	50,096	39,103	84,470	153,914	33,284	36,142	31,871
徳川美術館	14,917	19,331	14,595	14,454	20,955	16,842	22,140	25,772
名古屋市博物館	24,882	71,605	23,962	34,571	41,830	23,146	56,863	97,357
東谷山フルーツパーク	165,515	72,735	27,209	18,495	26,367	44,068	65,350	37,688
農業文化園・戸田川緑地	109,882	194,309	88,797	72,786	94,434	90,202	117,918	74,440
でんきの科学館	18,437	29,599	16,501	30,976	70,186	22,731	20,559	20,545
名古屋市美術館	61,065	178,866	53,427	4,479	12,342	13,246	15,150	15,030
名古屋港水族館	104,725	209,032	103,460	167,689	349,653	167,907	109,681	102,906
産業技術記念館	20,000	23,421	22,194	20,549	23,824	19,236	22,782	22,541
白鳥庭園	11,680	11,204	5,417	4,157	4,082	7,279	10,062	21,201
市政資料館	5,656	5,557	5,599	4,465	4,858	7,123	7,013	7,859
名古屋能楽堂	21,071	13,371	15,799	17,046	15,353	14,766	14,546	18,690
愛知県美術館	50,978	56,575	51,153	64,001	71,397	49,533	44,579	41,326
名古屋市農業センター	49,999	45,113	29,273	30,593	27,792	36,638	53,260	44,939
シートレイランド	42,455	61,139	42,017	69,586	112,719	59,091	39,731	40,566
有松・鳴海校会館	6,307	8,762	105,984	6,588	6,322	7,479	7,931	7,697
ランの館	6,718	11,467	9,755	8,995	10,703	9,144	23,099	13,992
名古屋ボストン美術館	37,560	118,785	117,202	13,830	32,430	13,888	18,793	21,932
ノリタケの森	26,835	38,396	25,157	28,413	29,917	36,229	34,419	41,401
ブルーボネット	10,659	17,722	6,618	3,902	3,669	6,006	11,332	6,530
徳川園	34,331	22,642	15,321	12,036	18,753	19,070	23,209	37,537
文化のみち二葉館	2,561	3,326	3,426	2,602	2,470	3,703	5,480	4,557
スカイプロムナード	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000	20,000	12,000	14,000
全 体	1,585,453	2,055,606	1,518,260	1,115,554	1,857,682	1,376,831	1,487,606	1,459,640

◆調査対象施設の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象施設を選定しており、平成 17 年度には、1 施設（イタリア村）を加え、平成 18 年度に 1 施設（パノラマハウス）を除き、2 施設（ロボットミュージアム、スカイプロムナード）を加え、平成 19 年度に 1 施設（名古屋海上観光船）を除き、平成 20 年度には、1 施設（ロボットミュージアム）を除き、平成 21 年度には、1 施設（イタリア村）を除いた 29 施設を調査対象とした。平成 17 年度には万博ささしまサテライト事業も調査対象とした。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上である市内観光施設を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

(単位：人)

施設 \ 年月	平成 21 年 12 月	平成 22 年 1 月	2 月	3 月	合計	備 考
名古屋城	59,994	85,023	84,233	157,473	1,352,344	
東山動植物園	88,239	103,655	110,048	208,817	2,284,853	
東山スカイタワー	15,362	16,552	15,228	29,054	305,625	
テレビ塔	22,635	21,094	16,981	23,921	277,343	
熱田神宮	155,324	4,349,478	191,550	169,590	6,652,665	
名古屋港	25,255	28,877	24,447	38,155	526,306	
名古屋市科学館	30,265	40,179	37,807	43,480	606,157	
徳川美術館	4,933	9,496	23,929	30,684	218,048	
名古屋市博物館	18,809	33,902	38,619	17,867	483,413	
東谷山フルーツパーク	10,240	16,490	25,761	50,666	560,584	
農業文化園・戸田川緑地	37,274	46,277	47,926	83,278	1,057,523	
でんきの科学館	14,982	27,586	26,764	50,258	349,124	
名古屋市美術館	12,586	1,713	5,704	6,757	380,365	
名古屋港水族館	82,359	93,168	89,558	145,235	1,725,373	
産業技術記念館	12,328	11,574	12,982	14,795	226,226	
白鳥庭園	6,396	8,060	5,983	9,089	104,610	
市政資料館	4,899	4,797	5,639	9,847	73,312	
名古屋能楽堂	15,750	13,969	12,371	14,364	187,096	
愛知県美術館	40,463	113,217	166,961	118,361	868,544	
名古屋市農業センター	17,424	20,658	70,840	193,664	620,193	
シートレインランド	45,118	38,563	35,279	52,333	638,597	
有松・鳴海絞会館	4,074	4,762	4,783	6,522	177,211	
ランの館	17,344	7,570	9,206	8,046	136,039	
名古屋ボストン美術館	3,755	7,253	5,796	9,443	400,667	
ノリタケの森	25,220	21,872	26,006	33,704	367,569	
ブルーボネット	1,907	0	0	5,916	74,261	平成 22 年 1 月・2 月は休園
徳川園	11,796	15,266	20,113	28,069	258,143	
文化のみち二葉館	2,333	2,100	3,724	4,043	40,325	
スカイプロムナード	20,000	11,000	8,000	10,000	165,000	
全 体	807,064	5,154,151	1,126,238	1,573,431	21,117,516	

(2) 名古屋のまちの印象（自由回答より）

観光入込客、宿泊客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見があげられました。

良い印象

【観光施設・観光スポット】

- ・ 新しい若い人向けの施設や古い観光名所がたくさんあって、老若男女楽しめる場所だと思いました。（女性 20代）
- ・ 観光施設が充実している。（女性 50代）
- ・ おいしい物、見る所がたくさんありすぎて二泊三日だと足りない。立派な建物やきれいな所が多くて楽しかったです。（女性 30代）
- ・ いろいろな設備、施設がコンパクトに集まっていて便利。（女性 50代）
- ・ 次に訪れた時はあそこに行こう、と思わせる見所いっぱいの街だと思います。（女性 60代）
- ・ 「名古屋は城でもつ」と実感した。（女性 70歳以上）
- ・ 名古屋城は思ったより立派で美しく感じた。菊姫の人形菊もみごとだった。（女性 60代）
- ・ 城の外観は素晴らしいものがありました。本丸ができあがったらまた来ます。（男性 20代）
- ・ 名古屋城は中の展示が他の城より充実していると感じました。（男性 50代）
- ・ 名古屋城のシャチホコがよい。（女性 30代）
- ・ 道路が広くて走りやすかったです。名古屋城の周りはとても落ち着いていて気持ちよかったです。（女性 20代）
- ・ 徳川園、徳川美術館は何度来てもよい。ボストン美術館は前回訪れたが、これもよかった。（男性 70歳以上）
- ・ 今回、初めて訪れた徳川園は素敵でした。（女性 30代）
- ・ 熱田神宮も白鳥公園のように落ち着いた場所が多い。手入れも行き届いている。熱田神宮は大好きです。（女性 40代）
- ・ 熱田神宮がきれいに改修されてよくなった。新しくなった中に昔の良さが残っている。厳かになった。（女性 60代）
- ・ ノリタケの森も徳川園もきれいで好きです。ノリタケの森は特にきれいに整備されていて美しいと思います。（女性 30代）
- ・ 街の中にノリタケの森のような緑の多いところがあって、とてもよい。（女性 60代）
- ・ 市役所、県庁を初めて見て驚きました。屋根がお城になっていた。（女性 50代）
- ・ 神社が多い。（女性 70歳以上）
- ・ 笹島ライブがおもしろい。（男性 10代）
- ・ 東山公園を整備されるようなので期待している。（男性 70歳以上）
- ・ 施設がきれいでとてもよかった。（男性 10代）
- ・ 水族館に来るたびに新しい発見があって楽しいです。（男性 20代）
- ・ 水族館はきれいでした。（男性 20代）
- ・ 電車博物館を楽しみにしている。（男性 40代）

【名古屋まつりなど行・催事、イベント】

- ・ 天守閣の前のイベントがよかった。（女性 50代）
- ・ 武将のパフォーマンスを見たくて来ました。写真も撮れてよかった。（女性 20代）
- ・ おもてなし武将隊は3月いっぱいと聞きましたが、本当ですか。あと2年ぐらいやってもいいと思います。（女性 30代）

- ・ 伝統がある。名古屋まつりは良い。(男性 70 歳以上)
- ・ 名古屋まつりを去年は名古屋駅で見たが、去年より華やか。山車が出ていてにぎやか。(女性 50 代)
- ・ キャラクターがかわいかった。(女性 20 代)
- ・ 菊の展覧会があつてよかった。(女性 50 代)
- ・ 行事も増えたし、よい。(男性 70 歳以上)
- ・ 交通の便がよい。イベント、コンサートをいろいろやっている。お店がたくさんある。(女性 40 代)
- ・ いろいろな行事に参加したい雰囲気がある。懐かしい感じがする。(男性 70 歳以上)
- ・ 開府 400 年行事を楽しみにしております。(女性 60 代)

【風景、景観】

- ・ 名古屋駅前のイルミネーション、ライトアップの白を基調とした光が、決して派手ではないのにとってもきれいでした。たくさんの人が駅の壁面に映し出される画像に足を止めて眺めているのが印象的でした。(女性 40 代)
- ・ 駅周辺のにぎやかな様子で活気があることがわかりました。夜にはホテルからライトアップされた名古屋城が見え、美しいと感じました。次回はゆっくり街歩きがしたいです。(女性 50 代)
- ・ 他の街よりきれい。電線がない所が多くてよい。(女性 20 代)
- ・ たいへん整備された美しい町並みという印象を受けました。(男性 40 代)
- ・ 街全体がとてもきれいで広々とし、ゆとりを感じられるので、散策しやすいです。名古屋グルメを大いに楽しめました。地下街が充実しているのも、買物が楽しめてよかったです。(女性 30 代)
- ・ 金山が便利、きれいになった。(女性 40 代)
- ・ 道路がよく整備されている。街路樹が主要道路に設置され、景観が優れている。(男性 60 代)
- ・ 碁盤の目の街路がよい。(男性 30 代)
- ・ 駅の景観がだいぶ変わった。どちらの側の出口もきれいになった。車道が広く、自転車専用レーン、歩道も広いので気持ちがいい。おいしい食べ物が多い。(男性 50 代)
- ・ 町並みがとても整備されているのと、ゴミが落ちていないのがすごいと思いました。(女性 30 代)
- ・ 区画整備されている印象でわかりやすいです。(女性 50 代)
- ・ 道路が広く、名古屋駅付近は街並みがそろっている。(女性 40 代)
- ・ 木々草花の整備がとてもよくなってきているように思います。(女性 40 代)
- ・ 駅周辺の高層ビルは圧巻です。(女性 70 歳以上)
- ・ 好きな街です。落ち着いた町並みが気に入っています。(男性 40 代)
- ・ 道路が広くて、緑が思ったより多くて気持ちよい。(男性 50 代)

【歴史との融合】

- ・ 交通の便はたいへんよい。建物は昔懐かしいレンガ造りで懐かしい。(男性 70 歳以上)
- ・ 近代的なイメージだったけど、裏通りを歩いたらやっぱり古い街並みもあり、古い街だと思った。(女性 50 代)
- ・ 有松の町並みは風情があつてよかったです。人の対応もよく、いい所でしたが、パンフレットに載っている地元の商店の定休日が書かれていなかったの、訪れて楽しみだったのが残念でした。食事は訪れた所、どこもおいしかったです。(女性 50 代)
- ・ 昔ながらの風景。(男性 10 代)
- ・ 交通の便はとても良いと感じました。食べ物も個性的な物が多く、楽しむことができました。古いものと新しいものが入り混じり、おもしろい場所だと思います。(女性 40 代)
- ・ 素晴らしい歴史を感じる。道路と商業観光が素晴らしい。(女性 50 代)

- ・ 歴史的文化もありつつ、ちょっと都会。(女性 20 代)
- ・ 歴史文化的な建物やイベントがあってよい。(男性 40 代)
- ・ 都会的でありながら昔の風土もある。(男性 20 代)

【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・ 西銀座通りは夜間照明灯が明るく良い印象です。都会と田舎がよくとけあって、レトロの雰囲気が好きです。(女性 70 歳以上)
- ・ 人が少ない。ローカルの良さがたっぷり出ている。(女性 60 代)
- ・ 久しぶりの名古屋は活気があって感激した。(女性 50 代)
- ・ 人の多さも賑わいも丁度良い町。(男性 20 代)
- ・ とても賑わいがあり、活気がある町です。好きになってきました。食べ物もおいしいです。駅の近くに泊まる所がたくさんあることです。(男性 30 代)
- ・ 数年前に比べ、美しい町になったように思った。賑わいも増加したようです。活気もあるようです。(男性 60 代)
- ・ 年々、人も増え、外国人も増え、活気づいてきたように見えます。(女性 20 代)
- ・ 名駅界限はにぎやかで、夜はきれいです。(女性 30 代)
- ・ 公園が整備されているのがいい。(男性 30 代)
- ・ とても便利で物価もお手ごろでよい所です。(女性 50 代)
- ・ 大都会でもなく、あまり小さすぎる町でもなく、住みやすそうな町だろうと思います。(女性 50 代)
- ・ 食べ物がおいしい。街がきれいで住みやすそう。関西と関東に近くてよい。(女性 20 代)
- ・ 都会的でアクセスもよく、東京、大阪に比べると住みやすいし、ゴタゴタしていない。わかりやすい。(女性 50 代)
- ・ 必要なものは何でもそろそろ。不自由はない。(女性 30 代)
- ・ 都会的なイメージ。(男性 20 代)
- ・ 久しぶり (10 年前に来た) に名古屋に来た。駅前の高層ビルがたくさんあり驚いた。名古屋城も久々で観光客の多さは昔と変わらなかった。(女性 40 代)
- ・ 駅前はビルも建ってなかなかよい。大きなイベント用の施設もあってよい。(男性 40 代)
- ・ 立派な建物 (JR 名古屋駅ビル、モード学園など) がたくさんあって、とても良かったです。道路は広くて渋滞が少なく感じました。(女性 50 代)
- ・ 気持ちがゆったりする。道路が広いので車が多くてもゆったりする。(男性 50 代)
- ・ 街中から外れると庶民的な所があり、ざわざわしてなくて落ち着きました。もっと旅館があるといい。銭湯もけっこうたくさんあって、今度行ってみたいです。(女性 30 代)
- ・ 町全体がのんびりとして温かいイメージ。(男性 50 代)
- ・ 都会だが落ち着いている所。(女性 30 代)
- ・ 個性的でおもしろい。(男性 30 代)
- ・ 名古屋は好き。下町っぽさが残っている。(女性 30 代)
- ・ 好きです。風習とか食べ物が合っている。(男性 60 代)
- ・ 昔に比べてバリアフリーが少し良くなった。関東の友人 (車イス使用) からは「名古屋は田舎にしてはバリアフリーが進んでいる」と言われたことがある。(女性 40 代)
- ・ 街や通りの名前がはっきり書いてあって歩きやすかった。治安はとてもよいと思いました。(女性 70 歳以上)
- ・ 名古屋の街は近代的なビルや街並みが並んでおり、私たち若者にとってはとても楽しい街だった。それに初めて来た旅行者に、とても行きやすい観光施設があり、とても楽しめた。(女性 20 代)

- ・ 自然もあり、都会的要素もあり、素敵な所でした。(女性 20代)
- ・ 栄からホテルに歩いて行く途中、ずっと音楽が聞こえてきておもしろかった。(女性 10代)

【店舗、商店街】

- ・ 買い物する所がたくさんあって楽しい。(女性 20代)
- ・ 以前に比べて大きなショッピングセンターが増え、楽しみができた。高い建物が少なく落ち着く。(女性 30代)
- ・ 駅周辺の商業施設が充実していてよかったです。(女性 30代)
- ・ 案内がたくさんあって助かった。駅にデパートがたくさんあっていいと思いました。(女性 10代)
- ・ 大須の商店街が楽しい。昔からの店が多い。店側と客と一対一で話ができ買い物できる。(男性 60代)
- ・ 大須界隈が楽しい商店街。新しい物と古い物が一緒にになっている。(男性 70歳以上)
- ・ アーケード通りの活気はすごかったです。(女性 70歳以上)
- ・ 商店街でついつい買い物をしてしまいました。値段も手にとってみたくなる安さで、活気もあり、また来たいと思いました。手羽先はおいしかったです。(女性 30代)
- ・ 地下街が発達しています。(男性 50代)
- ・ 楽しい店がいっぱいあるのでよい。(女性 30代)
- ・ 楽しかった。商店街がきれいです。(女性 70歳以上)
- ・ 便利、買い物などが何でもそろそろ。(男性 50代)
- ・ 東京よりも栄～名駅～大須など、買物ができる場所が密集しているため便利です。(男性 30代)

【名古屋グルメ】

- ・ 高速道路が充実している。グルメの名古屋（味噌煮込みうどん、天むす、とんちゃん、手羽先）。(男性 30代)
- ・ 名古屋と言えば「きしめん」で、今回も知人、近所の人たちへのお土産に購入。他に「守口大根」の粕漬。(男性 70歳以上)
- ・ 喫茶店が多くて楽しみです。(女性 20代)
- ・ ブランド化している名古屋コーチンはたいへんおいしいので、ひつまぶしとミックスした丼を考案したり、名古屋コーチンラーメンを作れば、また食べに来たいと思います。(男性 60代)
- ・ 新幹線の駅前は思ったより都会できれいだった。道路のつくりがちょっとややこしかった。モーニングがおいしかった。(女性 20代)
- ・ あんかけスパゲティが名古屋の有名グルメとは、今回初めて知りました。ぜひ食べてみたいです。名古屋城のライトアップが美しい。(女性 20代)
- ・ グルメな町。(女性 50代)
- ・ おいしい物が多い。ひつまぶし、味噌カツ、きしめん大好き。名古屋大好き。味噌カツ用の味噌をいつもお土産に買っていく。(女性 60代)
- ・ 変わった独特の食べ物が多い。(男性 40代)
- ・ あちこちで手軽に名古屋グルメがいただけるのでよい。(女性 30代)
- ・ 外食する施設が多い。(女性 30代)
- ・ 知人に連れて行ってもらったお店に、名古屋グルメ（手羽先、味噌カツ、天むす等）すべてそろっていて、一泊の観光客の私たちはとても喜びました。ホテルも重厚で感じがよかったです。知人の紹介で選びました。(女性 60代)
- ・ 初めての名古屋でしたが、名古屋グルメ（味噌煮込み、手羽先、ひつまぶし）を食べれたので満足です。名古屋グルメは基本的に味付けが濃いと思いました。でもおいしかったです。(女性 30代)

- ・ 思っていたより緑が多くてびっくりしました。美味しい食べ物がいっぱい、2 日間では食べきれないので、また次回来たいです。(女性 30 代)
- ・ 名物の食べ歩きができる面白さがあります。味噌煮込み、モーニング、中華等々、今は達成感でいっぱいです。(男性 40 代)
- ・ 名物が多い。(男性 20 代)
- ・ 手羽先がとても美味しくて2日間続けて通ってしまいました。そしてみんなでお腹一杯食べたのに、会計が安くてびっくり。東京の2/3 ぐらいの価格です。(女性 40 代)
- ・ モーニングにはびっくりした。市バスが感じがよかった。(女性 40 代)
- ・ 飲食の価格がとてもリーズナブルで驚きました。とてもよい観光をさせていただき、また訪れてみたいです。(女性 30 代)

【名古屋人、気質】

- ・ 田舎のような都会。人情的でよい。(女性 60 代)
- ・ 独自の文化圏。(男性 60 代)
- ・ 「おもてなしの街」だと思いました。どの店、施設に訪れても、サービス精神が強く感じられ、気持ちよく過ごすことができました。(女性 50 代)
- ・ テレビ塔がよかった。名古屋人は何ごとにも一生懸命取り組む姿勢が見られる。だから戦国の武将が多く生まれた県だと思った。(男性 50 代)
- ・ 車のマナーが最近よかった。(男性 60 代)
- ・ ことばがよい(きれい)と思う。(男性 60 代)
- ・ 言葉のボキャブラリーがおもしろい。やさしい言葉を使用しています。トイレに貼ってある紙『きれいに使って“もらって”ありがとうございます』、なぜかほんわかする言葉かけかも。(女性 40 代)
- ・ 方言とか人の接し方に温かみを感じ取れてよかったと思う。(男性 50 代)
- ・ 行く先々のお店の人が親切。(女性 40 代)
- ・ 観光案内所の方に親切にいただき、短い間の名古屋観光でしたが、楽しむことができました。ありがとうございました。(女性 20 代)
- ・ 名古屋の方はみなさん親切で、道を尋ねてもすぐに教えてくださいました。地下鉄の本数が多くて驚きました。たいへん便利だと思います。(女性 30 代)
- ・ 桜通りの銀杏並木がとても美しかった。タクシーの運転手にしろ地下街などでの温かい接し方に感謝しています。今まであまり感じなかった思いやりの心を気持ちよく受けることができました。ホテルのフロントの方々の接し方も気持ちよかったです。(女性 60 代)
- ・ 駅の中で迷った私に、皆さん親切に道を教えてくださいました。また宿の方も優しく、次回名古屋を訪れた時にも利用したいと考えております。ありがとうございました。(女性 20 代)

【道路・道路交通】

- ・ 名古屋高速ができたので、街中を通らずにスムーズに走れた。(女性 50 代)
- ・ 渋滞が少なく走りやすい道路。車も思ったより少なかった。(男性 40 代)
- ・ 道路が整備されていて、地理がわかりやすい。(女性 50 代)
- ・ 駐輪場が整備されてよかった。(女性 30 代)
- ・ 自転車の放置が減って歩道が通りやすくなった。(女性 20 代)
- ・ 道はきれい。名古屋城の近くに土日駐車可はよいと思います。(男性 20 代)
- ・ 道が広い。走りやすい。駐車場で心配なしに入れられた。(男性 50 代)
- ・ 名古屋は時々来ています。町の中はきれいです。道路幅が広いのは素晴らしいと思います。たいへん好きな町です。(男性 70 歳以上)

- ・道路幅が広く、案内板も豊富で便利に利用させていただいています。(女性 50代)
- ・道が広くて便利。自転車でも移動しやすい。(女性 30代)
- ・道路が広いので運転がしやすい。(男性 40代)
- ・道が広い。歩道と自転車用道路が分かれていて走りやすい。(女性 40代)
- ・道が広く、ゴミゴミしていない。(男性 20代)
- ・道路が広い。タバコの投げ捨て、ゴミが少ない。(男性 30代)
- ・歩道が広くて歩きやすい。(女性 40代)
- ・噂通り、道が広くて街もきれいなので、安心して観光を楽しむことができました。(女性 70歳以上)
- ・とてもきれいな良い町である。100m道路も魅力的である。(男性 50代)
- ・歩道の足元に表示板があって見やすい。(女性 40代)

【公共交通】

- ・地下鉄の案内が外国語があったり、アナウンスが英語で流れたり国際的になった。市バスの運転手が温かい感じで良い人だった。(女性 50代)
- ・地下鉄が充実していて雨でも傘いらずで助かった。食事もおもしろくて、また食べに来たいです。(女性 30代)
- ・環状線が便利。(女性 40代)
- ・地下鉄が便利。土日市バス地下鉄乗り放題でしかも利用する店舗引ききっぷなど、楽しみながら名古屋観光ができるので、とっても利用者にもうれしいです。(女性 50代)
- ・住みやすい。自転車ですどこへでも行ける。自転車のレンタルは良いと思う。(男性 40代)
- ・名チャリが便利。(男性 40代)
- ・自転車置き場が整備されていた。(女性 40代)
- ・公共交通がとても便利でした。ドニチエコきっぷがとてもお得でよかったです。(女性 20代)
- ・町がきれい。バスの便がよい、バスの案内もよい。(女性 60代)
- ・市役所は立派。バス代が200円でどこまで行っても安い。(女性 60代)
- ・全国から集まるのに交通の便がよい。楽しみは食事、ショッピング、夜の街散策。(女性 70歳以上)
- ・公共交通の利便性がよい。(男性 20代)
- ・電車で数分の所に観光地が多く、回りやすい。(女性 20代)
- ・絶えず発展をし続けている都市というイメージがあります。メーグルバスで観光案内しているのが好印象でした。(女性 40代)
- ・メーグルに乗車し、観光地をいろいろ見て回れてよかった。運賃も500円で安いと思います。(女性 50代)
- ・メーグルのガイドの説明がよかった。(女性 60代)

【その他】

- ・インフォメーションが多いので迷わないですむ。(男性 50代)
- ・駅中にも駅を出てからも案内図があったので、わかりやすかった。(女性 10代)
- ・施設の案内表示をしっかりしていた。(女性 50代)
- ・以前よりだいぶ変わっている。看板とかが親切になっている、わかりやすくなっている。(男性 30代)
- ・東京へ行くにも関西方面へ行くのも便利。(女性 40代)
- ・まだまだ知らない所が多くあります。時間を見つけて歩いてみようと思います。(女性 60代)

不満な点、要望

【公共交通】

- ・地下鉄の乗り換えの案内がわかりにくい。バスの路線図が少ない。小さいバス停の乗り場がわかりにくい。(女性 20代)
- ・交通機関（JR、私鉄、路線バス等）のマップと時刻表の一覧がほしい。(男性 40代)
- ・地下鉄内の地上案内地図がわかりづらい。特に、栄周辺。名古屋駅、新幹線改札近くにコインロッカーを設置してほしい。(男性 50代)
- ・地下鉄アクセス上でのエスカレーター、エレベーターの数が少ない所がある、階段が多い。(女性 50代)
- ・あおなみ線もドニチエコきっぷが使えるといい。(男性 50代)
- ・名鉄、近鉄、JR、地下鉄、バスが東京と同じように共通 IC カード（Suica、PASMO）で利用できるとよいと思います。(男性 30代)
- ・公共交通機関の「二日間乗車きっぷ」なども作ってほしい。(女性 40代)
- ・地下鉄がもう少しあるといい。線が少ない。(女性 30代)
- ・道路は車線が多くてすごい。地下鉄が高い、初乗り 200 円、東京は 140 円ぐらい。(女性 60代)
- ・ゆとりーとラインが不便で料金が高い。(女性 20代)
- ・東京や大阪と比べて、公共交通機関の終電時間が早いので、もう 30 分程度遅くしたら、錦、栄、名駅などでの飲食時間が延び、滞在に余裕が生まれ、ゆっくりできるのでは。(男性 50代)
- ・交通が不便。車がないと動きがとれない。(男性 50代)
- ・中心街はいいが、離れるとバス等路線が不便である。(女性 40代)
- ・名古屋遊覧バスの再開を希望する。(男性 40代)
- ・平日のメーグルバスの本数が少ない、案内不足。(女性 50代)
- ・ポートメッセに来るのに車以外はあおなみ線しかないのも不便になった。市バスの復活をしてほしい。(男性 40代)
- ・夜間運行のバスがあると便利。(男性 20代)

【道路、道路交通】

- ・公共施設はもっと駐車場など安くしてほしい。(女性 20代)
- ・結構、道が混む。道がよくわからない。名古屋高速を降りる所の表示が小さくて、間違えて降りてしまったことがある。(男性 40代)
- ・道路案内表示がたいへんわかりづらい。もっと表示、案内を増やすべき。一般道でも県外から初めて来た人は道に迷ってしまう、走りづらい道。(男性 60代)
- ・車が多い。車線が多く、右左折がしにくい。(女性 60代)
- ・バイクの駐輪場を増やしてほしい。(男性 20代)
- ・道路に看板が多い。(男性 50代)
- ・東京に比べて一方通行が多い。工事が多い。駐車場が少ない。(女性 30代)
- ・エコと言いながら自転車置き場が少なくなった。自転車も走りやすい道にしてほしい。駐車場料金を安くしてほしい。(女性 60代)
- ・車優先で歩行者がたいへん。歳をとったらたいへんです。(女性 60代)
- ・車ではあまり道路を通りたくないと思う。(男性 40代)
- ・駐車場のある場所がわかりにくい。(男性 30代)
- ・道路の舗装状態が悪いので、きれいにしてほしい。(女性 20代)
- ・歩道をもっと増やしてほしい。(男性 30代)
- ・歩道を自転車と分けてほしい。(男性 30代)

- ・名古屋高速の料金が安い。(男性 20 代)
- ・名古屋は路駐が多すぎる。(男性 40 代)

【案内、表示】

- ・観光施設への駅からの案内板を充実させてほしい。(男性 60 代)
- ・観光案内が不備。メーグルの乗車券の販売場所が少ない。案内所の人に聞いても答えてくれない。割引券があるのに教えてくれない。不親切だ。(女性 50 代)
- ・地下鉄から名古屋城正門までの案内がわかりづらい。案内板が小さかったり、大きくても木の陰に隠れていたりしてわかりづらい。案内板は統一したわかりやすいものがよい。(男性 20 代)
- ・名古屋駅からノリタケの森へ来る時の案内表示がわかりにくかった。(女性 40 代)
- ・バスターミナルの建物の入口表示がわかりにくい、警備員に聞いた。(男性 60 代)
- ・地下鉄と名駅の案内表示がわかりにくかった。(男性 50 代)
- ・ナビで来ているが、名古屋城、熱田神宮での駐車場の入口がわかりにくいので一周してしまった。(男性 60 代)
- ・観光案内所を探したがわかりにくい。(女性 50 代)
- ・観光案内が少し不親切だと思いました。他府県から来た時、少しわかりにくかったです。(女性 60 代)
- ・ホテルを探すのに苦労した。わかりにくい。地図があまりない。ドラッグストアを探してウロウロしたが、結局見つからなかった。名古屋には観光で来たいとは思いません。見る所や遊ぶ所がない。(女性 40 代)

【宣伝、告知】

- ・テレビ等でおおいに名古屋を紹介してください。(男性 50 代)
- ・見どころはあるが、宣伝が下手だと思う。(男性 60 代)
- ・名古屋城のパフォーマンスを宣伝するとよいと思う。名所がバラバラで車でないと行きにくいので、ハトバスがあるとよい(安いこと)。(女性 30 代)
- ・歴史的に重要なものなのに、信長塀の案内などの宣伝が足りない。他の都市に比べて全体的に宣伝不足。(男性 60 代)
- ・神宮は初詣に来て知っていたが、ゆっくり来てみるととても良い所なので、もっと宣伝した方がよいと思う。(女性 40 代)
- ・ノリタケの森をもっとPRしたほうがよい、名古屋に住んでいても知らない人が多い。地下鉄ホームの表示もわかりにくい。(女性 60 代)
- ・イベントについてもっと宣伝したほうがいい。(男性 50 代)
- ・活気づいて賑わっていました。名古屋の特徴が薄かった。もっと徳川家康をアピールしたら名古屋らしいと思った。もったいない。(女性 50 代)
- ・名古屋の街は活気があると思う。人々は概ね大らかで親切。観光をアピールし、まだまだ知られていない名所旧跡など教えてほしい。(女性 70 歳以上)
- ・モーニングセットが食べられる案内マップのようなものがあつたら見てみたいです。(女性 20 代)

【観光資源】

- ・あおなみ線を利用できるイベントがポートメッセでもっとあるとよい。(女性 60 代)
- ・観光名所がもっとあるとよい。笹島を整備が進まない。(男性 40 代)
- ・温泉があるとよい。(女性 20 代)
- ・テーマパーク等があるとよい。(女性 60 代)
- ・金城ふ頭の観光活性化。(男性 30 代)

- ・ノリタケの森のように、きれいで食べる所がもっと増えるとよい。(女性 60代)
- ・名駅周辺に子どもの遊ぶ場所がほしい。(男性 30代)
- ・名古屋名物(味噌カツ、天むす、きしめん等)が一ヶ所でいろいろ食べたい。お客を案内する時にバラバラで遠く、また不便。(女性 20代)
- ・食べ物がおいしいが、見る所は一度見ればよしである。土産品の目玉がない。(男性 30代)
- ・外から来た方を案内する所、観光地がない。(女性 30代)
- ・見応えのある所が少ない。車社会である。東京のように歩いて楽しめる所がほしい。(女性 50代)
- ・大人向けの観光施設が少ない。(男性 40代)
- ・遊べるスポットが限られている。例えば、雨が降っていたら行くところがほとんどない。(男性 30代)
- ・夜景スポットがない。(女性 20代)
- ・歴史的人物のゆるキャラや動物園の人気者を育てて町の活性化を図る。(男性 60代)
- ・水族館が少し高い。京都のように自転車を使って楽しめる街づくり。点在しているので、ハトバスが安くあるとよい。目玉になるように一ヶ所トータルの所があるとよいと思う。(男性 30代)
- ・観光地でも駐車場が狭い、またない所もある。(男性 30代)
- ・入場料が高い。公共施設の入場料が高いのでつい行くことをやめてしまう。もう少し下げてもらえれば気軽に行ける。(女性 30代)

【名古屋まつり】

- ・前より小規模になった感じがする。もっとPRしたらよいと思う。(男性 60代)
- ・まつりなのに人出が少ない。(女性 40代)
- ・栄中心以外の場所でのまつりの回数を増やしてほしい。(女性 40代)
- ・名古屋まつりの内容を考えてほしい。派手さがない。(男性 70歳以上)
- ・もっと楽しくしてほしい。行列と行列の間が空きすぎる。(女性 60代)
- ・名古屋まつりに芸能人が来ない、昔は来ていた。(女性 50代)
- ・名古屋まつりの時、路上に販売があるとよい。(女性 70歳以上)
- ・花バスを復活してほしい。(女性 30代)

【まちづくり、町並み】

- ・街全体がゴチャゴチャしている。(女性 50代)
- ・基本的に美しいものがない。味が濃い。NY並みの街並みと風俗街の混在が訳わからない。(男性 40代)
- ・昔に比べてダメになった。ビルが多すぎる。(女性 70歳以上)
- ・建物の色が暗い、グレーばかり。(女性 40代)
- ・ゴミ箱がなくなって、公園が汚くなった。(女性 30代)
- ・電線の地中化を早く進めてほしい。(男性 60代)
- ・どここの通りも外観が同じで、町並みに変化が欠しい。繁華街が多いのに、賑わいを感じるのが名古屋駅周辺だけなのが少し寂しい。(男性 50代)
- ・面白味に欠ける。景観に歴史臭さが少ない。まじめな街。(男性 50代)
- ・古い町並みがもう少し多くあるかと思った。(男性 50代)
- ・緑地が少ないのもっとあるとよい。(男性 40代)

【店舗、商店】

- ・メインストリート以外の商店がさびれて寂しい。(女性 70歳以上)

- ・栄と大須が名古屋高速で分断しているように思うので、高速道の下を博多のように屋台などで活発になるとよい。(男性 50 代)
- ・タバコ不可のカフェを増やしてください。(女性 20 代)
- ・ショッピング的なところがもう少しほしいです。(男性 20 代)
- ・名古屋グルメを楽しめる所があるとよい。(女性 40 代)
- ・名古屋駅に隣接する地下街の各店営業時間が 20 時過ぎにて閉店するのが残念。名古屋駅構内の治安もよく、安心して歩ける街と思います。(男性 50 代)
- ・居酒屋の雰囲気が悪い。値段が高い。(女性 20 代)
- ・ミッドランドなど最近できた建物は値段が高すぎます。誰もが入りやすく購入しやすい店を増やしてください。(女性 20 代)

【人、マナー】

- ・車が多く、ドライバーのマナーが悪い。(女性 40 代)
- ・自転車とすれ違う時、ベルを鳴らす人はほとんどいなかったの、ぶつかりそうになることが多く、とてもこわかった。(女性 50 代)
- ・自転車駐輪のマナーが悪い。(男性 60 代)
- ・路上喫煙、道路のゴミ、駅トイレ空き缶、ペットボトル放置が気になった。(男性 50 代)
- ・地下鉄駅近くで、タクシーに 3 回も乗車拒否された。(女性 40 代)
- ・タクシーの運転手の態度が悪い、運転が荒い。(女性 20 代)
- ・歩行喫煙している人が多い。(男性 40 代)
- ・中間的、大阪と東京に挟まれて人がひがみっぽい感じがする。(男性 60 代)
- ・せわしい感じ。(女性 20 代)
- ・ペットについて、公共施設を利用する場合、マナーの問題ですが、きちんと守れる人たちには入園、入館を配慮してほしい。(女性 60 代)

【その他】

- ・観光都市としての自覚がない。不親切すぎる。数年後に来て改善されていなければ、名古屋には観光客が来なくなる。(女性 60 代)
- ・際立った特徴のない中途半端な地方都市という印象。ういろうは好き。(男性 50 代)
- ・障害者に対する施設やいろいろなところでの支援が少ないと感じます。(男性 40 代)
- ・おむつ交換ができる設備がもっとあるとよい。(男性 30 代)
- ・喫煙場所をわかりやすい所に作ってほしい。(女性 20 代)
- ・地下鉄、地下街に下りるのに荷物をキャスターで引いていると、階段しかなくとても不便。エスカレーターかエレベーターを各所につけてほしい。路上喫煙者が多すぎ、マナーが悪い。(男性 40 代)
- ・夜の治安が悪いような気がします。(男性 40 代)
- ・都会だと思う。地下鉄のトイレにティッシュがあるとよい。(女性 30 代)
- ・空港が名古屋市から離れていて都合悪い。(男性 50 代)

問1 どこからお越しになりましたか（出発地はどちらですか）。1つに○印をつけてください。

1 名古屋市内	2 名古屋市を除く愛知県	3 岐阜県	4 三重県
5 静岡県	6 その他の都道府県（具体的に）		

問2 今回、名古屋を訪れた（今回の名古屋への旅行）主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

1 観光施設の見学	2 ショッピング（非日常の買物、ウインドショッピングを含む）
3 観劇・コンサート	4 イベント（参加・鑑賞）
5 飲食	6 その他の娯楽行為（具体的に）
7 商用・公用	8 帰省・冠婚葬祭
9 大会・学会・国際会議への出席・参加	10 その他（具体的に）

問3 問2で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものすべてに○印をつけてください。

1 雑誌・新聞をみて	2 旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて
3 テレビやラジオ番組の情報から	4 インターネットホームページの情報から
5 友人・知人に薦められたから	6 前に来たことがあり良かったから
7 駅や電車内のポスター・広告	8 特になし
9 その他（	

問4 今回の訪問（今日のお出かけ）で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

1 名古屋城	2 産業技術記念館（トヨタテクノミュージアム）
3 ノリタケの森	4 徳川美術館
5 徳川園	6 熱田神宮
7 白鳥庭園	8 東山動植物園
9 東山スカイタワー	10 テレビ塔
11 名古屋美術館	12 愛知県美術館
13 名古屋ポストン美術館	14 名古屋市科学館
15 だんきの科学館	16 名古屋市博物館
17 ランの館	18 名古屋港水族館
19 名古屋港	20 シートレインランド
21 有松・鳴海絞会館	22 ミッドランドスクエアなどの高層建築物
23 その他（	

問5 今回の名古屋訪問（名古屋への旅行）はパッケージ旅行ですか。どちらかに○印をつけてください。

1 パッケージ旅行	2 パッケージ旅行ではない
-----------	---------------

問6 今回の名古屋訪問（今回の名古屋への旅行）における1人あたりのご予算をお教えください。

① 1人あたりのご旅行の予算（パッケージ旅行の方はパッケージ料金を含みます）。1つに○印をつけてください。

1 5,000 円未満	2 5,000～10,000 円未満	3 10,000～30,000 円未満
4 30,000～50,000 円未満	5 50,000 円以上	

② 現金、カードの使用を含めて、名古屋市内で使うお金（パッケージ旅行の方はパッケージ料金を除きます。）は、1人あたりいくらほどになりますか。

およそ（	）円くらい
------	-------

③ 市内での交通費（都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます）。1つに○印をつけてください。

1 交通費はかからない	2 1,000 円未満	3 1,000～3,000 円未満
4 3,000～5,000 円未満	5 5,000 円以上	6 パッケージ旅行のため不明

④ 市内でのおみやげ代。1つに○印をつけてください。

1 購入予定なし	2 2,000 円未満	3 2,000～5,000 円未満
4 5,000～10,000 円未満	5 10,000 円以上	

⑤ 市内での食事代（パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額）。1つに○印をつけてください。

1 お弁当持参で飲み物類を購入する程度	2 2,000 円未満
3 2,000～5,000 円未満	4 5,000～10,000 円未満
5 10,000～30,000 円未満	6 30,000 円以上

⑥ 市内での宿泊代（市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額）。1つに○印をつけてください。

1 5,000 円未満	2 5,000～15,000 円未満	3 15,000～30,000 円未満
4 30,000 円以上	5 パッケージ旅行のため不明	
6 友人、知人の家に宿泊するので、費用はかからない		
7 名古屋市内には宿泊しない		

問 7 今回の訪問（旅行）において、市外からお越しの方は名古屋までの主な交通手段に〇印をつけてください。
(市内からお越しの方は、目的地までの交通手段に〇印をつけてください。)

1	J R	2	名鉄電車	3	近鉄電車	4	自家用車
5	航空機	6	路線バス	7	観光バス	8	地下鉄・市バス
9	その他（						）

問 7－1 問 7 で「4 自家用車」を選んだ方にお伺いします。今回の訪問において、高速道路をご利用になりましたか。該当するものに〇印をつけてください。

1	ETC で利用した	2	ETC ではないが利用した	3	利用していない
---	-----------	---	---------------	---	---------

今回の訪問で利用した高速道路について、該当するものに〇印をつけてください。

1	名神高速道路	2	東名高速道路	3	中央自動車道	4	東海北陸自動車道
5	伊勢湾岸自動車道	6	東名阪自動車道	7	名古屋高速道路	8	知多半島道路

問 7－2 名古屋高速道路や知多半島道路で実施中の「ETC 料金割引社会実験（休日 3 割引）」をご存じですか。

1	知っていた	2	知らなかった
---	-------	---	--------

この割引によりあなたの行動に変化があると思いますか。該当すると思うものに〇印をつけてください。

1	お出かけの回数が増える	2	高速道路を積極的に利用する
3	お出かけ先で食事やお土産などの支出が増える	4	遠方まで出かけられるようになる
5	特に変化はない	6	その他（
			）

問 8 から問 1 1 については、名古屋市外からお越しの方のお答えください。

問 8 名古屋市内に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの1つに〇印をつけてください。

1	はじめて	2	2 回目	3	3 回目	4	4 ～ 9 回目	5	10 回目以上
---	------	---	------	---	------	---	----------	---	---------

問 9 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに〇印をつけてください。

1	名古屋市内のみ	2	長久手・モリコロパーク方面	3	明治村・犬山方面
4	瀬戸・小原方面	5	知多・常滑・セトア方面	6	豊田・岡崎・足助方面
7	蒲郡・西浦・三谷方面	8	豊川・鳳来寺方面	9	豊橋・伊良湖方面
10	岐阜・関ヶ原方面	11	多治見・恵那・中津川方面	12	下呂・高山方面
13	長島温泉・湯の山・鈴鹿方面	14	伊勢・志摩方面		
15	その他（				）

問 10 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの1つに〇印をつけてください。

1	日帰り	2	2 日間	3	3 日間	4	4 日間	5	5 日以上
---	-----	---	------	---	------	---	------	---	-------

問 11 問 1 0 で回答が2日間以上のご旅行の方（伺います）。
名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお教えください。該当するもの1つに〇印をつけてください。

1	1 泊	2	2 泊	3	3 泊	4	4 泊以上
5	名古屋市内には宿泊しない						

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問 12 あなたの性別・年齢をお教えください。（〇は一つずつ）

①性別	②年齢		
1 男	1 10～19 歳	2 20～29 歳	3 30～39 歳
2 女	4 40～49 歳	5 50～59 歳	6 60～69 歳
	7 70 歳以上		

問 13 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で同行されている方をお教えください。（〇は一つだけ）

1	ひとり（同行者なし）	2	友人・知人
3	幼児や小学生連れの家族	4	夫婦
5	家族（「3」「4」以外）	6	団体旅行
7	修学旅行	8	その他（
			）

〔自由意見〕 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございました。
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

お楽しみどころ恐れ入りますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問1どこからお越しになりましたか（出発地はどちらですか）。1つに○印をつけてください。

1 名古屋市内

2 名古屋市を除く愛知県

3 岐阜県

4 三重県

5 静岡県

6 その他の都道府県（具体的に）

問2今回、名古屋を訪れた（今回の名古屋への旅行）主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

1 観光施設の見学

2 ショッピング（非日常の買物。ウインドショッピングを含む）

3 観劇・コンサート

4 イベント（参加・鑑賞）

5 飲食

6 その他の娯楽行為（具体的に）

7 商用・公用

8 帰省・冠婚葬祭

9 大会・学会・国際会議への出席・参加

10 その他（具体的に）

問3問2で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものすべてに○印をつけてください。

1 雑誌・新聞をみて

2 旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて

3 テレビやラジオ番組の情報から

4 インターネットホームページの情報から

5 友人・知人に薦められたから

6 前に来たことがあり良かったから

7 駅や電車内のポスター・広告

8 特になし

9 その他（）

問4今回の訪問（今日のお出かけ）で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

1 名古屋城

2 産業技術記念館（トヨタテクノミュージアム）

3 ノリタケの森

4 徳川美術館

5 徳川園

6 熱田神宮

7 白鳥庭園

8 東山動植物園

9 東山スカイタワー

10 テレビ塔

11 名古屋美術館

12 愛知県美術館

13 名古屋ボストン美術館

14 名古屋科学館

15 だんきの科学館

16 名古屋博物館

17 ランの館

18 名古屋港水族館

19 名古屋港

20 シートレインランド

21 有松・鳴海絞会館

22 ミッドランドスクエアなどの高層建築物

23 その他（）

問5今回の名古屋訪問（名古屋への旅行）はパッケージ旅行ですか。どちらかに○印をつけてください。

1 パッケージ旅行

2 パッケージ旅行ではない

問6今回の名古屋訪問（今回の名古屋への旅行）における1人あたりのご予算をお教えください。

①1人あたりのご旅行の予算（パッケージ旅行の方はパッケージ料金を含みます）。1つに○印をつけてください。

1 5,000円未満

2 5,000～10,000円未満

3 10,000～30,000円未満

4 30,000～50,000円未満

5 50,000円以上

②現金、カードの使用を含めて、名古屋市内で使うお金（パッケージ旅行の方はパッケージ料金を除きます。）は、1人あたりいくらほどになりますか。

（）円くらい

③市内での交通費（都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます）。1つに○印をつけてください。

1 交通費はかからない

2 1,000円未満

3 1,000～3,000円未満

4 3,000～5,000円未満

5 5,000円以上

6 パッケージ旅行のため不明

④市内でのおみやげ代。1つに○印をつけてください。

1 購入予定なし

2 2,000円未満

3 2,000～5,000円未満

4 5,000～10,000円未満

5 10,000円以上

⑤市内での食事代（パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額）。1つに○印をつけてください。

1 お弁当持参で飲み物類を購入する程度

2 2,000円未満

3 2,000～5,000円未満

4 5,000～10,000円未満

5 10,000～30,000円未満

6 30,000円以上

⑥市内での宿泊代（市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額）。1つに○印をつけてください。

1 5,000円未満

2 5,000～15,000円未満

3 15,000～30,000円未満

4 30,000円以上

5 パッケージ旅行のため不明

6 友人、知人の家に宿泊するので、費用はかからない

7 名古屋市内には宿泊しない

問7今回の訪問（旅行）において、市外からお越しの方は名古屋までの主な交通手段に○印をつけてください。（市内からお越しの方は、目的地までの交通手段に○印をつけてください。）

1 J R

2 名鉄電車

3 近鉄電車

4 自家用車

5 航空機

6 路線バス

7 観光バス

8 地下鉄・市バス

9 その他（）

観光客・宿泊客(春季) アンケート票

問 8 から問 1 3 については、名古屋外からお越しの方のみお答えください。

問 8 名古屋市内に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの 1 つに○印をつけてください。

1	はじめて	2	2 回目	3	3 回目	4	4 ～ 9 回目	5	10 回目以上
---	------	---	------	---	------	---	----------	---	---------

問 9 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

1	名古屋市内のみ	2	長久手・モリコロパーク方面	3	明治村・犬山方面
4	瀬戸・小原方面	5	知多・常滑・セトナ方面	6	豊田・岡崎・足助方面
7	蒲郡・西浦・三谷方面	8	豊川・鳳来寺方面	9	豊橋・伊良湖方面
10	岐阜・関ヶ原方面	11	多治見・恵那・中津川方面	12	下呂・高山方面
13	長島温泉・湯の山・鈴鹿方面	14	伊勢・志摩方面		
15	その他（				）

問 1 0 今回の訪問（旅行）で、名古屋の印象・旅行の満足度についてお伺いします。該当するもの 1 つに○印をつけてください。

1	大変満足	2	ほぼ満足	3	普通	4	やや不満	5	不満
---	------	---	------	---	----	---	------	---	----

問 1 1 今回の訪問（旅行）で、名古屋の観光資源についてお伺いします。① 今回の訪問で満足されたもの、②不満を感じたもの、③ 次回訪れてみたいものをそれぞれ教えてください。該当する番号 すべてに○印をつけてください。

1	歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）	3	レジャー施設（動植物園・水族館等）
2	産業観光・ものづくりの施設（産業記念館・ノリタケの森等）	5	グルメ・なごやめし
4	都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）	7	コンサートや観劇などの鑑賞
6	お祭り・イベント	9	その他（具体的に
8	スポーツ観戦（野球・サッカー等）		）

① 今回の訪問で、満足されたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に	）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------	---	----	------

② 今回の訪問で、不満を感じたものはなんですか。該当する番号 すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に	）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------	---	----	------

③ 次回訪れてみたいものはなんですか。該当する番号 すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に	）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------	---	----	------

問 1 2 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの 1 つに○印をつけてください。

1	日帰り	2	2 日間	3	3 日間	4	4 日間	5	5 日以上
---	-----	---	------	---	------	---	------	---	-------

問 1 3 問 1 2 で回答が 2 日間以上のご旅行の方に伺います。
名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお教えてください。該当するもの 1 つに○印をつけてください。

1	1 泊	2	2 泊	3	3 泊	4	4 泊以上
5	名古屋市内には宿泊しない						

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問 1 4 あなたの 性別・年齢をお教えてください。（○は一つずつ）

①性別		②年齢					
1	男	1	10～19 歳	2	20～29 歳	3	30～39 歳
2	女	4	40～49 歳	5	50～59 歳	6	60～69 歳
		7	70 歳以上				

問 1 5 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で 同行されている方をお教えてください。（○は一つだけ）

1	ひとり（同行者なし）	2	友人・知人
3	幼児や小学生連れの家族	4	夫婦
5	家族（「3」・「4」以外）	6	団体旅行
7	修学旅行	8	その他（
			）

〔自由意見〕 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございました。
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（宿泊施設）[対象年次：平成21年度]

○貴施設の名称、所在地、電話番号について変更などあるかご確認ください。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
貴施設所在地	〒名古屋市
電話番号	
ご記入者	(ご所属) (ご氏名)

問1 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

1	ホテル	2	旅館	3	簡易宿所	4	下宿
---	-----	---	----	---	------	---	----

問2 貴施設の平成22年3月末時点の室数および収容可能人数をご確認ください。変更などがあれば、修正をお願いします。

和室		洋室		合計	
室数	収容人数	室数	収容人数	室数	収容人数
室	人	室	人	室	人

問3 貴施設の平成21年4月から平成22年3月までの宿泊客数（月別・合計）をご記入ください。
※月別で把握できない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入頂ける範囲でご回答ください。

	21年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

	21年11月	12月	22年1月	2月	3月	合計	
①実人数	人	人	人	人	人		人
うち外国人	人	人	人	人	人		人
②延人数	人	人	人	人	人		人
うち外国人	人	人	人	人	人		人

注：連泊客の数え方

- ①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。
- ②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」と数えてください。

問4 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間でどの国（地域）から何人ありますか。なお、宿泊客数は実人数でご記入下さい。（概数でも結構です）

国名	宿泊客数	国名	宿泊客数	国名	宿泊客数
中国	人	米国	人		人
香港	人	英国	人		人
台湾	人	ドイツ	人		人
韓国	人	フランス	人		人
タイ	人	オーストラリア	人		人
シンガポール	人	カナダ	人		人

問5 貴施設では、これまでに修学旅行団体（小・中・高校など）を受入れたことがありますか。また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 平成21年度、受入れた。

2 平成21年度受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。

3 実績はないが受入れ可能。

4 受入れられない。

問6 問5で「1 平成21年度、受入れた。」と回答した施設にお聞きます。貴施設が平成21年4月1日から平成22年3月末までに受入れた修学旅行団体の所在地（都道府県名）、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校 人	校 人
都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人

問7 問5で「1」以外を回答した施設にお聞きます。貴施設が平成21年度に修学旅行団体を受入れなかった理由についてご記入ください。

[]

ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございました。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査

(平成21年度)

平成22年10月発行

発 行 名 古 屋 市 市 民 経 済 局
業務委託先 株 式 会 社 綜 研 名 古 屋